

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

(令和7年度～10年度使用・中学校用)

令和6年 7月

教科用図書調査委員会

目 次

教 科	種 目
国 語	国 語 1～
	書 写 6～
社 会	地 理 11～
	歴 史 16～
	公 民 26～
	地 図 33～
数 学	数 学 36～
理 科	理 科 44～
音 楽	一 般 50～
	器 楽 合 奏 53～
美 術	美 術 56～
保 健 体 育	保 健 体 育 60～
技 術 ・ 家 庭	技 術 分 野 65～
	家 庭 分 野 69～
外 国 語	英 語 73～
特別の教科 道徳	道 徳 80～
特別支援学級	特別支援学級 88～

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

中学校【国語】

調査委員長

松本 彰弘

総 評

○東京書籍

・国語の学習を通して未来について考えられるよう、「科学と探究」「安全・防災」「情報社会」「多様性」「伝統と文化」「地球環境」「平和・国際理解」「自己と他者」「学校・社会」の九つのテーマを設け、生徒が対話を通して主体的に、自分や社会の未来について様々な視点から考えることができる。また、学習のてびきとして「見通す」「つかむ」「読み深める」「考えを持つ」「振り返る」の流れが示されており、「板橋区授業スタンダード」に沿った学習を進めることができる。

・学びを支える言葉の力として「情報と論理の学び」「文学の学び」「対話の学び」の3つの系統が示されており、「読むこと」「書くこと」「話すこと・聞くこと」の3領域の力を伸ばすために、その前後に教材が配置された構成になっている。

・第1学年では143点、第2学年では142点、第3学年では130点の二次元コードが掲載されており、巻末見開きに一覧表で表記されている。

・第1学年のP230～241の文法の解説ページで品詞ごとに色分けをしたり、マークや文字情報を加えたりするなど、ユニバーサルデザインを意識したつくりとなっている。また、各学年に「他教科で学ぶ漢字」のページがあり、教科横断的な学習に対応している。

○三省堂

・「読み方を学ぼう」として「行動描写」や「図表と文章」「要約」など22の読み解くための方策を3年間で積み重ねて学習できるようになっている。また、各学年の第1単元に共通して「グループディスカッション」を位置づけ、話し合いの方法を学習できるようになっている。「いたばし学級活動の日」に関連付けて、学級活動の充実に役立つ教材である。

・各学年P16～P18に「思考の方法」を載せ、「順序立てる」「関連付ける」「具体化する」など、考えを深め、確かなものにする9つの方法を紹介している。

・第1学年では47点、第2学年では47点、第3学年では40点の二次元コードが掲載されており、学習のサポートをしている。「デジタル漢字ドリル」「デジタル文法ドリル」では、繰り返し問題に取り組み、知識の定着を図ることができる。巻末に、二次元コード一覧がまとめられている。

・資料編に全学年「小倉百人一首」が全て掲載されており、3年間を通して和歌に親しむことができる。また、古典教材では、原文を黒字、口語訳を青字とするなど、カラーユニバーサルデザインの観点から見やすく学びやすい配色となっている。

○教育出版

・学びを見通す「目標」「学びナビ」、学びを深める「学習活動の流れ」「みちしるべ」、学びを確かめる「振り返り」のポイントで「板橋区授業スタンダード」に沿った学習ができる。また、本文の前にある「学びナビ」が学習内容を理解する手助けとなっている。

・資料編に各学年で「表現に役立つ言葉」「理解に役立つ言葉」など、語彙に特化したページがあり、語彙力の向上と文章理解につながる学習ができる。

・「学びリンク」というデジタルコンテンツが、二次元コードで第1学年で50点、第2学年で52点、第3学年で48点示されている。二次元コードの一覧表は教科書には記されていない。

・挿絵、図版、写真は必要最低限としており、全体的にシンプルなつくりになっている。

○光村図書出版

・文学的文章・説明的文章・「話すこと・聞くこと」の教材・「書くこと」の教材では、各教材に見開き2ページを使って、右側に学習の流れを、左側に学習のポイントを図解で整理した「学びのカギ」を配置し、学習内容の理解を深める工夫が見られる。また、各学年に「情報×SDGs」という小単元があり、第1学年ではSDGs行動宣言をまとめる学習、第2学年では災害時における情報収集をする学習、第3学年では実用的な文章や報道文を比較して読む学習が設定されている。

・第1学年と第2学年のP262及び第3学年のP242に「国語の力試し」という一年間で学んだ内容を演習問題で確認できる教材が5ページ分ある。そこにある二次元コードから、発展問題に取り組むこともできる。

・第1学年では52点、第2学年では47点、第3学年では44点の二次元コードが掲載されており、巻末に一覧表で表記されている。合わせて「ICT活用のヒント」を「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の3領域に分けて解説している。

・第1学年P20のように単元の扉のページの下部に、第1学年は「動きを表す言葉」として「見つめる、まどろむ」などを、第2学年では「色の名前」として「萌黄色、赤朽葉」などを、第3学年では「時を表す言葉」として「黎明、黄昏」などを、それぞれ写真とともに紹介している。

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目【 国 語 】

発行者【 東京書籍 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○国語の学習を通して未来について考えられるよう、「科学と探究」「安全・防災」「情報社会」「多様性」「伝統と文化」「地球環境」「平和・国際理解」「自己と他者」「学校・社会」の九つのテーマを設け、生徒が対話を通して主体的に、自分や社会の未来について様々な視点から考えることができる。</p> <p>○学習のてびきとして「見通す」「つかむ」「読み深める」「考えを持つ」「振り返る」の流れが示されており、「板橋区授業スタンダード」に沿った学習を進めることができる。</p> <p>○各学年の学習の総まとめとして第1学年は「『ろう者』として生きる」、第2学年は「共有地の悲劇」「無理なくできることから」、第3学年は「好きの地平線を探して一宇宙からウクライナへ」を題材に、時事問題を取り上げ、資料と関連付けて自分の考えをもつ単元が設定されている。</p> <p>○第1学年P147の古典教材では、小学校で音読などを通して作品の冒頭に触れていることを踏まえ、同じ作品・章段であっても長めに掲載するなど中学校への接続を踏まえて工夫している。また、第1学年のP38・P116・P215、第2学年のP30・P100・P212、第3学年のP48・P209にある「文法の窓」ではゲーム仕立てで文法を学べる工夫がされている。</p>	<p>○説明文や文学的文章教材では、目標と一緒に4人のキャラクターが問いかける言葉だけが記されており、目標にその問いかけの答えが書かれている。</p>
構成・分量	<p>○「読むこと」の教材は、第1学年は、説明的文章3教材、文学的文章4教材、古典詩歌8教材、第2学年は、説明的文章4教材、文学的文章4教材、古典詩歌7教材、第3学年は説明的文章3教材、文学的文章4教材、古典詩歌8教材で構成されている。</p> <p>○学びを支える言葉の力として「情報と論理の学び」「文学の学び」「対話の学び」の3つの系統が示されており、「読むこと」「書くこと」「話すこと・聞くこと」の3領域の力を伸ばすために、その前後に教材が配置されている。</p> <p>○3年間で合計422点の図書を紹介している。第2学年のP174～179では「時をかける少女」と「この世界の片隅に」を取り上げ、作品がどのように他のメディアに展開されているかを紹介している。</p>	<p>○第1学年P25「朗読の世界」の中で、朗読の発展教材として、小学4年生で学習する「ごんぎつね」が取り上げられているが、「ごんぎつね」は小学4年生で学習した教材のため、中学1年生の発展教材の内容として難易度が低い。</p>
表記・表現	<p>○第1学年では143点、第2学年では142点、第3学年では130点の二次元コードが掲載されており、巻末見開きに一覧表で表記されている。</p> <p>○本文の下段に行数を表す「5」「10」「15」とその間に「…」が表記されているので、行数を数えやすい工夫がされている。</p> <p>○全ての学年が8つの単元で構成されていて、それぞれの扉のページに、第1学年は詩、第2学年は短歌、第3学年は俳句が写真とともに紹介されており、1年間を通して語感を豊かにする工夫がされている。</p>	<p>○他教科との関連教材に教科関連マークを付けているが、第1学年P118「私のタンポポ研究」にはマークがなく、第3学年P104「他教科で学ぶ漢字(1)」では教科名でなく、他教科と記載する等一貫性に欠ける。</p>
使用上の便宜	<p>○A4判、第1学年が本編244ページ、資料編50ページ、第2学年が本編244ページ、資料編54ページ、第3学年が本編230ページ、資料編80ページである。第1学年328ページ、第2学年336ページ、第3学年336ページであった令和3年度教科書よりページ数は1割程度少なくなっている。</p> <p>○教科横断的な学習として、各学年に「他教科で学ぶ漢字」のページがある。</p> <p>○第1学年のP230～241の文法の解説ページで品詞ごとに色分けをしたり、マークや文字情報を加えたりするなど、ユニバーサルデザインを意識したつくりとなっている。</p>	<p>○第1学年P136～137「月夜の浜辺」のように、詩歌教材は学習のてびきが目標だけになっているため、学習全体の流れが不明確である。</p>

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 国 語 】

発行者 【 三省堂 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○「読み方を学ぼう」として「行動描写」「図表と文章」「要約」など22の読み解くための方策を3年間で積み重ねて学習できるようになっている。</p> <p>○各学年の第6単元に「情報を関係づける」を設定し、第1学年では防災、第2学年では水、第3学年では情報をテーマにして、対話や考えの共有などの協働的な言語活動の場を適切に設け、主体的に考えを深められるようにしている。</p> <p>○各学年の第1単元に共通して「グループディスカッション」を位置づけ、話し合いの方法を学習できるようになっている。「いたばし学級活動の日」に関連付けて、学級活動の充実に役立つ教材である。</p> <p>○第1学年P44「ペンギンの防寒着」は、小学校で学習した説明文の読解の基礎・基本を確認できる教材を設け、中学校への円滑の接続を図っている。また、第2学年P230に「地域の魅力を振り返って」という、地域の情報紙を作成する教材があり、地域を学ぶ学習に関連付け、郷土愛の育成に役立てることができる。</p>	<p>○各学年に「歌の言葉」というJ-POPグループのヒット曲を紹介する見開き2ページの教材があるが、これまでの学習との関連など選定理由が曖昧である。</p>
構 成 ・ 分量	<p>○各学年P16～P18に「思考の方法」を載せ、「順序立てる」「関連付ける」「具体化する」など、考えを深め、確かなものにする9つの方法を紹介している。</p> <p>○「読むこと」の教材は、第1学年は、説明的文章6教材、文学的文章5教材、古典詩歌7教材、第2学年は、説明的文章8教材、文学的文章3教材、古典詩歌7教材、第3学年は説明的文章7教材、文学的文章3教材、古典詩歌7教材で構成されている。</p> <p>○3年間で合計283点の図書を紹介している。「読書教材」として紹介されているものは、補充教材や読み比べ教材としての利用を考えて選ばれている。</p>	<p>○第1学年の「ペンギンの防寒着」、第2学年の「宇宙に行くための素材」、第3学年の「批判的に読むとは」において、本文が折り込みページに書かれており、一覧性はあるが、ページを広げると机からはみ出してしまうため、見開きにする必要性はない。</p>
表 記 ・ 表現	<p>○第1学年では47点、第2学年では47点、第3学年では40点の二次元コードが掲載されており、学習のサポートをしている。「デジタル漢字ドリル」「デジタル文法ドリル」では、繰り返し問題に取り組み、知識の定着を図ることができる。巻末に、二次元コード一覧がまとめられている。</p> <p>○第1学年では、小単元を含め、行間が広く、見やすく、書き込みもしやすくなっている。</p> <p>○各教材の目標では、学習のキーワードとなる言葉に、あらかじめ黄色のマーカーが引いてあり、着目しやすく、学習の助けとなる。</p>	<p>○第1学年P118～P127「竹取物語」の本文中の挿絵の色が濃く、大きいため、視覚的に原文の読解の妨げになる恐れがある。</p>
使用上の便宜	<p>○A4判、第1学年が本編242ページ、資料編117ページ、第2学年が本編254ページ、資料編105ページ、第3学年が本編242ページ、資料編117ページである。資料編のページ数が多く、充実している。</p> <p>○資料編に全学年「小倉百人一首」が全て掲載されており、3年間を通して和歌に親しむことができる。</p> <p>○古典教材では、原文を黒字、口語訳を青字とするなど、カラーユニバーサルデザインの観点から見やすい配色となっている。</p>	<p>○第1学年P228と第3学年P224の「歌の言葉」の挿絵が大きいため、文字が見えづらくなっている。</p>

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 国 語 】

発行者 【 教育出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○学びを見通す「目標」「学びナビ」、学びを深める「学習活動の流れ」「みちしるべ」、学びを確かめる「振り返り」のポイントで「板橋区授業スタンダード」に沿った学習ができる。また、本文の前にある「学びナビ」が学習内容を理解する手助けとなっている。</p> <p>○第1学年P24～29「桜蝶」の導入に入門コラムを掲載するなど、入門期では領域ごとに学びをスモールステップ化している。小中連携の視点に立った単元であり、学習意欲を高めながらスムーズに中学校の学習に取り組める。</p> <p>○各学年に「SDGs持続可能な未来を創るために」という小単元があり、第1学年では「人の暮らし方を考える」、第2学年では「不平等のない社会を考える」、第3学年では「人間の生命・存在を考える」というテーマで、課題解決のために考えを深め、主体的に自ら考え、表現する力を高めることができる。</p> <p>○第2学年「日本の花火の楽しみ」は「いたばし花火大会」に関連付けて学ぶことができる。</p>	<p>○振り返りは自分の言葉でアウトプットすることが望ましいが、第1学年P47のように「振り返り」がチェック項目になっている。</p>
構成・分量	<p>○「読むこと」の教材は、第1学年は、説明的文章4教材、文学的文章4教材、古典詩歌5教材、第2学年は、説明的文章5教材、文学的文章3教材、古典詩歌6教材、第3学年は説明的文章4教材、文学的文章5教材、古典詩歌7教材で構成されている。</p> <p>○資料編に各学年で「表現に役立つ言葉」「理解に役立つ言葉」など、語彙に特化したページがあり、語彙力の向上と文章理解につながる学習ができる。</p> <p>○3年間で合計334点の図書を紹介している。教材作者や筆者の他の作品や教材のテーマに関連する図書が紹介されている。</p>	<p>○第3学年P246「バースデイ・ガール」や「読書への招待」の教材は、上下二段組で書かれており、一貫性に欠ける。</p>
表記・表現	<p>○「学びリンク」というデジタルコンテンツが、二次元コードで第1学年50点、第2学年52点、第3学年48点示されている。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントが使用され、第1学年では行間も広く、書き込みがしやすくなっている。</p> <p>○本文の下段に行数を表す「5」「10」「15」とその間に「…」が表記されているので、行数を数えやすくなっている。</p>	<p>○第1学年P30「文法の小窓」とP50「言葉の小窓」が横書きで書かれている。</p>
使用上の便宜	<p>○A4判、第1学年が本編264ページ、資料編88ページ、第2学年が本編276ページ、資料編92ページ、第3学年が本編270ページ、資料編82ページである。</p> <p>○挿絵、図版、写真は必要最低限としており、全体的にシンプルなつくりになっている。</p> <p>○第1学年冒頭の詩は、金子みすゞの詩を収録しており、小学4年生でも金子みすゞの詩を扱っているため、小学校での学習内容の系統を踏まえることを意識されている。</p>	<p>○第1学年P38「自分の脳を知っていますか」のように文章教材の下に記載されている新出漢字に読み仮名がついていない。</p>

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目【 国 語 】

発行者【 光村図書出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○「読むこと」を中心に、学習の流れがP28のように「見通しをもつ」「とらえる」「読み深める」「考えをもつ」「振り返る」となっており、板橋区授業スタンダードに沿った学習ができる。</p> <p>○文学的文章・説明的文章・「話すこと・聞くこと」の教材・「書くこと」の教材では、各教材に見開き2ページを使って、右側に学習の流れを、左側に学習のポイントを図解で整理した「学びのカギ」を配置し、学習内容の理解を深める工夫が見られる。</p> <p>○各学年教科書P9～10に「思考の地図」という折り込みページがあり、思考を広げる、思考を整理する、思考を深めるための具体的な思考法について解説し、「思考力、判断力、表現力等」の各領域や他教科の学習、日常生活でも主体的に活用し、学ぶことができるようにしている。</p> <p>○各学年に「情報×SDGs」という小単元があり、第1学年ではSDGs行動宣言をまとめる学習、第2学年では災害時における情報収集をする学習、第3学年では実用的な文章や報道文を比較して読む学習が設定されている。また、小学校からの円滑な接続を図るための特設教材「言葉に出会うために」が設定されている。</p>	<p>○見開き2ページの、右側の「学びの扉」が横書き、左側の「学びのカギ」が縦書きになっている、左右で文字の並びが異なっている。</p>
構成・分量	<p>○「読むこと」の教材は、第1学年は、説明的文章6教材、文学的文章5教材、古典詩歌7教材、第2学年は、説明的文章5教材、文学的文章5教材、古典詩歌9教材、第3学年は説明的文章7教材、文学的文章4教材、古典詩歌10教材で構成されている。</p> <p>○第1学年と第2学年のP262及び第3学年のP242に「国語の力試し」という一年間で学んだ内容を演習問題で確認できる教材が5ページ分ある。そこにある二次元コードから、発展問題に取り組むこともできる。</p> <p>○読書の紹介冊数が、3年間で447冊である。各学年に「読書を楽しむ」という本の紹介を中心に構成したコラムがある。</p>	<p>○第2学年の「枕草子」がまとまっている古典単元ではなく、第一単元の「広がる学びへ」の中に位置づけられている。</p>
表記・表現	<p>○第1学年では52点、第2学年では47点、第3学年では44点の二次元コードが掲載されており、巻末に一覧表で表記されている。合わせて「ICT活用のヒント」を「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の3領域に分けて解説している。</p> <p>○本文の下段に行数を表す「5」「10」「15」とその間に「…」が表記されているので、行数を数えやすくなっている。</p> <p>○漢字の読み仮名などの小さな文字は、見やすく、読みやすいようにユニバーサルデザインフォントが用いられている。</p>	<p>○第1学年P31とP189、第2学年P29とP183、第3学年P29とP183に、それぞれ2ページ分の「話すこと・聞くこと」の教材があるが、見開きページでなく、表裏のページになっている。</p>
使用上の便宜	<p>○A4判、第1学年が本編274ページ、資料編67ページ、第2学年が本編274ページ、資料編67ページ、第3学年が本編254ページ、資料編83ページである。</p> <p>○第1学年P20のように単元の扉のページの下部に、第1学年は「動きを表す言葉」として「見つめる、まどろむ」などを、第2学年では「色の名前」として「萌黄色、赤朽葉」などを、第3学年では「時を表す言葉」として「黎明、黄昏」などを、それぞれ写真とともに紹介している。</p> <p>○第1学年P267～P274、第2学年P267～P274、第3学年P247～254に「語彙ブック」という小冊子形式のページを設け、「情景を表す言葉」「抽象的な概念を表す言葉」「批評するときの言葉」などを学び、語彙を豊かにする学習ができる。</p>	<p>○教科書を開く際、P6～10が折り込みページのため開きやすくなっており、P2～5の目次を開こうとすると、先にその折り込みページが開いてしまい、簡単に目次を開くことができにくい。</p>

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書
中 学 校 【 書 写 】

調査委員長 松本 彰弘

総 評

○東京書籍
・P 4 に書写の学習の進め方が書かれており、「見つけよう」で「書写のカギ」（学習のポイント）を見つけ、「確かめよう」で実際に書いて確かめ、「生かそう」で「書写のカギ」を生かして他の文字を書くという流れで学習をすることができる。また、P 2 6 で行書の動きの四つのパターンを示すことで、生徒自身で応用して行書体で文字を書くことができる。
・本編104ページに加え、「書写活用ブック」という資料編が41ページある。そのうち常用漢字や人名漢字の学習に21ページを割いている。また、P 4 4、P 7 0、P 8 8 の各学年の最終ページに「書写テストに挑戦！」が用意され、一年間で学んだことの振り返りができるようになっている。
・二次元コードが31点ある。実際の運筆の解説などの動画が収録されている。また、P 1 2 のように、教材文字を上、書き込み欄を下に配置するなど左利き生徒への配慮もなされている。
・P 8 0 「自分のノートを見直す」という教材は、他教科の学習にも生かすことができる。また、P 4 3、P 6 9、P 8 7 「書いて味わおう」の硬筆手本は、国語の教科書に収録されている作品の一節を用いており、国語の学習と関連付けて指導することができる。

○三省堂
・「書き方を学ぼう」では、気を付けるべき点など書き方のポイントを、具体的な字形例とともに、楷書で3種類、行書で7種類示している。また、P 1 8、P 2 8、P 4 0、P 5 0、P 5 8、P 7 2 の「書いて身につけよう」では、毛筆の学習で習得したことを他教科の学習や日常生活・社会生活でも活用できるように、硬筆の書き込み教材が11教材用意されている。
・本編76ページ、資料編28ページで構成されている。常用漢字表が楷書と行書、両方書かれている。また、毛筆手本は、右側が解説ページ、左側が手本という見開き2ページで構成されている。
・二次元コードコンテンツが39点掲載されており、P 1 0 4 に一覧表が載っている。P 5 6 の「書き方を学ぼう 行書」のように、学習上重要な項目は大きな文字や目立つフォントで示されている。また、項目と項目の間に区切りの線を引き、他との区別を明瞭にするといった、特別な支援が必要な生徒でも学びやすい工夫がされている。
・「書いて身につけよう」の手本が、国語の教科書の教材の一部となっており、国語の授業との連携を意識したものとなっている。また、高校での学習の接続を見据え、P 7 4 「篆刻について知ろう」やP 8 6 「書の古典」等の発展的な内容を紹介している。

○教育出版
・「目標」「考えよう」「生かそう」「振り返ろう」「学習や日常生活に生かそう」の5つの学習手順が示されており、「板橋区授業スタンダード」に沿って学習を進めることができる。また、P 1 0 2 ～103 に各都道府県の城（城跡）の石碑の文字を写真で紹介しているため、板橋区について考える契機となる。
・本編107ページ、資料編28ページで構成されている。小学校で学習した漢字と中学校で学習する漢字が、楷書と行書の2種類書かれている。漢字は部首ごとに分けられている。また、毛筆手本は、左側が解説ページ、右側が手本という見開き2ページで構成されている。
・「まなびリンク」という二次元コードが、42点掲載されている。また、全ての毛筆教材に、中心線が示されており、わかりやすく、書きやすい工夫がなされている。また、数字で筆順が示されている。
・P 8 に左利きの生徒向けの用具の置き方を写真で示している。P 8 8 「日本建築と書」というコラムは、校外学習や修学旅行で見ることができるものの事前学習に役立てることができる。

○光村図書出版
・考えよう、確かめよう、生かそう、の3つのステップで学習を進めることができるようになっている。P 8 8 「手書きのよさって何だろう」ではマンガ教材を用いて、手書きのよさについて話し合い、どのように書くのがよいのかを生徒が主体的に考える学習活動となる工夫がされている。別冊のP 2 0 ～P 2 1 に「書写テストに挑戦しよう」があり、本編で学んだことを確かめることができる。
・取り外して使える、硬筆用の別冊「書写ブック」がある。文字の整え方を学び、日常に生かすことをねらいにしている。
・二次元コードが54点記載されている。P 3 0 の「姿勢・筆記具の持ち方」では、右利き用、左利き用の両方があり、どちらの聞き手にも配慮されている。また、P 4 1 やP 5 5 では、筆の運びを「トン スー トン」「ぴょん ぴょん ぴた」のように音とリズムを用いて表記している。
・P 5 2 「行書スイッチを入れよう」で「点画の連続」「筆順の変化」「点画の省略」「点画の変化」を4色に色分けして標記することで、生徒が意識するポイントが視覚的にも捉えられるようになっている。

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目【 書 写 】

発行者【 東京書籍 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○P 4 に書写の学習の進め方が書かれており、「見つけよう」で「書写のカギ」（学習のポイント）を見つけ、「確かめよう」で実際に書いて確かめ、「生かそう」で「書写のカギ」を生かして他の文字を書くという流れで学習をすることができる。</p> <p>○P 2 6 で行書の動きの四つのパターンを示すことで、生徒自身で応用して行書体で文字を書くことができる。</p> <p>○「生活に広げよう」という教材が5つあり、「手紙の書き方」「年賀状の書き方」「職場訪問」「本のポップを書く」「防災訓練」について、これまでの書写の学習を生活に関連付けることができる。</p> <p>○P 7 2 に身の回りで見かける様々な書体の写真を紹介することで、身の回りにある文字を参考にし、目的に応じた工夫について理解を深めることができる。</p>	<p>○P 2 2 のお礼状を書く、P 6 5 の防災訓練は、学習の仕方の説明はあっても具体例がないので、何を書いたらいいのか戸惑う生徒が出るのが予想される。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○本編104ページに加え、「書写活用ブック」という資料編が41ページある。そのうち常用漢字や人名漢字の学習に21ページを割いている。</p> <p>○毛筆の楷書手本が2作品、行書手本が10作品、書き初め手本が3作品収められている。書き初め手本の中に、四つ折りの原寸大作品が各学年1作品ずつある。</p> <p>○P 4 4、P 7 0、P 8 8 の各学年の最終ページに「書写テストに挑戦！」が用意され、一年間で学んだことの振り返りができるようになっている。</p>	<p>○毛筆の手本が、原寸大のものがなく、ガイド線もついていない。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○二次元コードが31点ある。実際の運筆の解説などの動画が収録されている。</p> <p>○P 1 2 のように、教材文字を上、書き込み欄を下に配置するなど左利き生徒への配慮がされている。また、特別な支援が必要な生徒への配慮として、色や要素の数を抑えている。</p> <p>○手書き文字に近い字形のユニバーサルデザイン書体を用いている。</p>	<p>○二次元コードコンテンツの一覧表がないので、どのページにどのようなものが見られるのか、わかりにくい。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○P 8 0 「自分のノートを見直す」という教材は、他教科の学習にも生かすことができる。</p> <p>○P 1 0 4 の高校書道部の活動を紹介するページは、中学校での学びが高校の学びへつながる意識をもたせることができる。</p> <p>○P 4 3、P 6 9、P 8 7 「書いて味わおう」の硬筆手本は、国語の教科書に収録されている作品の一節を用いており、国語の学習と関連付けて指導することができる。</p>	<p>○P 1 2 「字形と配列を整える書き方」のように硬筆の練習用のマスに中心線がないため、字形を意識して書く際の基準がなく、難しい。また、1マスしかないため1度しか練習できない。</p>

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 書 写 】

発行者 【 三省堂 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○全ての教材に学習目標と振り返りが設置されており、「板橋区授業スタンダード」に沿った学習ができる。</p> <p>○P18「毛筆で学んだことを硬筆に生かそう。」のように、毛筆で学んだことを硬筆で繰り返すことで、学習内容の定着を図ることができる。</p> <p>○「書き方を学ぼう」では、気を付けるべき点など書き方のポイントを、具体的な字形例とともに、楷書で3種類、行書で7種類示している。</p> <p>○P18、P28、P40、P50、P58、P72の「書いて身につけよう」では、毛筆の学習で習得したことを他教科の学習や日常生活・社会生活でも活用できるように、硬筆の書き込み教材が11教材用意されている。</p>	<p>○第3学年の学習教材が9ページと少ない。毛筆手本は、1作品のみである。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○毛筆の手本が、本編に楷書2作品、行書7作品が収められている。楷書の「天地」は見開き2ページ分を用いて、半紙サイズとなっている。資料編には、毛筆補助教材として、6つの言葉を楷書と行書2種類ずつ、書いた作品が収められている。書き初め手本は、第1学年と第3学年が2作品、第2学年は4作品収められている。</p> <p>○本編76ページ、資料編28ページで構成されている。常用漢字表が楷書と行書、両方書かれている。</p> <p>○毛筆手本は、右側が解説ページ、左側が手本という見開き2ページで構成されている。</p>	<p>○資料編に人名漢字表が掲載されていない。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○二次元コードコンテンツが39点あり、P104に一覧表が載っている。</p> <p>○P56の「書き方を学ぼう 行書」のように、学習上重要な項目は大きな文字や目立つフォントで示されている。また、項目と項目の間に区切りの線を引き、他との区別を明瞭にするといった、特別な支援が必要な生徒でも学びやすい工夫がされている。</p> <p>○色覚の特性を考慮して、誰にでも見やすく学びやすい配色となる、カラーユニバーサルデザインを採用している。</p>	<p>○P59の硬筆で書くページに、「筆順を意識して流れるように書けたかな」との表記があるが、掲載している総ての手本に筆順が記されているわけではない。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○硬筆で書く、消すといった使用に対応できる紙質の用紙が採用されている。</p> <p>○高校での学習の接続を見据え、P74「篆刻について知ろう」やP86「書の古典」等の発展的な内容を紹介している。</p> <p>○「書いて身につけよう」の手本が、国語の教科書の教材の一部となっており、国語の授業との連携を意識したものとなっている。</p>	<p>○P29「自分の学んだことを書き残そう。」という振り返りの記述欄が、学習内容に対して小さいため、書きづらい。</p>

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 書 写 】

発行者 【 教育出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○「目標」「考えよう」「生かそう」「振り返ろう」「学習や日常生活に生かそう」の5つの学習手順が示されており、「板橋区授業スタンダード」に沿って学習を進めることができる。</p> <p>○P42に行書の筆遣いが体感できるように、朱墨の図版を広い紙面で掲載している。</p> <p>○P14、15では国語科・社会科のノート、P33では理科の観察記録を手本にし、各教科の学習に対応したページがある。</p> <p>○P102～103に各都道府県の城（城跡）の石碑の文字を写真で紹介しているため、板橋区について考える契機となる。</p>	<p>○学習の成果を高校での学びにつなげるための教材がない。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○毛筆手本が、楷書2作品、行書6作品、補充教材として、楷書3作品、行書7作品が掲載されている。書き初め手本は、各学年2作品ずつである。楷書の「天地」のみ、見開き2ページを使った半紙サイズで書かれている。</p> <p>○本編107ページ、資料編28ページで構成されている。小学校で学習した漢字と中学校で学習する漢字が、楷書と行書の2種類書かれている。漢字は部首ごとに分けられている。</p> <p>○毛筆手本は、左側が解説ページ、右側が手本という見開き2ページで構成されている。</p>	<p>○P18～19のように半紙原寸大の手本だと、机の上で場所をとる。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○「まなびリンク」という二次元コードが、42点掲載されている。</p> <p>○全ての毛筆教材に、中心線が示されており、わかりやすく、書きやすい工夫がなされている。また、数字で筆順が示されている。</p> <p>○手書き文字に近いユニバーサルデザインフォントを使用している。</p>	<p>○コンテンツの一覧表がついていないので、どのような資料があるのわかりにくい。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○P8に左利きの生徒向けの用具の置き方を写真で示している。</p> <p>○誰もが判読しやすい配色やレイアウトを工夫しているカラーユニバーサルデザインを採用している。</p> <p>○P88「日本建築と書」というコラムは、校外学習や修学旅行で見ることができるものの事前学習に役立てることができる。</p>	<p>○B5変型判で、他社のものより横幅が長いいため、机の上で広げたときに、机からはみ出す可能性がある。</p>

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目【 書 写 】

発行者【 光村図書出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○考えよう、確かめよう、生かそう、の3つのステップで学習を進めることができるようになっていく。</p> <p>○P88「手書きのよさって何だろう」ではマンガ教材を用いて、手書きのよさについて話し合い、どのように書くのがよいのかを生徒が主体的に考える学習活動となる工夫がされている。</p> <p>○P96「ユニバーサルデザインフォントって何だろう」P98「防災フェスタを開こう」で、現代社会の課題に目を向けさせたり、地域社会と文字との関係を意識させたりすることができる。</p> <p>○別冊のP20～P21に「書写テストに挑戦しよう」があり、本編で学んだことを確かめることができる。</p>	<p>○漢字と仮名を交ぜて書く四文字以上の手本は、「豊かな森」と「輝ける未来」の2編で、いずれも行書体である。</p>
構 成・ 分 量	<p>○B5判、本編138ページ、別冊27ページで構成されている。</p> <p>○毛筆手本は、11作品収められている。そのうち「天地」「大木」「日光」「積雲」「紅花」は見開き2ページを用いて、半紙原寸大で描かれている。また、P148～P160にかけて、各学年の書き初め見本がそれぞれ4作品ずつ、折り込まれている。</p> <p>○取り外して使える、硬筆用の別冊「書写ブック」がある。文字の整え方を学び、日常に生かすことをねらいにしている。P26には年賀状の書き方を学べる、はがきの原寸大手本がある。</p>	<p>○P42～43、P56～57などのように、半紙原寸大の手本だと、机の上で場所をとる。</p>
表 記・ 表 現	<p>○二次元コードが54点記載されている。P30の「姿勢・筆記具の持ち方」では、右利き用、左利き用の両方があり、どちらの聞き手にも配慮されている。</p> <p>○P41やP55では、筆の運びを「トン スー トン」「びょん びょん びた」のように音とリズムを用いて表記している。</p> <p>○P52「行書スイッチを入れよう」で「点画の連続」「筆順の変化」「点画の省略」「点画の変化」を4色に色分けして標記することで、生徒が意識するポイントが視覚的にも捉えられるようになっている。</p>	<p>○P29の目次が1ページに凝縮して書かれているので、文字が小さく、探しにくい。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○P120～P137にかけて常用漢字や人名用漢字が五十音順に掲載されている。</p> <p>○目次や单元名には、見やすく読み間違えにくいUDフォントを採用している。</p> <p>○P82「全国フォント見つけ隊」、P90「全国文字マップ」では、写真を多く用いてわかりやすく、生徒に身近な地域の様々な標記に関心を持たせることができる工夫がされている。</p>	<p>○P94「文字の使い分けやその効果について、気付いたことを書こう。」の記入欄が小さく、使いづらい。</p>

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

中学校【社会 地理】

調査委員長

中村 嘉男

総 評

○東京書籍

・各単元末の「まとめの活動」において、学習内容を「知識」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」に整理する構成になっており、3つの資質・能力をバランスよく育成できる。また、「スキル・アップ」というコラムが31箇所設けられており、技能を育成できる。「地理のミカタ」では、地理的な見方・考え方を育成できる。

・「未来にアクセス」では、持続可能な社会の実現を考えることを通じて、「環境教育」や「郷土愛」と関連付けて学ぶことができる。また、各見開きの下部に記載された「チェック」「トライ」は、板橋区授業スタンダードの「自力解決」「集団解決」「まとめ・振り返り」として扱うことができる。

・各章が「課題をつかむ」「課題を追究する」「課題を解決する」という3つの学習過程で構成されており、課題解決的な学習をめざしている。また「みんなでチャレンジ」というコーナーでは、対話的な学習活動が設定されている。

・二次元コードが133個記載されており、写真や動画、ワークシート、統計資料、確認問題、用語解説、思考ツール、白地図、関連リンク等のデジタルコンテンツを利用できる。

○教育出版

・各単元末の「学習のまとめと表現」において、学習内容を「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力」に整理する構成になっており、3つの資質・能力をバランスよく育成できる。また、「地理の技」というコラムが8箇所設けられており、技能を育成できる。「見方・考え方ははたらかそう」が各章の初めに設けられており、地理的な見方・考え方を育成できる。

・各章の導入や「クロスロードⅠ～Ⅵ」では、持続可能な社会に向けて考えることを通じて、「環境教育」や「郷土愛」と関連付けて学ぶことができる。

・各見開きの下部に記載された「確認」「表現」は、板橋区授業スタンダードの「自力解決」「集団解決」「まとめ・振り返り」として扱うことができる。

・二次元コードが16個記載されており、動画や関連リンク、確認問題等のデジタルコンテンツを利用できる。

○帝国書院

・各単元末の「学習を振り返ろう」において、学習内容を「知識」「思考・判断・表現」「主体的な学び」に整理する構成になっており、3つの資質・能力をバランスよく育成できる。また、「技能をみがく」というコラムが21箇所設けられており、技能を育成できる。「見方・考え方」では、地理的な見方・考え方を育成できる。

・「未来に向けて」では、未来の社会をつくる取り組みを考えることを通じて、「環境教育」や「郷土愛」と関連付けて学ぶことができる。各見開きの下部に記載された「確認しよう」「説明しよう」は、板橋区授業スタンダードの「自力解決」「集団解決」「まとめ・振り返り」として扱うことができる。

・各単元が「単元の見通し」「単元の振り返り」という2つの学習活動で構成されており、単元を貫く問いを通して学ぶことをめざしている。また「アクティブ地理」というコーナーでは、主体的・対話的な学習活動が設定されている。

・二次元コードが82個記載されており、写真や動画、ワークシート、統計資料、GIS、確認問題、用語解説、思考ツール、白地図、他分野教科書リンク等のデジタルコンテンツを利用できる。

○日本文教出版

・各単元末の「まとめとふり振り返り」において、学習内容を「知識」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」に整理する構成になっており、3つの資質・能力をバランスよく育成できる。また「スキルUP」というコラムが27箇所設けられており、技能を育成できる。「地理的な見方・考え方」が各見開きに記載されており、地理的な見方・考え方を育成できる。

・「持続可能な地域をめざして」では、「環境教育」や「郷土愛」と関連付けて学ぶことができる。各見開きの下部に記載された「確認」「表現」は、板橋区授業スタンダードの「自力解決」「集団解決」「まとめ・振り返り」として扱うことができる。

・多くの単元が、「州・地方のあらましをつかむ」「問いを立て、学習を見通す」「問いを追究する」「まとめ、ふり返る」という4つの学習過程で構成されている。また「議論してみよう」というコーナーでは、対話的な学習活動が設定されている。

・二次元コードが152個記載されており、動画やワークシート、確認問題、白地図等のデジタルコンテンツを利用できる。

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 社会 地理 】

発行者 【 東京書籍 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○各単元末の「まとめの活動」において、学習内容を「知識」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」に整理する構成になっており、3つの資質・能力をバランスよく育成できる。また、「スキル・アップ」というコラムが31箇所設けられており、技能を育成できる。学習の課程に適宜「地理のミカタ」が記載されており、学習を深めることができる。 ○「資料から発見！」という学習が6ページ設けられており、資料を活用する力を育成できる。 ○「未来にアクセス」では、持続可能な社会の実現を考えることを通じて、「環境教育」や「郷土愛」と関連付けて学ぶことができる。また、各見開きの下部に記載された「チェック」「トライ」は、板橋区授業スタンダードの「自力解決」「集団解決」「まとめ・振り返り」として扱うことができる。 ○各章の導入部に小学校の学習内容との関連が明記されており、小・中の学習を円滑に接続できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「地理のミカタ」の記載頻度や記載場所がページによって異なり、規則性がわかりにくい。
構 成 ・ 分 量	<ul style="list-style-type: none"> ○各章が「課題をつかむ」「課題を追究する」「課題を解決する」という3つの学習過程で構成されており、課題解決的な学習をめざしている。また「みんなでチャレンジ」というコーナーでは、対話的な学習活動が設定されている。 ○他教科、社会科の他分野との関連が明記されており、教科等横断的な指導ができる。 ○「もっと知りたい！」が34箇所設けられており、発展的内容について学習できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○州や地方の自然環境に関する本文の記述が少なく、特色を捉えにくい。
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○見開きの左上に写真や地図等の導入資料が掲載されており、学習意欲を喚起するように工夫されている。 ○二次元コードが133個記載されており、写真や動画、ワークシート、統計資料、確認問題、用語解説、思考ツール、白地図、関連リンク等のデジタルコンテンツを利用できる。 ○ユニバーサルデザインフォントを採用し、すべての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○導入資料から学習課題へのつながりの説明が足りない。
使 用 上 の 便 宜	<ul style="list-style-type: none"> ○「この教科書の使い方と学び方」がP4に記載されており、学習全体の流れや学び方が明記されている。目次は見開きで見やすい。 ○見開き下部の「チェック」「トライ」、単元末の「まとめの活動」、巻末の「用語解説」、デジタルコンテンツの確認問題等は、自学自習に生かすことができる。 ○サイズはA B判で287ページであり、生徒の負担に配慮した軽量の紙を使用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○州や地方の単元の冒頭のページが、他のページとレイアウトが異なり、情報を捉えにくい。

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 社会 地理 】

発行者 【 教育出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○各単元末の「学習のまとめと表現」において、学習内容を「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力」に整理する構成になっており、3つの資質・能力をバランスよく育成できる。また、「地理の技」というコラムが8箇所設けられており、技能を育成できる。 ○「見方・考え方をはたらかそう」が各章の初めに設けられており、学習を深めることができる。 ○各章の導入や「クロスロードⅠ～Ⅵ」では、持続可能な社会に向けて考えることを通じて、「環境教育」や「郷土愛」と関連付けて学ぶことができる。 ○各見開きの下部に記載された「確認」「表現」は、板橋区授業スタンダードの「自力解決」「集団解決」「まとめ・振り返り」として扱うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地理的な見方・考え方の記載が各章の初めだけで、単元や学習内容ごとには記載されていない。
構 成 ・ 分 量	<ul style="list-style-type: none"> ○巻頭ページに、「第1編 世界と日本の地域構成」「第2編 世界のさまざまな地域」「第3編 日本のさまざまな地域」という学習内容の順序、社会科各分野の関連が記載されている。 ○社会科の他分野との関連が明記されており、教科等横断的な指導ができる。 ○「地理の窓」が53箇所設けられており、発展的内容について学習できる。また、「TRY!」が6箇所設けられており、発展的な内容について学ぶことで、思考力・判断力・表現力を高める工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○単元を見通した学習過程に関する解説がなく、学習内容のつながりを把握しにくい。
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○見開きの左上に写真や地図等の導入資料が掲載されており、学習意欲を喚起するように工夫されている。 ○二次元コードが16個記載されており、動画や関連リンク、確認問題等のデジタルコンテンツを利用できる。 ○ユニバーサルデザインフォントを採用し、すべての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○導入資料から学習課題へのつながりの説明が足りない。
使 用 上 の 便 宜	<ul style="list-style-type: none"> ○「地理の学習を始めるにあたって…」が巻頭に記載されており、学習全体の流れや学び方が明記されている。目次は見開きで見やすい。 ○見開き下部の「確認」「表現」、単元末の「学習のまとめと表現」、巻末の「用語解説」、デジタルコンテンツの確認問題等は、自学自習に生かすことができる。 ○サイズはA B判で297ページである。 	<ul style="list-style-type: none"> ○単元と1時間の学習の流れが別のページに書かれているため、全体を把握しにくい。

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 社会 地理 】

発行者 【 帝国書院 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○各単元末の「学習を振り返ろう」において、学習内容を「知識」「思考・判断・表現」「主体的な学び」に整理する構成になっており、3つの資質・能力をバランスよく育成できる。また、「技能をみがく」というコラムが21箇所設けられており、技能を育成できる。 ○学習の過程に適宜「見方・考え方」が記載されており、学習を深めることができる。 ○「未来に向けて」では、未来の社会をつくる取り組みを考えることを通じて、「環境教育」や「郷土愛」と関連付けて学ぶことができる。各見開きの下部に記載された「確認しよう」「説明しよう」は、板橋区授業スタンダードの「自力解決」「集団解決」「まとめ・振り返り」として扱うことができる。 ○見開きの左下に小学校の学習内容との関連が明記されており、小・中の学習を円滑に接続できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「学習を振り返ろう」の「主体的な学び」の問いが、どの単元も同じ内容である。
構 成 ・ 分 量	<ul style="list-style-type: none"> ○各単元が「単元の見通し」「単元の振り返り」という2つの学習活動で構成されており、単元を貫く問いを通して学ぶことをめざしている。また「アクティブ地理」というコーナーでは、主体的・対話的な学習活動が設定されている。 ○他教科、社会科の他分野との関連が明記されており、教科等横断的な指導ができる。 ○「地理プラス+」が24箇所設けられており、発展的内容について学習できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○単元の冒頭のページでは写真の掲載数が多く、単元の主題への焦点化が難しい。
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○見開きの左上に写真や地図等の導入資料が掲載されており、学習意欲を喚起するように工夫されている。 ○二次元コードが82個記載されており、写真や動画、ワークシート、統計資料、GIS、確認問題、用語解説、思考ツール、白地図、他分野教科書リンク等のデジタルコンテンツを利用できる。 ○ユニバーサルデザインフォントを採用し、すべての生徒の色覚特性に適應するようにデザインしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○コラムの行間、余白が狭く、読みにくい。
使 用 上 の 便 宜	<ul style="list-style-type: none"> ○「教科書を活用した学び方」が巻頭P5に記載されており、学習全体の流れや学び方が明記されている。目次は見開きで見やすい。 ○見開き下部の「確認しよう」「説明しよう」、単元末の「学習を振り返ろう」、デジタルコンテンツの「用語解説」や確認問題等は、自学自習に生かすことができる。 ○サイズはA B判で298ページである。 	<ul style="list-style-type: none"> ○単元ごとの課題や問いを立てる学習過程についての説明がわかりにくい。

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 社会 地理 】

発行者 【 日本文教出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○各単元末の「まとめとふり返し」において、学習内容を「知識」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」に整理する構成になっており、3つの資質・能力をバランスよく育成できる。また「スキルUP」というコラムが27箇所設けられており、技能を育成できる。 ○「地理的な見方・考え方」が各見開きに記載されており、学習を深めることができる。 ○「持続可能な地域をめざして」では、「環境教育」や「郷土愛」と関連付けて学ぶことができる。各見開きの下部に記載された「確認」「表現」は、板橋区授業スタンダードの「自力解決」「集団解決」「まとめ・振り返り」として扱うことができる。 ○見開きの左下に小学校の学習内容との関連が明記されており、小・中の学習を円滑に接続できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「まとめとふり返し」の「主体的に学習に取り組む態度」の問いが、どの単元も同じ内容である。
構 成 ・ 分 量	<ul style="list-style-type: none"> ○多くの単元が、「州・地方のあらましをつかむ」「問いを立て、学習を見通す」「問いを追究する」「まとめ、ふり返る」という4つの学習過程で構成されている。また「議論してみよう」というコーナーでは、対話的な学習活動が設定されている。 ○「トライ」では、地球儀の使用や表に整理するなど、具体的な学習活動が示されている。 ○「地理+α」が42箇所設けられており、発展的内容について学習できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○他教科や社会科の他分野との関連が明記されていない。
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○見開きの左上に写真や地図等の導入資料が掲載されており、学習意欲を喚起するように工夫されている。 ○二次元コードが152個記載されており、動画やワークシート、確認問題、白地図等のデジタルコンテンツを利用できる。 ○ユニバーサルデザインフォントを採用し、すべての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒にとって理解が難しい表現が見られる。 P20「当時住んでいた日本人はふるさとを追われ」P41「信仰のあつい人にとっては宗教の教えが日常生活のよりどころになります」など。
使 用 上 の 便 宜	<ul style="list-style-type: none"> ○「教科書の構成と学び方」が巻頭P7に記載されており、学習全体の流れや学び方が明記されている。目次は見開きで見やすい。 ○見開き下部の「確認」「表現」、単元末の「まとめとふり返し」、巻末の「用語解説」、デジタルコンテンツの確認問題等は、自学自習に生かすことができる。 ○サイズはA B判で305ページである。 	<ul style="list-style-type: none"> ○SDGsに関わる内容はマークで表されているが、具体的にどの項目と関わるのかがわかりにくい。

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

中学校【社会 歴史】

調査委員長

中村 嘉男

総 評

○東京書籍

- ・各単元末の「まとめの活動」において、学習内容を「知識」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」に整理する構成になっている。
- ・「未来にアクセス」、「身近な地域の歴史」（P16）、「持続可能な社会の実現に向けて」（P264）、「歴史に学び、未来へと生かそう」（P274）は、「環境教育」や「郷土愛」と、「チェック」「トライ」は、板橋区授業スタンダードの「自力解決」「集団解決」「まとめ・振り返り」と関連付けることができる。

○教育出版

- ・各単元末の「学習のまとめと表現」において、学習内容を「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」に整理する構成になっている。
- ・「身近な地域の歴史を調べよう」（P12）、「未来をひらくために」（P280）、「歴史学習の終わりに」（P287）は、「環境教育」や「郷土愛」と、「確認」「表現」は、板橋区授業スタンダードの「自力解決」「集団解決」「まとめ・振り返り」と関連付けて扱うことができる。

○帝国書院

- ・各単元末の「学習を振り返ろう」において、学習内容を「知識」「思考・判断・表現」「主体的な学び」に整理する構成になっている。
- ・「歴史の調べ方・まとめ方・発表のしかた」（P8）「国際社会におけるこれからの日本」（P303）、「これからの社会を構想しよう」（P307）は、「環境教育」や「郷土愛」と、「確認しよう」「説明しよう」は、板橋区授業スタンダードの「自力解決」「集団解決」「まとめ・振り返り」と関連付けて扱うことができる。

○山川出版社

- ・各単元末の「まとめ」において、学習内容を多面的・多角的に考察することができる。
- ・「身近な地域を調べよう」（P8）「今の日本、これからの日本」（P280）は、「環境教育」や「郷土愛」と、「ステップアップ」は、板橋区授業スタンダードの「自力解決」「集団解決」「まとめ・振り返り」と関連付けて扱うことができる。

○日本文教出版

- ・各単元末の「まとめとふり振り返り」において、学習内容を「知識」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」に整理する構成になっている。
- ・「身近な地域の歴史の探究」（P12）、「これからの世界と日本の課題」（P284）、「『歴史との対話』を未来に活かす」（P292）は、「環境教育」や「郷土愛」と、「確認」「表現」は、板橋区授業スタンダードの「自力解決」「集団解決」「まとめ・振り返り」と関連付けて扱うことができる。

○自由社

- ・各単元末の「調べ学習のページ」「復習問題のページ」「時代の特徴を考えるページ」「対話とまとめ図のページ」において、学習内容を整理できる。
- ・「地域の歴史を調べよう」（P12）は「郷土愛」と、「チャレンジ」は、板橋区授業スタンダードの「自力解決」「集団解決」「まとめ・振り返り」と関連付けて扱うことができる。

○育鵬社

- ・各単元末の「学習のまとめ」において、学習内容を整理したり、各時代の特色を捉えたりすることができる。
- ・「身近な地域の歴史の調べ方」（P18）、「これからの世界と日本」（P270）は、「環境教育」や「郷土愛」と、「確認」「探究」は、板橋区授業スタンダードの「自力解決」「集団解決」「まとめ・振り返り」と関連付けて扱うことができる。

○学び舎

- ・各単元末の「学習のまとめ」において、学習内容を整理したり、各時代の特色を捉えたりすることができる。
- ・「地域の博物館で調べる」（P132）、「今、世界の子どもたちは」（P246）は、「環境教育」や「郷土愛」と、「学習課題」は、板橋区授業スタンダードの「自力解決」「集団解決」「まとめ・振り返り」と関連付けて扱うことができる。

○令和書籍

- ・各単元末の「まとめ」において、学習内容を整理したり、各時代の特色を捉えたりすることができる。
- ・「グループで歴史を調べよう」（P14）、「国際協調と日本の役割」（P444）は、「環境教育」や「郷土愛」と、「考えよう」は、板橋区授業スタンダードの「自力解決」「集団解決」「まとめ・振り返り」と関連付けて扱うことができる。

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 社会 歴史 】

発行者 【 東京書籍 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○各単元末の「まとめの活動」において、学習内容を「知識」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」に整理する構成になっており、3つの資質・能力をバランスよく育成できる。また、「スキル・アップ」というコラムが21箇所設けられており、歴史の学習における基礎的・基本的な技能の育成ができる。 ○学習の過程に適宜「見方・考え方」マークがあり、学習を深めることができる。 ○コラム「未来にアクセス」、「身近な地域の歴史」（P16）、「持続可能な社会の実現に向けて」（P264）、「歴史に学び、未来へと生かそう」（P274）は、「環境教育」や「郷土愛」と関連付けて学ぶことができる。また、各見開きの下部に記載された「チェック」「トライ」は、板橋区授業スタンダードの「自力解決」「集団解決」「まとめ・振り返り」として扱うことができる。 ○各章の導入部に小学校の学習内容との関連が明記されており、小・中の学習を円滑に接続できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○P137「渋染一揆」P193「社会主義の動向」には人権・平和のマークがついているが、P93「河原者たちの優れた技術」P185「エルトゥール号遭難事件」は現代的課題に対応する教材にもかかわらず人権・平和のマークがない。
構 成 ・ 分量	<ul style="list-style-type: none"> ○各章が「課題をつかむ」「課題を追究する」「課題を解決する」という3つの学習過程で構成されており、課題解決的な学習をめざしている。また「みんなでチャレンジ」というコーナーでは、対話的な学習活動が設定されている。 ○他教科、社会科の他分野との関連が明記されており、教科等横断的な指導ができる。 ○学習内容を深めたり広めたりするコラム「もっと知りたい！」が33箇所設けられており、発展的内容について学習できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「まとめの活動」の学習内容が多く、一単位時間では学習を終えることができないページがある。
表 記 ・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ○各章に「導入の活動」が設定されており、「探究課題」「探究のステップ」を把握できるように工夫されている。ページの右端に年表がついていて、学習している時期を把握できる。 ○二次元コードが136個記載されており、動画やワークシート、思考ツール、白地図、確認問題、年表、関連リンク等のデジタルコンテンツを利用できる。 ○ユニバーサルデザインフォントを採用し、すべての生徒の色覚特性に適應するようにデザインしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○資料や解説の文字が小さい。
使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ○「この教科書の使い方と学び方」がP6に記載されており、学習全体の流れや学び方が明記されている。目次は見開きで見やすい。 ○見開き下部の「チェック」「トライ」、単元末の「まとめの活動」、巻末の「用語解説」、デジタルコンテンツの確認問題等は、自学自習に生かすことができる。 ○サイズはAB判で、巻頭3ページ、本文287ページ、巻末3ページである。巻頭には資料のとらえ方、巻末には年表、旧国名地図が掲載されている。生徒の負担に配慮した軽量の紙を使用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○デジタルコンテンツを表す「D」マークが小さく、見付けにくい。

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 社会 歴史 】

発行者 【 教育出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○各単元末の「学習のまとめと表現」は、学習内容を「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」に整理する内容となっている。「歴史の技」というコラムが8箇所設けられており、歴史の学習に必要な技能を育成できる。</p> <p>○学習の過程に適宜「見方・考え方」を働かせるマークがあり、学習を深めることができる。</p> <p>○「身近な地域の歴史を調べよう」(P12)、「未来をひらくために」(P280)、「歴史学習の終わりに」(P287)は、「環境教育」や「郷土愛」と関連付けて学ぶことができる。</p> <p>○各見開きの下部に記載された「確認」「表現」は、板橋区授業スタンダードの「自力解決」「集団解決」「まとめ・振り返り」として扱うことができる。</p>	<p>○「表現!」は「～を説明しよう」という発問が多いが、対話的学習を促すような「話し合おう」や「友達に説明しよう」という内容になると良い。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○各章が「どびら／導入」「本文／特設」「学習のまとめと表現」という3つの構成になっている。また「TRY!」というコーナーでは、学習を深めたり、歴史から学んだことを生かして現代社会の議題について考えたりすることで、思考力・判断力・表現力を高めるような学習活動が設定されている。</p> <p>○特設ページの見開き左ページ下「関連」には、社会科の他分野との関連が明記されており、教科等横断的な指導ができる。</p> <p>○学習から興味や関心を広げていくコラム「歴史の窓」が19箇所、具体的な事例・テーマをもとに学習を深める特設ページ「歴史を探ろう」が13ページ設けられており、発展的な内容について学習できる。</p>	<p>○単元を見通した学習過程に関する解説が乏しく、学習内容のつながりを把握しにくい。(巻頭2)</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○各章に「学習のはじめに」が設定されており、「問い」「学習の見通し」を把握できるように工夫されている。</p> <p>○二次元コードが13個記載されており、動画や関連リンク、確認問題等のデジタルコンテンツを利用できる。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントを採用し、カラーユニバーサルデザインに配慮している。</p>	<p>○資料や解説の文字が小さい。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○「教科書の使い方」が巻頭に記載されており、学習全体の流れや教科書の見方・使い方が明記されている。</p> <p>○見開き下部の「確認」「表現」、単元末の「学習のまとめと表現」、デジタルコンテンツの確認問題等は、自学自習に生かすことができる。</p> <p>○サイズはA B判で、巻頭4ページ、本文298ページ、巻末6ページである。巻頭に産業や文化に関する資料、巻末に年表、主な史跡などが記載された日本地図が掲載されている。</p>	<p>○目次が折込になっていて見にくい。</p>

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 社会 歴史 】

発行者 【 帝国書院 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○各単元末の「学習を振り返ろう」において、学習内容を「知識」「思考・判断・表現」「主体的な学び」に整理する構成になっており、3つの資質・能力をバランスよく育成できる。また、「技能をみがく」というコラムが14箇所設けられており、歴史の学習に必要な技能を育成できる。</p> <p>○学習の過程に適宜「見方・考え方」を働かせるマークがあり、学習を深めることができる。</p> <p>○「歴史の調べ方・まとめ方・発表のしかた」(P8)「国際社会におけるこれからの日本」(P303)、「これからの社会を構想しよう」(P307)は、「環境教育」や「郷土愛」と関連付けて学ぶことができる。各見開きの下部に記載された「確認しよう」「説明しよう」は、板橋区授業スタンダードの「自力解決」「集団解決」「まとめ・振り返り」として扱うことができる。</p> <p>○見開きの左下に小学校の学習内容との関連が明記されており、小・中の学習を円滑に接続できる。</p>	<p>○「学習を振り返ろう」の「主体的な学び」の問いが、どの単元も同じ内容である。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○各単元が「単元の見通し」「単元の振り返り」という2つの学習活動で構成されており、単元を貫く問いを通して学ぶことをめざしている。また「アクティブ歴史」というコーナーでは、主体的・対話的な学習活動が設定されている。</p> <p>○他教科、社会科の他分野との関連が明記されており、教科等横断的な指導ができる。</p> <p>○歴史的事象について詳しく解説した「歴史プラス+」が37箇所、「歴史を探ろう」が11テーマ設けられており、発展的内容について学習できる。また、持続可能な開発目標と歴史の関連を意識できる「未来に向けて」をコラムで6箇所設けており、環境教育や人権など6つのテーマから未来の社会をつくるために参考となる人々の取組を紹介している。</p>	<p>○各章の導入の「学習する時代の見通しをもとう」の課題が、「どのように社会が変化するかを書こう」というものであり、内容が難しい。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○各章に「章扉」が設定されており、「章全体の学習内容の見通し」「章の問い」を把握できるよう工夫されている。ページの右端に年表がついていて、学習している時期を把握できる。</p> <p>○二次元コードが59個記載されており、動画やワークシート、思考ツール、白地図、確認問題、年表、他分野教科書リンク等のデジタルコンテンツを利用できる。</p> <p>○特別支援教育やユニバーサルデザインの観点から、色づかいへの配慮、ユニバーサルデザインフォントの採用を行っている。</p>	<p>○資料や解説の文字が小さい。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○「教科書を活用した学び方」が巻頭P5に記載されており、学習全体の流れや学び方が明記されている。目次は見開きで見やすい。</p> <p>○見開き下部の「確認しよう」「説明しよう」、単元末の「学習を振り返ろう」、デジタルコンテンツの「用語解説」や確認問題等は、自学自習に生かすことができる。</p> <p>○サイズはAB判で、巻頭9ページ、本文314ページ、巻末2ページである。巻頭・巻末にSDGsとの関わりが記載されている。巻末に歴史年表、歴史舞台の地図が記載されている。</p>	<p>○単元ごとの課題や問いを立てる学習過程についての説明がわかりにくい。(巻頭5)</p>

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 社会 歴史 】

発行者 【 山川出版社 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○各単元末の「まとめ」において、学習内容を多面的・多角的に考察することができる。 ○写真やグラフ、コラムなどに関連して「発問」が記載されており、生徒の思考を促すことができる。 ○「身近な地域を調べよう」（P 8）「今の日本、これからの日本」（P 2 8 0）は、「環境教育」や「郷土愛」と関連付けて学ぶことができる。また、各見開きの下部に記載された「ステップアップ」は、板橋区授業スタンダードの「自力解決」「集団解決」「まとめ・振り返り」として扱うことができる。 ○各章の扉には、日本と世界のできごとを上下に分けて示す年表を付し、視覚的に時代の流れをつかむことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○現在と未来の日本や世界の在り方について、課題意識をもって多面的・多角的に考察、構想し、表現する学習活動が乏しい。
構 成 ・ 分 量	<ul style="list-style-type: none"> ○各見開きの冒頭に「学習課題」が明記されている。「歴史を考えよう」では、対話的な学習活動が設定されている。 ○地域の歴史について様々な角度から考える「地域からのアプローチ」が7ページ設けられており、学習を深めることができる。 ○テーマを設定し、歴史的に深く掘り下げて解説する「歴史へのアプローチ」が10箇所設けられており、発展的内容について学習できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○単元ごとの学習過程や学習課題が明示されておらず、学習の見通しをもちにくい。
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○各章の冒頭では、関連資料や年表が掲載されており、学習内容の概要を把握できるように工夫されている。 ○二次元コードが28個記載されており、動画や関連リンク、拡大画像等のデジタルコンテンツを利用できる。 ○ユニバーサルデザインフォントを採用し、カラーユニバーサルデザインを取り入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○年表が章ごとに分かれており、全体を把握できる年表がない。
使 用 上 の 便 宜	<ul style="list-style-type: none"> ○「この教科書の使い方」がP 4に記載されており、マークや表記について解説している。 ○見開き下部の「ステップアップ」、単元末の「まとめ」は、自学自習に生かすことができる。 ○サイズはA B判で、本文288ページである。巻頭に日本の世界遺産に関する地図、巻末に世界地図が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習全体の流れが明記されていない。

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 社会 歴史 】

発行者 【 日本文教出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○各単元末の「まとめとふり返し」において、学習内容を「知識」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」に整理する構成になっており、3つの資質・能力をバランスよく育成できる。 ○「スキルUP」というコラムが15箇所設けられており、情報の収集、読み取り、まとめに関する技能を育成できる。 ○学習課題の解決に向けて手がかりとなる「見方・考え方」が各見開きに記載されており、学習を深めることができる。 ○「身近な地域の歴史の探究」（P12）、「これからの世界と日本の課題」（P284）、「『歴史との対話』を未来に活かす」（P292）は、現代社会の課題の例として、災害、政治参加、世界平和に関する教材が記載されており、「環境教育」や「郷土愛」と関連付けて学ぶことができる。各見開きの下部に記載された「確認」「表現」は、板橋区授業スタンダードの「自力解決」「集団解決」「まとめ・振り返り」として扱うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「まとめとふり返し」の「主体的に学習に取り組む態度」の問いが、どの単元も同じ内容である。
構 成 ・ 分 量	<ul style="list-style-type: none"> ○各単元が「問いを立て、学習を見通す」「問いを追究する」「まとめ、ふり返る」という3つの学習過程で構成されている。また「チャレンジ歴史」というコーナーでは、歴史について考え対話する学習活動が設定されている。「各時代の女性」では、各時代の女性の姿を紹介している。 ○社会科の他分野との関連が明記されており、教科等横断的な指導ができる。 ○コラム「歴史+α」が17箇所、歴史の学習を幅広く豊かにする「歴史を掘り下げる」が7テーマ設けられており、発展的内容について学習できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各単元の導入が4ページずつあり、学習活動が多い。
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○各章に「学習のはじめに」が設定されており、「学習の問い」「学習の見通し」を把握できるように工夫されている。 ○二次元コードが104個記載されており、動画やワークシート、確認問題、年表等のデジタルコンテンツを利用できる。 ○ユニバーサルデザインフォントを使用し、カラーユニバーサルデザインに配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○資料や解説の文字が小さい。
使 用 上 の 便 宜	<ul style="list-style-type: none"> ○「教科書の構成と学び方」が巻頭P2に記載されており、学習全体の流れや学び方が明記されている。目次は見開きで見やすい。 ○見開き下部の「確認」「表現」、単元末の「まとめとふり返し」、デジタルコンテンツの確認問題等は、自学自習に生かすことができる。 ○サイズはA B判で、巻頭3ページ、本文307ページ、巻末4ページである。巻頭に写真、巻末に文化財の種類、旧国名地図、主な史跡などが記載された日本地図が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○SDGsに関わる内容はマークで表されているが、具体的にどの項目と関連するのかがわかりにくい。

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 社会 歴史 】

発行者 【 自由社 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○各単元末の「調べ学習のページ」「復習問題のページ」「時代の特徴を考えるページ」「対話とまとめ図のページ」において、学習内容を整理したり、各時代の特色を捉えたりすることができる。 ○重要語句がゴシック体で表されており、「知識」の習得に役立てることができる。 ○「やってみよう」では、「思考力・判断力・表現力」を育成できる。 ○「地域の歴史を調べよう」（P 1 2）は「郷土愛」と関連付けて学ぶことができる。また、各見開きの下部に記載された「チャレンジ」は、板橋区授業スタンダードの「自力解決」「集団解決」「まとめ・振り返り」として扱うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○現在と未来の日本や世界の在り方について、課題意識をもって多面的・多角的に考察、構想し、表現する学習活動が乏しい。
構 成 ・ 分 量	<ul style="list-style-type: none"> ○各見開きの冒頭に「学習課題」が明記されている。 ○特設ページ「もっと知りたい」が27箇所設けられており、発展的内容について学習できる。 ○巻末の「日本の歴史の特色は何か」には6つの学習課題が設定されており、学習を深めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○章や節ごとの学習課題が設定されていない。
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○各章のはじめに図や写真を掲載し、学習内容をイメージできるように工夫されている。 ○難しい語句についてはページ端に補足をし、詳細に説明している。 ○歴史上の文書や文献がもとになった資料には印がつけられており、他の資料やコラムと見分けやすくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○デジタルコンテンツが利用できない。ユニバーサルデザインについて配慮されていない。
使 用 上 の 便 宜	<ul style="list-style-type: none"> ○「歴史を学ぶとは」がP 2に記載されている。目次は3ページにわたっている。 ○見開き下部の「チャレンジ」、単元末の「調べ学習のページ」「復習問題のページ」「時代の特徴を考えるページ」「対話とまとめ図のページ」、巻末の「重要用語解説」「年表」は、自学自習に生かすことができる。 ○サイズはA B判で、巻頭3ページ、本文303ページである。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習全体の流れや学び方が明記されていない。

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 社会 歴史 】

発行者 【 育鵬社 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○各単元末の「学習のまとめ」において、学習内容を整理したり、各時代の特色を捉えたりすることができる。 ○学習の過程に適宜「見方・考え方」を働かせるマークがあり、学習を深めることができる。 ○本文の資料に付いている「資料活用」は、歴史の学習に必要な情報を集めたり、読み取ったり、まとめたりする技能を育成することができる。 ○「身近な地域の歴史の調べ方」(P18)、「これからの世界と日本」(P270)は、「環境教育」や「郷土愛」と関連付けて学ぶことができる。また、各見開きの下部に記載された「確認」「探究」は、板橋区授業スタンダードの「自力解決」「集団解決」「まとめ・振り返り」として扱うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○現在と未来の日本や世界の在り方について、課題意識をもって多面的・多角的に考察、構想し、表現する学習活動が乏しい。
構成・分量	<ul style="list-style-type: none"> ○各章が「課題をつかむ」「課題について調べる」「課題についてまとめる・表現する」という3つの学習過程で構成されている。また「TRY!」というコーナーでは、対話的な学習活動が設定されている。 ○歴史上の人物について詳しく紹介したコラム「人物クローズアップ」が17箇所、歴史的事象を多角的に解説したコラム「歴史ビュー」が15箇所設けられており、詳しく学ぶことができる。 ○学習内容をより深めるための解説や資料、情報を紹介する「歴史ズームイン」が18ページ設けられており、発展的内容について学習できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各単元の導入が4ページずつあり、学習活動が多い。
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○各章の冒頭に「鳥の目で見ると」「虫の目で見ると」が設定されており、「時代の大きな流れ」「その時代の特色」を把握できるように工夫されている。 ○二次元コードが7個記載されており、関連リンクにアクセスできる。 ○特別支援教育やユニバーサルデザインの観点から、色づかいへの配慮、ユニバーサルデザインフォントの採用を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ページ下部の余白が狭く、文字がつまっているように見える。
使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ○「『主体的対話的で深い学び』を支える教科書の構成」がP4に記載されており、学習全体の流れや学び方が明記されている。目次は見開きで見やすい。 ○見開き下部の「確認」「探究」、単元末の「学習のまとめ」は、自学自習に生かすことができる。 ○サイズはA B判で、巻頭3ページ、本文292ページ、巻末5ページである。巻頭に「日本の美の形」、巻末に年表、各地の主な遺跡・史跡が記載された日本地図が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「歴史的な見方・考え方」の説明がわかりにくい。(P6, P12～15)

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 社会 歴史 】

発行者 【 学び舎 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○各単元末の「学習のまとめ」において、学習内容を整理したり、各時代の特色を捉えたりすることができる。 ○重要語句についてはページ端に解説がされており、知識の習得に役立てることができる。 ○「地域の博物館で調べる」（P 1 3 2）、「今、世界の子どもたちは」（P 2 4 6）は、「環境教育」や「郷土愛」と関連付けて学ぶことができる。また、各見開きの左上に記載された「学習課題」は、板橋区授業スタンダードの「自力解決」「集団解決」「まとめ・振り返り」として扱うことができる。 ○「対話・討論にチャレンジ」（P 1 7 8）では、対話的な学習を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○現在と未来の日本や世界の在り方について、課題意識をもって多面的・多角的に考察、構想し、表現する学習活動が乏しい。
構 成 ・ 分 量	<ul style="list-style-type: none"> ○各見開きの冒頭に「学習課題」が明記されている ○様々な体験学習を紹介する「歴史を体験する」が7箇所設けられており、学習を深めることができる。 ○歴史的事象について詳しく解説した「フォーカス」が37箇所設けられており、発展的内容について学習できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○単元ごとの学習過程や学習課題が明示されておらず、学習の見通しをもちにくい。
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○各章の冒頭に「世界地図」が描かれており、世界を概観できるように工夫されている。 ○タイトルの文字が大きく、見やすい。 ○カラーユニバーサルデザインに配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○二次元コードがなく、デジタルコンテンツを利用できない。
使 用 上 の 便 宜	<ul style="list-style-type: none"> ○「この教科書の使い方」が巻頭に記載されており、教科書の構成やマーク、コラムについて解説されている。目次は見開きで見やすい。 ○単元末の「学習のまとめ」は、自学自習に生かすことができる。 ○サイズはA4判で、本文239ページである。巻頭に「歴史地図（世界）」、巻末に「歴史地図（昔の国名と国境）」「歴史地図（日本）」が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習全体の流れが明記されていない。

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 社会 歴史 】

発行者 【 令和書籍 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○各単元末の「まとめ」において、学習内容を整理したり、各時代の特色を捉えたりすることができる。 ○「歴史的な見方・考え方」について解説している。 ○重要語句がゴシック体で表されており、「知識」の習得に役立てることができる。 ○「グループで歴史を調べよう」(P 1 4)、「国際協調と日本の役割」(P 4 4 4)は、「環境教育」や「郷土愛」と関連付けて学ぶことができる。「考えよう」は、板橋区授業スタンダードの「自力解決」「集団解決」「まとめ・振り返り」として扱うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○現在と未来の日本や世界の在り方について、課題意識をもって多面的・多角的に考察、構想し、表現する学習活動が乏しい。
構 成 ・ 分 量	<ul style="list-style-type: none"> ○各章が「政治」「外交」「文化」「産業」という4つの視点から学習内容を捉えるように構成されている。 ○「文献資料」が多く、生徒の思考を促すことができる。「調べ学習」や「新聞づくり」、「ディベート」について紹介するページがあり、学習を深めることができる。 ○歴史的事象について詳しく解説したコラムが42箇所設けられており、発展的内容について学習できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○発展的な内容が多く、中学生の発達段階に適していない。
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○各章の冒頭にイラストがあり、時代のイメージをもてるように工夫されている。 ○二次元コードが1個記載されており、漫画「承久の乱」を読むことができる。 ○カラーの地図や写真は、巻末にまとめて掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ユニバーサルデザインに関する記載がない。本文が白黒で、単元や学習内容のまとまりを捉えにくい。
使 用 上 の 便 宜	<ul style="list-style-type: none"> ○「考えてみよう」は、自学自習に生かすことができる。 ○サイズはA5判で、本文463ページである。巻頭に「世界各国王朝略年表」「歴代天皇の皇位継承図」、巻末に「各時代の地図」「日本美術図鑑」が掲載されている。 ○本文は、縦書き、二段組で書かれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習全体の流れや学び方が明記されていない。

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

中学校【社会 公民】

調査委員長

中村 嘉男

総 評

○東京書籍

- ・各単元末の「まとめの活動」において、学習内容を「知識」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」に整理する構成になっている。
- ・「未来にアクセス」は「環境教育」や「郷土愛」と、「チェック」「トライ」は、板橋区授業スタンダードと関連付けて学ぶことができる。
- ・各章が「課題をつかむ」「課題を追究する」「課題を解決する」という3つの学習過程で構成されており、課題解決的な学習をめざしている。
- ・二次元コードが114個あり、動画やワークシート、用語解説、参考法令集、関連リンク、確認問題、思考ツール、白地図等のデジタルコンテンツを利用できる。

○教育出版

- ・各単元末の「学習のまとめと表現」において、学習内容を「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力」に整理する構成になっている。
- ・「持続可能な社会に向けて」や「SDGsマーク」は「環境教育」や「郷土愛」と、「確認」「表現」は板橋区授業スタンダードと関連付けて学ぶことができる。
- ・各章に「学習のはじめに」が設定されており、「問い」「学習の見通し」を把握できるように工夫されている。
- ・二次元コードが16個あり、動画や関連リンク、確認問題等のデジタルコンテンツを利用できる。

○帝国書院

- ・各単元末の「学習を振り返ろう」において、学習内容を「知識」「思考・判断・表現」「主体的な学び」に整理する構成になっている。
- ・「未来に向けて」は「環境教育」や「郷土愛」と、「確認しよう」「説明しよう」は、板橋区授業スタンダードと関連付けて学ぶことができる。
- ・各単元が「単元の見通し」「単元の振り返り」という2つの学習活動で構成されており、単元を貫く問いを通して学ぶことをめざしている。
- ・二次元コードが47個あり、動画やワークシート、用語解説、参考法令集、確認問題、思考ツール、白地図、統計資料、他分野教科書リンク等のデジタルコンテンツを利用できる。

○日本文教出版

- ・各単元末の「まとめとふり返し」において、学習内容を「知識」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」に整理する構成になっている。
- ・P217「SDGsから未来の社会を考えよう」で板橋区の取組が紹介されている。「確認」「表現」は、板橋区授業スタンダードと関連付けて学ぶことができる。
- ・各単元が「問いを立て、学習を見通す」「問いを追究する」「まとめ、ふり返し」という3つの学習過程で構成されている。
- ・二次元コードが105個あり、動画やシミュレーション、ワークシート、確認問題等のデジタルコンテンツを利用できる。

○自由社

- ・各単元末の「学習のまとめと発展」では、重要な語句が並べられていて、どのくらい学習内容が身に付いたか確認できるようになっている。
- ・「アクティブに深めよう」は「環境教育」や「郷土愛」、「ここがポイント！」は板橋区授業スタンダードと関連付けて学ぶことができる。
- ・各章のはじめに単元の問いを掲載し、学習内容の概要を把握できるように工夫されている。
- ・難しい語句についてはページ端に補足をし、詳細に説明している。

○育鵬社

- ・各単元末の「これから」「学習のまとめ」において、単元の学習内容を整理したり、社会に見られる課題について考えたりすることができる。
- ・「郷土の一員としての私たち」「持続可能な社会をつくるために」は「環境教育」や「郷土愛」と、「確認」「探究」は板橋区授業スタンダードと関連付けて学ぶことができる。
- ・各章に「章扉」「章の『入口』」が設定されており、「学ぶ内容と社会の関連性」「学習の展開」を把握できるように工夫されている。
- ・二次元コードが6個あり、関連リンクにアクセスできる。

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 社会 公民 】

発行者 【 東京書籍 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○各単元末の「まとめの活動」において、学習内容を「知識」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」に整理する構成になっており、3つの資質・能力をバランスよく育成できる。また、「スキル・アップ」というコラムが9箇所設けられており、公民の学習における基礎的・基本的な技能の育成が図れるとともに、学習の過程に適宜「見方・考え方」を働かせるマークがあり、学習を深めることができる。思考ツールが使用されており、思考力の育成に役立てることができる。 ○「18歳へのステップ」3ページあり、主権者教育に役立てることができる。 ○コラム「未来にアクセス」が2テーマあり、持続可能な社会の実現を考えることを通じて、「環境教育」や「郷土愛」と関連付けて学ぶことができる。また、各見開きの下部に記載された「チェック」「トライ」は、板橋区授業スタンダードの「自力解決」「集団解決」「まとめ・振り返り」として扱うことができる。 ○各単元の導入部に小学校の学習内容との関連が明記されており、小・中の学習を円滑に接続できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「見方・考え方」のマークの記載頻度や記載場所がページによって異なり、規則性がわかりにくい。
構 成 ・ 分 量	<ul style="list-style-type: none"> ○各章が「課題をつかむ」「課題を追究する」「課題を解決する」という3つの学習過程で構成されており、課題解決的な学習をめざしている。また「みんなでチャレンジ」というコーナーでは、対話的な学習活動が設定されている。 ○他教科、社会科の他分野との関連が明記されており、教科等横断的な指導ができる。 ○「もっと知りたい！」が33箇所設けられており、発展的内容について学習できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○グラフの読み取りや、発展的な課題などが多く、一単位時間では学習課題を終えることができないページがある。
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○各章に「導入の活動」が設定されており、「探究課題」「探究のステップ」を把握できるように工夫されている。 ○二次元コードが114個あり、動画やワークシート、用語解説、参考法令集、関連リンク、確認問題、思考ツール、白地図等のデジタルコンテンツを利用できる。 ○ユニバーサルデザインフォントを採用し、すべての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○資料やコラムの文字が小さい。
使 用 上 の 便 宜	<ul style="list-style-type: none"> ○「この教科書の使い方と学び方」がP4に記載されており、学習全体の流れや学び方が明記されている。目次は見開きで見やすい。 ○見開き下部の「チェック」「トライ」、単元末の「まとめの活動」、巻末の「用語解説」、デジタルコンテンツの確認問題等は、自学自習に生かすことができる。 ○サイズはA B判で、巻頭3ページ、本文239ページ、巻末3ページである。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「現代社会の見方・考え方」に関する説明がない。

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 社会 公民 】

発行者 【 教育出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○各単元末の「学習のまとめと表現」において、学習内容を「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力」に整理する構成になっており、3つの資質・能力をバランスよく育成できる。「公民の技」というコラムが9箇所設けられており、公民の学習に必要な技能や表現力を育成できる。思考ツールが使用されており、思考力の育成に役立てることができる。 ○学習の過程に適宜「見方・考え方」を働かせるマークがあり、学習を深めることができる。 ○特設ページ「持続可能な社会に向けて」（13テーマ）や見開きページ右下「SDGsマーク」を活用し、持続可能な社会に向けて考えることを通じて、「環境教育」や「郷土愛」と関連付けて学ぶことができる。各見開きの下部に記載された「確認」「表現」は、板橋区授業スタンダードの「自力解決」「集団解決」「まとめ・振り返り」として扱うことができる。 ○見開きページの左下に小学校の学習内容との関連が明記されており、小・中の学習を円滑に接続できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○現代社会の見方・考え方の記載が各章の初めだけで、単元や学習内容ごとには記載されていない。
構 成 ・ 分 量	<ul style="list-style-type: none"> ○巻頭P6に、小学校社会科や中学校社会科の各分野、公民的分野の学習内容との関連や「18歳へ」つながっていく「公民の全体像」が示されており、学習の見通しをもつことができる。 ○見開きページの下部にSDGsとの関連が明記されている。 ○学習から興味や関心を広げていくコラム「公民の窓」が39箇所、人々の姿を中心とした学習をさらに深めていくコラム「クリップ」が4箇所設けられており、発展的な内容について学習できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○単元を見通した学習過程に関する解説がなく、学習内容のつながりを把握しにくい。
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○各章に「学習のはじめに」が設定されており、「問い」「学習の見通し」を把握できるように工夫されている。 ○二次元コードが16個記載されており、動画や関連リンク、確認問題等のデジタルコンテンツを利用できる。 ○ユニバーサルデザインフォントを採用し、カラーユニバーサルデザインに配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○資料やコラムの文字が小さい。
使 用 上 の 便 宜	<ul style="list-style-type: none"> ○「公民の学習を始めるにあたって」が巻頭に記載されており、学習全体の流れや学び方が明記されている。目次は見開きで見やすい。 ○見開き下部の「確認」「表現」、単元末の「学習のまとめと表現」、巻末の「用語解説」、デジタルコンテンツの確認問題等は、自学自習に生かすことができる。 ○サイズはA B判で、巻頭4ページ、本文264ページ、巻末2ページである。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「現代社会の見方・考え方」に関する説明がない。

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 社会 公民 】

発行者 【 帝国書院 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○各単元末の「学習を振り返ろう」において、学習内容を「知識」「思考・判断・表現」「主体的な学び」に整理する構成になっており、3つの資質・能力をバランスよく育成できる。また、「技能をみがく」というコラムが6箇所設けられており、公民の学習に必要な技能を育成できる。学習の過程に適宜「見方・考え方」を働かせるマークがあり、学習を深めることができる。思考ツールが使用されており、思考力の育成に役立てることができる。</p> <p>○「18歳への準備」が2ページあり、主権者教育に役立てることができる。</p> <p>○コラム「未来に向けて」が26テーマあり、未来の社会をつくる取り組みを考えることを通じて、「環境教育」や「郷土愛」と関連付けて学ぶことができる。各見開きの下部に記載された「確認しよう」「説明しよう」は、板橋区授業スタンダードの「自力解決」「集団解決」「まとめ・振り返り」として扱うことができる。</p> <p>○見開きページの左下に小学校の学習内容との関連が明記されており、小・中の学習を円滑に接続できる。</p>	<p>○「学習を振り返ろう」の「主体的な学び」の問いが、どの単元も同じ内容である。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○各単元が「単元の見通し」「単元の振り返り」という2つの学習活動で構成されており、単元を貫く問いを通して学ぶことをめざしている。また「アクティブ公民」というコーナーでは、主体的・対話的な学習活動が設定されている。</p> <p>○見開きページの下部に他教科、社会科の他分野との関連が明記されており、教科等横断的な指導ができる。</p> <p>○「公民プラス+」が18箇所設けられており、発展的内容について学習できる。</p>	<p>○「学習の前に」という単元の導入が、絵の中から課題を探すという学習活動になっているが、中学3年生の生徒が意欲的に取り組める課題となっていない。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○各章に「学習の前に」が設定されており、「章全体の学習内容の見通し」「章の問い」を把握できるように工夫されている。</p> <p>○二次元コードが47個あり、動画やワークシート、用語解説、参考法令集、確認問題、思考ツール、白地図、統計資料、他分野教科書リンク等のデジタルコンテンツを利用できる。</p> <p>○特別支援教育やユニバーサルデザインの観点から、色づかいへの配慮、ユニバーサルデザインフォントの採用を行っている。</p>	<p>○資料やコラムの文字が小さい。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○「教科書を活用した学び方」が巻頭P5に記載されており、学習全体の流れや学び方が明記されている。目次は見開きで見やすい。</p> <p>○見開き下部の「確認しよう」「説明しよう」、単元末の「学習を振り返ろう」、デジタルコンテンツの「用語解説」や確認問題等は、自学自習に生かすことができる。</p> <p>○サイズはA B判で、巻頭9ページ、本文250ページ、巻末3ページである。</p>	<p>○単元ごとの課題や問いを立てる学習過程についての説明がわかりにくい。</p>

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 社会 公民 】

発行者 【 日本文教出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○各単元末の「まとめとふり返し」において、学習内容を「知識」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」に整理する構成になっており、3つの資質・能力をバランスよく育成できる。情報の読み取りや活用に必要な知識・技能を学習する「情報スキルアップ」というコラムが2箇所設けられている。思考ツールが使用しており、思考力の育成に役立てることができる。 ○本文ページでは、学習課題解決の手がかりとなる「見方・考え方」が各見開きに記載されており、学習を深めることができる。 ○特設ページ「明日に向かって」が10箇所あり、「環境教育」や「郷土愛」と関連付けて学ぶことができる。P217「SDGsから未来の社会を考えよう」では、板橋区の取組が紹介されている。各見開きの下部に記載された「確認」「表現」は、板橋区授業スタンダードの「自力解決」「集団解決」「まとめ・振り返り」として扱うことができる。 ○各単元の導入部に小学校の学習内容との関連が明記されており、小・中の学習を円滑に接続できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「まとめとふり返し」の「主体的に学習に取り組む態度」の問いが、どの単元も同じ内容である。
構 成 ・ 分 量	<ul style="list-style-type: none"> ○各単元が「問いを立て、学習を見通す」「問いを追究する」「まとめ、ふり返る」という3つの学習過程で構成されている。また「チャレンジ公民」というコーナーでは、社会の課題を考察・構想する学習活動が設定されている。 ○社会科の他分野との関連が明記されており、教科等横断的な指導ができる。 ○「公民+α」が22箇所設けられており、発展的内容について学習できる。また「アクティビティ」が41箇所設けられており、社会的な課題を探究できるなど、深い学びを実現することをめざしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○既習内容との関連が明示されている箇所はあるが、全体としては小学校や地理・歴史の既習内容を振り返る場面が少ない。
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○各章に「学習のはじめに」が設定されており、「章の学習内容のイメージ」「章や節の問い」「学習の見通し」を把握できるように工夫されている。 ○二次元コードが105個記載されており、動画やシミュレーション、ワークシート、確認問題等のデジタルコンテンツを利用できる。 ○ユニバーサルデザインフォントを使用し、カラーユニバーサルデザインに配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○P65「熊本地震発生直後にSNSに投稿されたフェイクニュース」は実際には逮捕されたが、不起訴処分（起訴猶予）となっている。
使 用 上 の 便 宜	<ul style="list-style-type: none"> ○「教科書の構成と学び方」が巻頭P4に記載されており、学習全体の流れや学び方が明記されている。目次は見開きで見やすい。 ○見開き下部の「確認」「表現」、単元末の「まとめとふり返し」、巻末の「用語解説」「類似用語集」、デジタルコンテンツの確認問題等は、自学自習に生かすことができる。 ○サイズはA B判で、巻頭3ページ、本文265ページ、巻末5ページである。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「現代社会の見方・考え方」に関する説明がない。

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 社会 公民 】

発行者 【 自由社 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○各単元末の「学習のまとめと発展」では、重要な語句が並べられていて、どのくらい学習内容が身に付いたか確認できるようになっている。 ○重要語句がゴシック体で表されており、「知識」の習得に役立てることができる。 ○課題に関連する内容について、「やってみよう」という活動が設定されており、「思考力・判断力・表現力」を育成できる。 ○「アクティブに深めよう」では、持続可能な社会の実現を考えることを通じて、「環境教育」や「郷土愛」と関連付けて学ぶことができる。また、各見開きの下部に記載された「ここがポイント！」は、板橋区授業スタンダードの「まとめ・振り返り」として扱うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「見方・考え方」や小学校の学習内容との関連が明記されていない。
構 成 ・ 分 量	<ul style="list-style-type: none"> ○各見開きの冒頭に「学習課題」が明記されている。 ○「アクティブに深めよう」が9箇所設けられており、発展的内容について学習できる。 ○「ミニ知識」が52箇所、「紹介する主な人物」が42箇所設けられており、学習を深めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○章や節ごとの学習課題が設定されていない。
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○各章のはじめに単元の問いを掲載し、学習内容の概要を把握できるように工夫されている。 ○難しい語句についてはページ端に補足をし、詳細に説明している。 ○余白が多く設けられており見やすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○デジタルコンテンツが利用できない。
使 用 上 の 便 宜	<ul style="list-style-type: none"> ○「この教科書で学ぶにあたって」が巻頭P8に記載されており、教科書の使い方や学び方が明記されている。目次は見開きで見やすい。 ○見開き下部の「ここがポイント！」「やってみよう」、単元末の「学習のまとめと発展」は、自学自習に生かすことができる。 ○サイズはA B判で、巻頭9ページ（目次含む）、本文261ページである。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「現代社会の見方・考え方」に関する説明がない。

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 社会 公民 】

発行者 【 育鵬社 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○各単元末の「これから」「学習のまとめ」において、単元の学習内容を整理したり、社会に見られる課題について考えたりすることができる。思考ツールが使用されており、思考力の育成に役立てることができる。 ○現代社会の見方・考え方を育成できるよう、身近なできごとや自分の生活に影響があることを取り上げるなど、具体的な事例を通して学べるようになっている。 ○本文に関連した課題を提案する「資料活用」があり、公民における資料活用のしかたを学ぶことができる。 ○「郷土の一員としての私たち」（P 2 8）「持続可能な社会をつくるために」（P 1 7 4）では、「環境教育」や「郷土愛」と関連付けて学ぶことができる。また、見開きページの下部に記載された「確認」「探究」は、板橋区授業スタンダードの「自力解決」「集団解決」「まとめ・振り返り」として扱うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○既習内容との関連が明示されている箇所はあるが、全体としては小学校や地理・歴史の既習内容を振り返る場面が少ない。
構成・分量	<ul style="list-style-type: none"> ○各章が「課題をつかむ」「課題について調べる」「課題についてまとめる・表現する」という3つの学習過程で構成されている。また「TRY!」「やってみよう」というコーナーでは、対話的な学習活動が設定されている。 ○社会科の他分野との関連が明記されており、教科等横断的な指導ができる。 ○コラム「学習を深めよう」が42箇所設けられており、本文の内容を詳しく学習できたり、発展的内容について学習できたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○他教科や社会科の他分野との関連が明記されていない。
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○各章に「章扉」「章の『入口』」が設定されており、「学ぶ内容と社会の関連性」「学習の展開」を把握できるように工夫されている。 ○二次元コードが6個記載されており、関連リンクにアクセスできる。 ○特別支援教育やユニバーサルデザインの観点から、色づかいへの配慮、ユニバーサルデザインフォントの採用を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「学習のまとめ」で「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」等の表記がない。
使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ○「『主体的対話的で深い学び』を支える教科書の構成」がP4に記載されており、学習全体の流れや学び方が明記されている。目次は見開きで見やすい。 ○見開きページ下部の「確認」「探究」、単元末の「これから」「学習のまとめ」、巻末の「用語解説」は、自学自習に生かすことができる。 ○サイズはA B判で、巻頭3ページ、本文256ページ、巻末2ページである。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「現代社会の見方・考え方」に関する説明がない。

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

中学校【地図】

調査委員長

中村 嘉男

総 評

○東京書籍

- ・SDGsを中心とした現代的な諸課題を捉えるための特集ページが、見開きで掲載されており、板橋区教育ビジョン2025の内容に適合している。(P7～8)
- ・自然災害の分布やハザードマップなどを通して、防災に対する意識を高められる。(P135～136)
- ・日本の領土や排他的経済水域を明示するとともに、近隣諸国との間で領土をめぐる問題を抱えている地域を写真も交えて説明している。(P171～172)
- ・各地域の分量はバランスよくまとまっている。(使い方：4ページ、世界：58ページ、日本：70ページ、統計：5ページ、索引：9ページ)
- ・P139の人口については、人口ピラミッドや人口増加率と高齢人口の割合の読み取りについて課題設定をするなど、生徒に考えさせる内容になっている。
- ・巻頭には「この地図帳の地図記号」「この地図帳の活用方法」がまとまっている。また、地図帳全般に渡って読み取りを行う際のヒントや視点を示しており、自主的な地図の活用につなげる工夫がなされている。(P4～6)
- ・二次元コードを使用して回答例や読み取り方を示しており、自主的に学習を進めやすい。
- ・世界旅行をするキャラクターの吹き出しには、見方・考え方や資料のポイントが示され、資料から読み取る力を高めることにつながる。(ほぼ全ての見開きページ)
- ・世界の州ごとの鳥瞰図は情報が整理され、立体的で大きく表示されている。(P19～20、P37～38、P53～54)
- ・南北アメリカ州の地図に、世界の日系人口が表示されており、歴史的な分野と関連を図ることができる。(P60)
- ・A4判で、176ページである。目次は世界の州別・日本の地方別で色分けされている。
- ・糸がかり綴じで堅牢性があり、3年間使用することが考慮されている。
- ・「都道府県の産品と名所・お国自慢など」があり、生産品目の全国順位や名所が示され、都道府県の特色を理解しやすい。(P159～160)
- ・全体にユニバーサルデザインフォントが使われている。高さの表し方の図は立体的に示されている。

○帝国書院

- ・SDGsを中心とした現代的な諸課題を捉えるための特集ページが、見開きで掲載されており、小学校で学習した地図の使い方が掲載していたりと、板橋区教育ビジョン2025の内容に適合している。(P8～14)
- ・自然災害の分布やハザードマップなどを通して、防災に対する意識を高められる。(P155～162)
- ・日本の領土や排他的経済水域を明示するとともに、近隣諸国との間で領土をめぐる問題を抱えている地域が地図上で捉えやすくなっている。(P197～198)
- ・各地域の分量はバランスよくまとまっている。(使い方：4ページ、世界：63ページ、日本：92ページ、統計：9ページ、索引：11ページ)
- ・P163～172の人口と資源、交通と通信については、世界と日本を比較したり、資源の分布を世界地図で俯瞰的に捉えたりすることができる。
- ・巻頭には「この地図帳の凡例」「地図帳の使い方」が項目別に分かりやすく提示されている。小学校で学習した地図の約束、縮尺や凡例など基礎的なこと、地図の種類についての語句が説明されており、自主的な地図の活用につなげる工夫がなされている。(P4～8)
- ・二次元コードを使用して補足の資料や活用例を示しており、自主的に学習を進めやすい。
- ・統計・索引の配色や文字の濃さが工夫されている。また、地図は凡例が示され、5色印刷で見やすい。
- ・鳥瞰図には自然環境、生活、文化などを表すイラストが示され、生徒が興味・関心をもって活用できる。(P29～30、P47、P53～54、P65～66、P72、P79～80)
- ・世界の各州の地図には日本列島のシルエットがあり、緯度・経度・縮尺など比較できる。(P49、P64、P71など)
- ・A4判で、198ページである。大判化により範囲拡張され、地域間の結び付きが分かりやすい。また、教科書とサイズが違い区別しやすい。
- ・糸がかり綴じで、背には寒冷紗が巻かれ、3年間の使用を想定した耐久性がある。また、裏表紙の氏名欄に3年間のクラスを記入できるようになっている。
- ・鳥瞰図の上に、江戸時代の五街道や土地利用の様子、日本を大陸から見渡した弧状列島の姿が示されていることで、歴史分野で活用できる。(P35～36)
- ・全体にユニバーサルデザインフォントが使われ、国名や地名が見やすい。

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 社会 地図 】

発行者 【 東京書籍 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○日本の領土や排他的経済水域を明示するとともに、近隣諸国との間で領土をめぐる問題を抱えている地域を写真も交えて説明している。(P171～172)</p> <p>○自然災害の分布やハザードマップなどを通して、防災に対する意識を高められるとともに、身の回りで起こりそうな自然災害について考えることで、思考力を高めるようになっている。(P135～136)</p> <p>○地図キャラクターが地図の活用法や学習を深めるヒントとなる3種の問いを示すことで、生徒が主体的に地図を活用する力を養えるようになっている。(P7)</p> <p>○現代的な諸課題を捉えるためにSDGsをテーマとしたページや様々な諸課題に関連する資料が掲載されており、いたばし学び支援プラン2025の内容に適合している。(P8、P154)</p>	<p>○小学校で学んだことが分かるページが設定されていない。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○各地域の分量はバランスよくまとまっている。(使い方：4ページ、世界：58ページ、日本：70ページ、統計：5ページ、索引：9ページ)</p> <p>○P139の人口については、人口ピラミッドや人口増加率と高齢人口の割合の読み取りについて課題設定をするなど、生徒に考えさせる構成になっている。</p> <p>○巻頭には「この地図帳の地図記号」「この地図帳の活用法」がまとまっており、例えば「地図帳の活用法」では、本編にある地図や資料を例に一般図や主題図の見方を示し、自主的な地図の活用につなげる工夫がなされている。(P4～6)</p>	<p>○「この地図の活用法」では、一般図や資料の見方、歴史や公民での活用方法が2ページで掲載されており、情報量が多く、地図を見るポイントが把握しにくい。(P5～6)</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○二次元コードが81個あり、二次元コードを読み込むことで豊富なデジタルコンテンツを利用できるようになっている。</p> <p>○世界の州ごとの鳥瞰図は情報が整理され、立体的で大きく表示されている。(P19～20、P37～38、P53～54)</p> <p>○南北アメリカ州の地図に、世界の日系人人口が表示されており、歴史的分野と関連を図ることができる。(P60)</p>	<p>○陸地の高さによって緑の濃色で表現されているため、地名の文字や緯度経度のグリッド線などの情報が見にくい。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○A4判で、176ページである。インデックスは世界の州別・日本の地方別で色分けされている。</p> <p>○糸がかり綴じで堅牢性があり、3年間使用することが考慮されている。</p> <p>○全体にユニバーサルデザインフォントが使われている。高さの表し方の図は立体的に示されている。(P4)</p>	<p>○索引の引き方(P4)と索引のページ(P161～)が離れている。また、数字やアルファベットの文字が細く、検索しにくい。</p>

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 社会 地図 】

発行者 【 帝国書院 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○日本の領土や排他的経済水域を明示するとともに、領土・領海・領空の範囲を視覚的につかめるよう、模式図で示している。（P197～198）</p> <p>○自然災害の分布やハザードマップ等を読み取ることで、防災に対する意識を高められるとともに、地図から読み取れることを話し合う活動が設定されており、思考力や表現力を高められるようになっている。（P159～162）</p> <p>○学習活動を通して地理的な見方・考え方を働かせ、地図を活用する技能が身に付くよう「地図で発見！」の項目で問いが示されている。</p> <p>○SDGsを中心とした現代的な諸課題を捉えるための特集ページが、見開きで掲載されていたり、小学校で学習した地図の使い方が掲載していたりと、いたばし学び支援プラン2025の内容に適合している。（P8～14）</p>	<p>○近隣諸国との領土問題について、触れていない。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○各地域の分量はバランスよくまとまっている。（使い方：5ページ、環境問題、世界の気候等：14ページ、世界：58ページ、日本：102ページ、統計：9ページ、索引：11ページ）</p> <p>○P163～172の人口と資源、工業等の内容については、世界と日本を比較したり、資源の分布を世界地図で俯瞰的に捉えたりすることができるようになっている。</p> <p>○巻頭には「この地図帳の凡例」「地図帳の使い方」が項目別に分かりやすく提示されている。小学校で学習した地図の約束、縮尺や凡例など読み解くポイントとして基礎的なこと、地図の種類についての語句が説明されており、自主的な地図の活用につなげる工夫がなされている。（P4～8）</p>	<p>○SDGsや環境問題に関するページが7ページと充実しているが、情報量が多く、活用が難しい。（P8～P14）</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○二次元コードは55個あり、これらを使用して補足の資料や活用例が示されており、自主的に学習を進めやすい。</p> <p>○統計・索引の配色や文字の濃さが工夫されている。また、地図は凡例が示され、カラー印刷で見やすい。</p> <p>○鳥瞰図には自然環境、生活、文化などを表すイラストが示され、生徒が興味・関心をもって活用できる。（P29～30、P47、P53～54、P65～66、P72、P79～80）</p> <p>○世界の各州の地図には日本列島のシルエットがあり、緯度・経度・縮尺など比較できる。（P49、P64、P71など）</p>	<p>○歴史・地理・公民との関わりに対するマークが示されているが、社会科の授業との関連が図りにくい。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○A4判で、198ページである。大判化により範囲拡張され、地域間の結び付きが分かりやすい。</p> <p>○糸がかり綴じで、背には寒冷紗が巻かれ、3年間の使用を想定した耐久性がある。また、裏表紙の氏名欄に3年間のクラスを記入できるようになっている。</p> <p>○全体にユニバーサルデザインフォントが使われ、国名や地名が見やすい。</p>	<p>○目次が5つの大きな分類（資料・世界・日本・統計・さくいん）で示されており、世界の州や日本の地方ごとに探しにくい。</p>

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

中学校【数学】

調査委員長

柳澤 忠男

総 評

○東京書籍

- ・各章にある「深い学び」のページでは「問題をつかむ」－「見通しをたてる」－「問題を解決する」－「ふり返る」－「深める」という学習過程を可視化して思考力、判断力、表現力の育成につなげることができる。
- ・巻末の「数学の目でふり返ろう」では、小学校での学びが中学校の学びにつながっていることが視覚的に捉えられるようになっている。
- ・問いや例題等、また深い学びのページの最後に掲載されている虫メガネのマークには大切にしたい見方・考え方が示されている。
- ・各問についている観点別のチェックボックスの他に♡マーク（必ず身に付けてほしい問題）がついていることにより問題の重要度が視覚的に分かるようになっている。

○大日本図書

- ・各学年2テーマずつ「社会にリンク」の「発見！仕事の中の数学」が掲載され、板橋区教育ビジョン2025の「キャリア教育」につながる内容である。
- ・「活用・探究」のページや、「もっと数学の世界へ」には課題学習やMATHFULのページが設けられており、発展的な内容をまとめて扱っている。
- ・他教科の学習や生活に関連する内容にマークが付けられている。
- ・巻末に1年間の学習内容のまとめが切り取って使えるように用意されている。

○学校図書

- ・一単位時間ごとに「どんなことが分かったかな？」「次の課題へ」で、次の学習に見通しをもてるよう示され、主体的に学習に取り組む態度を養うことができる。
- ・各学年巻末にある「今の自分を知ろう」は学習した内容を活用する環境教育やキャリア教育、伝統文化と関連付けた問題が掲載され、板橋区教育ビジョン2025につながる内容である。
- ・章のまとめの問題に基本の他「応用」「活用」が掲載され、また章の中には、「Tea Break」や「深めよう」として単元に繋がる発展的内容が示されている。
- ・Questionには、働かせる「見方・考え方」が表記され、巻末「さらなる数学」では活用した「見方・考え方」がまとめられている。

○教育出版

- ・各章終わりにある「学習のまとめ」の他、自分の力で取り組む内容が各学年P. 2～3に示されており、主体的に学習に取り組む態度を育成できるようにしている。
- ・章のとびらの話題に関連した仕事をしている人を取り上げた「数学しごと人」というページがあり、「キャリア教育」につながる。
- ・「学習をする前に」のページで既習事項を復習することができるとともに、巻末の「学びマップ」でこれまで学習してきたことが確認でき、系統性が分かる。
- ・「章の問題」には◎○△で理解度を自分でチェックできるマークがある。

○新興出版社啓林館

- ・各章の終わりに「章のあしあと」という項目があり、できるようになったこと、さらに学びたいことなどを考えさせることができるようになっている。
- ・巻末の「数学の広場」の「学びをいかそう」でLED電球と環境を取り上げたり、「社会科見学に行こう」という内容でキャリア教育と関連させたりしている。
- ・巻末の「数学の広場」に「学びをふりかえろう」があり、小学校の算数で学んだ内容や前学年で学んだ内容でその時の学習に必要な部分を学習するときに使える。
- ・教科書の使い方やICTの活用の仕方などの説明が詳しく書いてある。

○数研出版

- ・各章において練習問題や、各節にある確認問題により基礎・基本の定着に繋げることができる。
- ・学習課題を示す「TRY」は登場キャラクターが対話の形、多様な考え方を発言する形、誤った考え方を提示する形などにより、数学的な見方・考え方を意識し、思考力・判断力・表現力の育成につなげることができる。
- ・巻末に小学校の算数の内容や前学年の内容との系統性を示すページが設けられ、章の学習を始める前に「ふりかえり」のページも設けられて系統的に学べる。
- ・チャレンジ編に豊富に問題が用意されている。

○日本文教出版

- ・日常生活等から問題を見だし解決する「学び合おう」が各学年複数設定され、思考力・判断力・表現力の育成に繋げることができる。
- ・各章のはじめに「次の章を学ぶ前に」のページで関連する既習事項が、また、目次の単元名横にはつながる既習内容が掲載され、系統性が分かる。
- ・問や例等の学習場面の横に「大切な見方・考え方」が表記され、数学的な見方・考え方を働かせることにつながる。
- ・巻末にB5ノートに貼ることができる、「学びに向かう力を育てよう」や「学び合おう」で使用する「振り返りシート」がある。

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 数 学 】

発行者 【 東京書籍 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○「クイックチェック問題」が「問い」の他にあり、また、節ごとの「基本の問題」で関係ページが示されており、基礎的な知識及び技能の定着につなげることができる。</p> <p>○各章にある「深い学び」のページでは「問題をつかむ」－「見通しをたてる」－「問題を解決する」－「ふり返る」－「深める」という学習過程を可視化して思考力、判断力、表現力の育成につなげることができる。</p> <p>○各学年自学自習の方法が示されている他、各章及び各節に身の回りの生活にある学習に繋がる導入が示されており、主体的に学習に取り組む態度を養うことができる。</p> <p>○第1学年P.186「数学×伝統工芸士」第2学年P.90「数学×気象予報士」第3学年P.162「数学×3Dアートクリエイター」では、社会で働く人へのインタビューを通して数学と仕事のつながりを学ぶことができ、板橋区教育ビジョン2025の「キャリア教育」を充実させることができる。</p>	<p>○1ページあたりの問題が多い。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○一単位時間で扱う内容は主に、①めあての提示→ ②Q調べてみよう、考えてみよう→ ③問題解決 の順に構成されている。</p> <p>○巻末の「数学の目でふり返ろう」では、小学校での学びが中学校の学びにつながっていることが視覚的に捉えられ、また、学びのベースでは既習事項が示されており系統性が分かる。</p> <p>○各章には「数学のまど」として単元につながる発展的内容が示されている他、巻末では「数学の自由研究」として、レポートにまとめて発表するときのポイントを掲載するなどしている。</p>	<p>○学習内容の振り返りが章末にはあるが、節末毎にはない。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○ルビなどの小さい文字にはユニバーサルデザインフォントを使用している。</p> <p>○デジタルコンテンツの活用方法と種類がP2、3および裏表紙内側に明記されており、本文内のDマークが見出しと共に第3学年で（シュミレーション：82、マイ教科書：1、ワークシート：13、教科リンク：7、動画：15、対話シート：10、ちょっと確認：6、WEBサイト：5、フラッシュカード：66、ヒントと解答：62、プログラミング：1）合計268点掲載されている。</p> <p>○問いや例題等、また深い学びのページの最後に掲載されている虫メガネのマークには大切にしたい見方・考え方が示されている。</p>	<p>○デジタルコンテンツのコードがページ右下に統一されているが、左側のページのコードは読み取りにくい。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○「MATH CONNECT」「目次」「デジタルコンテンツの使い方」「大切にしたい数学の学び方」「この本の構成と使い方」で、全体の構成が見通せる配慮がされている。</p> <p>○B5サイズ、総ページ数は、第1学年321ページ（545g）、第2学年257ページ（423g）、第3学年289ページ（473g）である。</p> <p>○各問についている観点別のチェックボックスの他に♡マーク（必ず身に付けてほしい問題）がついていることにより問題の重要度が視覚的に分かるようになっている。</p>	<p>○目次については、章のタイトルのみが表示になっており、節のタイトルがなく全体を見通しづらい。</p>

令和6年7月4日

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 数 学 】

発行者 【 大日本図書 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○節ごとに「たしかめよう」という問題のページがあり、各問で振り返る学習内容にあたるページが掲載されており、基礎的な知識及び技能の定着につなげることができる。</p> <p>○各章にある問題発見・解決の流れで解く課題には、「問題を見いだそう」「解決のしかたを探ろう」「解決しよう」「深めよう」と学習過程を可視化しており、思考力・判断力・表現力の育成につなげることができる。</p> <p>○各学年冒頭に教科書の使い方に「自分で取り組みましょう」として、本文や章の終わりで自分が取り組むべきものが示され、主体的に学習に取り組む態度を養うことができる。</p> <p>○各学年2テーマずつ「社会にリンク」の「発見！仕事の中の数学」が掲載され、板橋区教育ビジョン2025の「キャリア教育」につながる内容である。</p>	<p>○章末の問題の数が少ない。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○一単位時間で扱う内容は主に、「めあて」→「活動」→「例・例題」→「問題」の構成で、一単位時間の「めあて」がはっきりと示されている。</p> <p>○第1学年では「小学校算数のふり返し」、第2学年では「1年の復習」、第3学年では「1・2年の復習」のページがあり、また、もくじの単元名横には繋がる既習内容が掲載され、系統性が分かる。</p> <p>○「活用・探究」のページで各章で学んだことを生かすことができ、また、巻末の「もっと数学の世界へ」には課題学習やMATHFULのページが設けられており、発展的な内容をまとめて扱っている。</p>	<p>○一単位時間の最初の課題であたる「活動」の前にめあてが書かれており、身の回りのことから等の課題からめあてを考え、思考を進める流れではない。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p> <p>○操作して学習できるコンテンツや資料が用意されているwebマークが第3学年には20掲載されている。</p> <p>○他教科の学習や生活に関連する内容にマークが付けられている。</p>	<p>○学習の内容のまとめが枠で囲まれておらず、太字にする以外の目立つよう工夫が見られない。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○目次や教科書の使い方がわかるように最初に説明されている。</p> <p>○B5サイズ、総ページ数は第1学年311ページ（548g）、第2学年241ページ（420g）、第3学年293ページ（508g）</p> <p>○巻末に1年間の学習内容のまとめが切り取って使えるように用意されている。</p>	<p>○MATHFUL、力をのばそう、活用・探究、社会にリンクにおいてページ全体に別々の色が使われている。</p>

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 数 学 】

発行者 【 学校図書 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○「確かめよう」、「計算力を高めよう」、「まとめの問題(基本)」で、基礎的な知識及び技能の定着に繋げるできる。</p> <p>○各章に一つの課題を協働的に解決する「数学的活動」が掲載され、「問題をみつけよう」「説明しよう」「まとめよう」等の学習過程を可視化して、思考力・判断力・表現力の育成につなげることができる。</p> <p>○一単位時間ごとに「どんなことが分かったかな?」「次の課題へ」で、次の学習に見通しをもてるよう示され、主体的に学習に取り組む態度を養うことができる。</p> <p>○各学年巻末にある「今の自分を知ろう」は学習した内容を活用する環境教育やキャリア教育、伝統文化と関連付けた問題が掲載され、板橋区教育ビジョン2025につながる内容である。</p>	<p>○第1学年1章の正負の数から学習内容が始まる流れとなっており、既習事項から中学校の数学を始める流れになっていない。</p>
構 成 ・ 分量	<p>○章や節の扉に身のまわりの生活などから疑問を発見し、「Q (Question)」で問題を考え、「どんなことがわかったか」をまとめ、「次の課題へ!」で次の問題を発見する構成であり、また一単位時間の目標をはっきりと示されている。</p> <p>○各学年各分野の学習を始める前に「ふりかえり」のページを設け、また、目次では単元に繋がる既習事項が掲載され、系統性が分かる。</p> <p>○章のまとめの問題に基本の他「応用」「活用」が掲載され、また章の中には、「Tea Break」や「深めよう」として単元に繋がる発展的内容が示されている。</p>	<p>○どの分野においても、取り扱いページ数が多く、一単位時間に取り組む内容が多い。</p>
表 記 ・ 表現	<p>○ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p> <p>○二次元コードは第3学年で見出しと共に合計114点(別解:8、パトロールチャレンジ:4、チャレンジ:9、パトロール:8、解答:29、活動:30、アニメーション:12、ふりかえり:10、リンク:3、データふり返り:1)掲載されている。</p> <p>○Questionには、働かせる「見方・考え方」が表記され、巻末「さらなる数学」では活用した「見方・考え方」がまとめられている。</p>	<p>○二次元コードの種類ごとの活用方法等の詳しい説明がなく、左側のページのQRコードは読み取りづらい。</p>
使用上の便宜	<p>○「目次」「この教科書を使った数学の学習の学び方」で、全体の構成が見通せる配慮がされている。</p> <p>○B5サイズ、555g、第1学年の総ページ数は311+巻末付録(正負の数、立体に関するものが1つずつ)第2学年458g255ページ、第3学年559g、311ページである。</p> <p>○Question、例、問を色や形を分けている。</p>	<p>○「章のまとめの問題」には理解度を自分でチェックできるマークやどのような資質・能力が身に付くか等の印はない。</p>

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 数 学 】

発行者 【 教育出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○節ごとに「基本の問題」という問題のページがあり、振り返る学習内容にあたる例題や問が示されており、基礎的な知識・技能の定着に繋げることができる。</p> <p>○各章に学びのプロセスを意識する課題があり、「問題をみいだす」「問題をつかむ」「見通しを立てる」「問題を解決する」「ふり返る」「深める」を可視化しており、思考力、判断力、表現力の育成につなげることができる。</p> <p>○各章終わりにある「学習のまとめ」の他、自分の力で取り組む内容が各学年P. 2～3に示されており、主体的対話的に学習に取り組む態度を育成できるようにしている。</p> <p>○章のとびらの話題に関連した仕事をしている人を取り上げた「数学しごと人」というページがあり、板橋区教育ビジョン2025の「キャリア教育」につながる指導に使用できる。</p>	<p>○式変形や考え方の解説まで親切に書かれすぎているため、生徒自ら考えることが少なくなる。</p>
構成・分量	<p>○一単位時間で扱う内容は主に、「めあて」→「新しい学習のきっかけとなるQ」→「例」→「問題」の順に構成されている。</p> <p>○「学習をする前に」のページで既習事項を復習することができるとともに、巻末の「学びマップ」でこれまで学習してきたことが確認でき、系統性が分かる。</p> <p>○各章に「数学の広場」や「学んだことを活用しよう」、巻末に「数学の広場+」等を設けて発展的内容が示されている。</p>	<p>○一単位時間の例題やQの前にめあてが示されており、問題からめあてを考える流れではない。</p>
表記・表現	<p>○ユニバーサルデザインフォントを使用し、カラーユニバーサルデザインに配慮している。</p> <p>○デジタルコンテンツが学びリンクとして、活用方法と種類が各学年P. 11に示され、第3学年で合計76点（操作12、統計3、動画15、資料39、リンク6）掲載されている。</p> <p>○各学年P. 6～9に「大切にしたい見方・考え方」が示されているとともに、問等において働かせる「見方・考え方」が表記されている。</p>	<p>○二次元コードがこういった活用につながるのか具体的に表記されていない。</p>
使用上の便宜	<p>○問題を解決するための流れや大切にしたい考え方などが10ページ程度書かれ、教科書の使い方がわかるようになっている。</p> <p>○B5サイズ、第1学年343ページ（582g）、第2学年275ページ（455g）、第3学年311ページ（520g）</p> <p>○「章の問題」には◎○△で理解度を自分でチェックできるマークがある。</p>	<p>○第1学年・第2学年は、ページ数が多いため、厚く、重い。</p>

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目【 数 学 】

発行者【 新興出版社啓林館 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○各章の各節に「練習問題」があり、基礎的な知識・技能の定着に繋げることができる。</p> <p>○身のまわりや数学の場面から「ステップ1」「ステップ2」「ステップ3」の流れで問題発見・解決する学習過程が可視化された「Q」が各章にあり、思考力・判断力・表現力の育成につなげることができる。</p> <p>○各章の終わりに「章のあしあと」という項目があり、できるようになったこと、さらに学びたいことなどを考えさせることができるようになっていて、主体的に学習に取り組む態度を養うことができる。</p> <p>○巻末の「学びをいかそう」で第2学年P. 218にはLED電球と白熱電球のちがいを取り上げた環境に関連した内容を扱い、第3学年P. 270には「社会科見学に行こう」というトピックでキャリア教育と関連させておりと板橋区教育ビジョン2025につながる内容がある。</p>	<p>○第1学年1章の正負の数から学習内容が始まる流れとなっており、既習事項から中学校の数学を始める流れになっていない。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○一単位時間で扱う内容は主に、「めあて」→「ひろげよう」または「例題」→「例」→「問題」の順に構成されている。</p> <p>○巻末の「数学の広場」に「学びをふりかえろう」があり、小学校の算数で学んだ内容や前学年で学んだ内容でその時の学習に必要な部分を学習するときに使えるように構成している。</p> <p>○各章には「数学ライブラリー」として、また、巻末の「数学の広場」には「力をつけよう」として発展的内容が掲載されており、力をつけようの中には「入試問題にチャレンジ」がある。</p>	<p>○各章にある「数学ライブラリー」は、読み物資料のため、生徒自身が課題を解決する形ではない。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○ユニバーサルデザインフォントを採用している。個人の特性にかかわらず、内容が伝わりやすい配色、デザインを用いており、メディア・ユニバーサル・デザイン協会の認証を申請中である。</p> <p>○デジタルコンテンツの活用方法と種類が表紙の裏及び各学年P. 2に記載され、二次元コードが合計154点（動画28、動かす28、スライドショー8、リンク5、考え方・解説等29、補充問題57）掲載されている。</p> <p>○各問等で働かせる「見方・考え方」が標識としてそれぞれ表記されている。</p>	<p>○学習する単元がどの単元につながる内容か目次に示されておらず、単元毎の系統性が表記されていない。</p>
使用上の便宜	<p>○教科書の使い方やICTの活用の仕方などの説明が詳しく書いてある。</p> <p>○B5サイズ、第1学年293ページ（494g）、第2学年233ページ（394g）、第3学年279ページ（466g）</p> <p>○章末問題の各問にはチェックボックスがついている。</p>	<p>○補充問題が二次元コードで読み込む形式になっており、教科書自体には掲載されていない。</p>

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目【 数 学 】

発行者【 数研出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○各章において練習問題や、各節にある確認問題により基礎・基本の定着に繋げることができる。</p> <p>○学習課題に対して登場キャラクターが対話の形、多様な考え方を発言する形、誤った考え方を提示する形などをとっていて、思考力、判断力、表現力の育成に繋げることができる。</p> <p>○各学年教科書P. 8～9「学習の進め方」において授業で取り組むことが明確に示され、また、裏表紙に「学びの自己評価」において自分で学ぶ力をチェックできるため、主体的に学習に取り組む態度を養うことができる。</p> <p>○巻末の「数学旅行」に第1学年P. 258や第2学年P. 212ではキャリア教育、第1学年P. 266や第3学年P. 254では環境教育に関する内容が掲載されており、板橋区教育ビジョン2025につなげる指導ができる。</p>	<p>○第1学年1章の正負の数から学習内容が始まる流れとなっており、既習事項から中学校の数学を始める流れになっていない。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○一単位時間で扱う内容は主に、「TRY」または「Q」→「めあて」→「例」→「問」→「まとめ」の順に構成されている。</p> <p>○巻末に小学校の算数の内容や前学年の内容との系統性を示すページが設けられ、章の学習を始める前に「ふりかえり」のページも設けられて系統的に学べるように構成されている。</p> <p>○学習内容に関する話題に関連した「やってみよう」、「考えよう」などが掲載されて、また、巻末にはチャレンジ編として発展的内容を扱っている。</p>	<p>○問題解決の学習の流れ（問題発見等）が可視化された間はない。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p> <p>○デジタルコンテンツの活用方法と種類が各学年P. 6に記載され、第3学年では合計103点（補充40、イメージ42、資料7、考察6、探究8）掲載されている。</p> <p>○「TRY」や問、例において働かせる「見方・考え方」について登場するキャラクターの対話形式で表記されている。</p>	<p>○登場するキャラクターが日本人のみで外国人の人権等に配慮されていない。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○「目次」「この教科書について」「学習に役立つコンテンツ」で、教科書全体の構成を見通すことができる。</p> <p>○B5サイズ、第1学年312ページ（522g）、第2学年264ページ（441g）、第3学年320ページ（534g）</p> <p>○チャレンジ編に豊富に問題が用意されている。</p>	<p>○もくじについては、章のタイトルのみの表示になっており、節のタイトルがなく全体を見通しづらい。</p>

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 数 学 】

発行者 【 日本文教出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○各小節に「基本の問題」というページがあり、振り返る学習内容にあたるページが掲載され、基礎的な知識及び技能の定着に繋げることができる。</p> <p>○「見通しをもとう」「考えよう」「話し合おう」「ふり返ろう」「深めよう」と学習過程を可視化された、日常生活等から問題を見いだし解決する「学び合おう」が各学年複数設定され、思考力・判断力・表現力等の育成につながるようになっている。</p> <p>○「学びに向かう力を育てよう」として、各学年P. 6～7に学習に取り組む態度を自ら取る方法が説明されるとともに、各章で問が設定されており、主体的に学習に取り組む態度を育成することができる。</p> <p>○各学年巻末に「SDGsと数学」、「数学を仕事に生かす」があり、環境教育、キャリア教育と関連付けたつくりになっていて、板橋区教育ビジョン2025につながる指導ができる。</p>	<p>○第1学年1章の正負の数から学習内容が始まる流れとなっており、既習事項から中学校の数学を始める流れになっていない。</p>
構成・分量	<p>○一単位時間で扱う内容は主に「Q」→「めあて」→「例」「問」→「まとめ」の順に構成され、一単位時間の「めあて」がはっきりと示されている。</p> <p>○各章のはじめに「次の章を学ぶ前に」のページで関連する既習事項が、また、目次の単元名横にはつながる既習内容が掲載され、系統性が分かる。</p> <p>○各章にある「とりくんでみよう」「やってみよう」や、巻末の数学マイトライにある「数学研究室」、「活用の問題」で発展的内容を扱っている。</p>	<p>○学習内容の振り返りが章末にはあるが、節末ごとにはない。</p>
表記・表現	<p>○ユニバーサルデザインに配慮し、ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p> <p>○デジタルコンテンツの活用方法と種類が各学年P. 10に記載され、第3学年では合計109点（見る52、身につける18、調べる2、ためす29、図形のまとめ7）が掲載されている</p> <p>○問や例等の学習場面の横に「大切な見方・考え方」が表記され、数学的な見方・考え方を働かせることにつながる。</p>	<p>○二次元コードが掲載されている場所がページの上や左、右となっており、統一されていない。</p>
使用上の便宜	<p>○巻頭P 2～P 10に教科書使用上のポイントが説明してあり、見通しをもって学習を進めていけるよう配慮されている。</p> <p>○B 5サイズ、第1学年312ページ（546g）、第2学年260ページ（439g）、第3学年296ページ（501g）</p> <p>○巻末にB 5ノートに貼ることができる、「学びに向かう力を育てよう」や「学び合おう」で使用する「振り返りシート」がある。</p>	<p>○第1学年と第3学年は巻末に振り返りシートと付録の両方があり、厚みがある。</p>

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

中学校【理科】

調査委員長 百瀬 一郎

総 評

○東京書籍

・単元や章の扉ページには学習内容を貫く本質的な問い（例：第1学年P11生物を比べてみると何がわかるだろうか。）が記載されている。生徒が問いに向き合うことで主体的に学習に取り組む態度を養うことができるようになっている。

・「問題発見⇒課題⇒仮説⇒構想⇒観察・実験⇒考察⇒結論⇒振り返り」の順で思考力・判断力・表現力の育成を図る内容になっている。

・身近な自然現象や実験結果を示す写真・表・グラフ・図等は、不可視な自然事象に対してシンプルな表現で描かれている。（例：第1学年P117、P147）

・A B判、ユニバーサルデザインフォントを使用し、色覚特性に配慮している。文字の大きさや行間のバランスも適切である。写真やイラストが大きく見やすく、紙面の下部に学びのフローチャートが記載されており、単元や節の構成が見通せる配慮がされている。

○大日本図書

・実験の目的や着目点が明記されていたり、結果の記載の仕方の例が示されたりしており、実験して得た知識を獲得しやすくなっている。（例：第1学年P123）

・「問題を見つけよう」「計画を立てよう」「結果から考えよう」「振り返ろう」という考えを深める学習過程が設定されており、思考力、判断力、表現力の育成を図る内容となっている。

・観察・実験等のページと結果のページが見開きにならないように構成されており、生徒が、結果がすぐに分からないようにすることで意欲を継続させる配慮がなされた構成となっている。（例：第1学年 P123）

・B 5判、ユニバーサルデザインフォントを使用し、色覚特性に配慮している。二次元コードを読み取ることで、「理科の世界WEB」などの複数のデジタルコンテンツを利用できるようになっている。

○学校図書

・各学年の巻頭に理科の探究活動を進める方法が示されているとともに、教科書の下部には「この時間の見方」と「考え方」の例が掲載されており、問題解決に必要な思考力や判断力を育みやすい内容になっている。

・単元のはじめのページには、「ふり返ろう、つなげよう」という項目が設定されており（例：第1学年P7、第2学年P7、第3学年P7）、小学校や中学校の既習事項がまとまっており、系統性が分かりやすく示されている。

・必要に応じて漢字にルビがふられているほか、本文の重要な箇所は大きく目立つように書かれている。補足的な内容には、生徒や先生のイラストが小さく注釈として入っている。

・A B判、ユニバーサルデザインフォントを使用し、色覚特性に配慮している。各ページに二次元コードが設けられており、それをスキャンすることで教科書全ページをウェブページとして再構成した「ミライ教科書学図プラス」で各学年の教科書も参照でき、より広範囲な知識を得たり、実験動画も視聴できたりする。巻頭に探究の進め方の記載があり、学びの全体の構成が見通せるよう配慮されている。

○教育出版

・単元の始めに、これまでの学習やページによって既習事項が示されているとともに、「学習課題」や「結論」が分かりやすく明記されているため、知識が定着しやすい。（例：第1学年P72からP88）

・教科書の巻頭には、「疑問」「課題」「仮説」「計画」「観察・実験」「考察」「結論」という探究の過程が示されており、小学校の問題解決の流れを受け継いでいる。

・各章末には、「要点と重要用語の整理」「基本問題」「活用問題」のページが設定されており、教科書を使用した演習ができる。

・A B判、ユニバーサルデザインフォントを使用し、色覚特性に配慮している。文章、イラスト、写真等が記載されることで理解を促進するとともに、重要語句を赤字で示すなど、表記・表現に工夫が見られる。

○新興出版社啓林館

・実験技能に関わる記載は1ページ程度でまとめて記載されており（例：第1学年P153）目的、方法、結果、考察と流れが明記されるとともに実験方法がイラストで分かりやすく記載されており知識及び技能が習得しやすい。

・巻頭に「探究の過程」が示されており、探究的に学ぶことを通して、思考力・判断力・表現力の育成を図るようになっている。

・4領域のインデックスがあり、小学校から中学校、高校へと系統性が示されるとともに、同一学年の別の単元とのつながりも認識できる。

・A B判、ユニバーサルデザインフォントを使用し、色覚特性に配慮している。文字の大きさや写真、図、イラスト等のが見やすく、複数掲載されており、各種資料を生徒が比較したり関係付けたりしながら考える手だてとなっている。

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 理 科 】

発行者 【 東京書籍 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○実験技能に関わる内容は1ページにまとめて記載し、実験の内容を確認しやすくするため、目的から考察の流れを縦に並べるように示しており、観察・実験の技能が習得しやすい。 (例：第1学年 P81から82)</p> <p>○「問題発見⇒課題⇒仮説⇒構想⇒観察・実験⇒考察⇒結論⇒振り返り」の順で探究の流れが示され、思考力・判断力・表現力の育成を図る内容になっている。</p> <p>○単元や章の扉ページには学習内容を貫く本質的な問い(例：第1学年P11 生物を比べてみると何がわかるだろうか。)が記載されている。生徒が問いに向き合うことで主体的に学習に取り組む態度を養うことができるようになっている。</p> <p>○SDGsに関しては、各学年のコラムに掲載しており、板橋教育ビジョン2025の具現化につながる内容である。 (第1学年 P31、181 第2学年 P113、199、266 第3学年 P179、262、276、298、302)</p>	<p>○節や章末に、知識定着のための確かめ問題や活用問題が記載されているが、解説の記載がないため、自学自習がしづらい。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○第2学年の最終単元を「電流と電子」、第3学年の最初の単元を「化学変化とイオン」とすることで系統性やつながりを意識した構成としていたり、第3学年の単元4「地球と宇宙」で、天体を観察しやすい時期になるよう単元が構成されていたりするなど、配列に工夫が見られる。</p> <p>○単元ごとに発展的な内容がイラストや図等と共に理解しやすく記載されている。(例：第1学年P122) また、章末に基礎問題、確かめ問題、活用問題があり、スモールステップで学習できる構成になっている。</p> <p>○じっくり探究学習に取り組むことができるように、各単元に一か所「じっくり単元」のページが構成されている。(例：第1学年 P84から90)</p>	<p>○実験の結果や記述・活用・振り返りの解答例やまとめ方が示されていないため、ノート等へのまとめ方が分かりにくい。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○必要に応じて漢字にルビがふられていたり、単元末に学習用語が整理されていたりするなど、発達段階に応じた表記がされている。(例：第1学年 P132から133)</p> <p>○身近な自然現象や実験結果を示す写真・表・グラフ・図等は、不可視な自然事象に対してシンプルな表現で描かれている。(例：第1学年 P117、P147) また、二次元コードを読み取ることで特設サイト「新編 新しい科学」につながり、多数のデジタルコンテンツを利用できる。</p> <p>○各章の扉ページには、生徒の興味関心や学習意欲を喚起できるような、学習内容に関連した写真が使用されている。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p>	<p>○各章の最初に使用されている写真と章の内容との関連が、デジタルコンテンツを見ないと説明されないようになっている。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○写真やイラストが大きく見やすく、紙面の下部に学びのフローチャートが記載されており、単元や節の構成が見通せる配慮がされている。</p> <p>○AB判 第1学年：494g、259ページ 第2学年：592g、307ページ 第3学年：604g、323ページで構成されている。</p> <p>○第2学年の巻末には付録として「温帯低気圧3Dペーパークラフト」が掲載されている。</p>	<p>○巻末付録が第2学年にのみ掲載されている。</p>

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目【 理 科 】

発行者【 大日本図書 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○実験の目的や着目点が明記されていたり、結果の記載の仕方の例が示されたりしており、実験して得た知識を獲得しやすくなっている。（例：第1学年P123）</p> <p>○「問題を見つけよう」「計画を立てよう」「結果から考えよう」「振り返ろう」という、考えを深める学習過程が設定されており、思考力、判断力、表現力等を育む内容となっている。</p> <p>○「くらしの中の理科」では、学習内容を生活の中で生かす内容が記載されており、興味・関心を広げながら主体的に学ぶことができるようになっている。（例：第1学年 P101）</p> <p>○環境に関する内容については、「環境マーク」が示され、生活排水（例：第1学年P121）などの身近な環境問題について学ぶようになっており、iカリキュラムとの関連が深い。</p>	<p>○章末に設定されている章末問題や読解力問題について、解答のみの記載となり、説明がされていない。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○観察・実験等のページと結果のページが見開きにならないように構成されており、生徒が、結果がすぐに分からないようにすることで意欲を継続させる配慮がなされた構成となっている。（例：第1学年 P123）</p> <p>○他分野や他教科に関する発展的な内容が「つながる×Science Press」（例：第1学年P193）で取り上げられており、教科等横断的に学ぶことができるようになっている。</p> <p>○単元最初に各章の概要に触れ、学習の見通しをもたせ、（例：第1学年P75）「章末問題」（第1学年P127）「探究活動」（第1学年P128から129）「まとめ」（第1学年 P130から131）「単元末問題」（第1学年P132から133）「読解力問題」（第1学年P134）の流れで理解の確認・活用する構成となっている。</p>	<p>○本文と対応した資料が複数掲載されているが、本文のどの部分の説明をしているのか、本文と資料を結び付ける記号がないページがある。（例：第1学年P258）</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○生物や植物単位においては、多くの写真が活用されるなど、学習内容に応じた表記の工夫が見られる。（例：第1学年P14からP17）</p> <p>○二次元コードを読み取ることで、「理科の世界WEB」などの複数のデジタルコンテンツを利用できるようになっている。</p> <p>○重要な語句や公式等は太字で示されるとともに、分かりやすい色で囲われており、目立つように工夫されている。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p>	<p>○既習事項を振り返る「思い出そう」の内容が簡単な文章等で、表記されている。（例：第1学年P45）</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○巻頭ページに問題解決の流れや、理科室のきまり等、確認すべき内容がまとまっている。</p> <p>○B5判 第1学年：531g、293ページ 第2学年：568g、317ページ 第3学年：664g、373ページで構成されている。</p> <p>○各学年の「行ってみよう科学館・博物館」や第1・2学年の「生物を見に行こう」で全国の科学館や動物園などを紹介し、身近な施設の活用を喚起している。</p>	<p>○教科書に示されるマークの種類が15個あり、何を示しているのか分かりにくいマークもある。</p>

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目【 理 科 】

発行者【 学校図書 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○グラフや図と文章を関連させながら理解を促すようになっているとともに（例：第1学年P73）、各単元末には「学習のまとめ」として基礎的な知識を定着させることができるようになっている。</p> <p>○各学年の巻頭に理科の探究活動を進める方法が示されているとともに、教科書の下部には「この時間の見方」と「考え方」の例が掲載されており、問題解決に必要な思考力や判断力を育みやすい内容になっている。</p> <p>○気づき→課題設定→仮説→検証計画→観察・実験→結果→考察などの学習の過程が、教科書上に流れと矢印で示されており、見通しをもち、粘り強く学習に取り組むことで主体的に学習に取り組む態度が育成されるようになっている。（例：第1学年 P23）</p> <p>○第1学年、P13のように、巻頭の「理路整然」では、文章の読み取り方のコツが理解できるように示されており、「読み解く力」の育成につながる内容となっている。</p>	<p>○1時間ごとにページの上部に課題が設定されているが、端的な記載となっており、何を学ぶべきなのかを捉えることが難しい。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○生物の分野は、大きめの写真を中心に構成するなど、学習領域の特性に応じた構成になっている。（例：第1年 P27 第2学年 P66 第3学年 P70）</p> <p>○単元のはじめのページには、「ふり返ろう、つなげよう」という項目が設定されており（例：第1学年P7、第2学年P7、第3学年P7）、小学校や中学校の既習事項がまとまっており、系統性が分かりやすく示されている。</p> <p>○巻末には「補充資料」が掲載されており、興味・関心を広げたり、思考をさらに深めたりする内容が示されている。「誘導電流の向き」（第2学年P173）「深海の圧力」（第2学年P201）など、発展的な内容が掲載されている。</p>	<p>○巻末の「補充資料」は充実しているが、単元や章ごとにまとめられていないため、毎時間の授業の中で活用しにくい。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○必要に応じて漢字にルビがふられているほか、本文の重要な箇所は大きく目立つように書かれている。補足的な内容には、生徒や先生のイラストが小さく注釈として入っている。（例：第1学年P29、第2学年P123など）</p> <p>○各ページに二次元コードが設けられており、それをスキャンすることで教科書全ページをウェブページとして再構成した「ミライ教科書学図プラス」で各学年の教科書も参照でき、より広範囲な知識を得たり、実験動画も視聴できたりする。</p> <p>○安全面に関することは、注意喚起のため、赤文字で示されている。（例：第1学年P109）</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p>	<p>○二次元コードを読み込んだ場合、全て同じページに繋がり、そこから必要なサイトまで辿るようになっているため、知りたい情報を得るまでに時間がかかる仕組みとなっている。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○第1学年の巻頭には、「なぜ理科を学ぶの？」というページが設定されており、理科を学ぶ意義について生徒が考えるように配慮されている。</p> <p>○AB判 第1学年：604g、256ページ 第2学年：691g、296ページ 第3学年：700g、296ページで構成されている。</p> <p>○各学年とも巻末には「学習内容と仕事」というページがあり、理科と関連の深い仕事について、大きな写真で掲載されている。</p>	<p>○章末に設定されている「学習のまとめ」の解答が巻末に記載されているが、解答のみで、解説がないため、自学自習に活用しづらい。</p>

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 理 科 】

発行者 【 教育出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○単元の始めに、これまでの学習やページによって既習事項が示されているとともに、「学習課題」や「結論」が分かりやすく明記されているため、知識が定着しやすい。 （例：第1学年P72からP88）</p> <p>○「話し合おう」「活用しよう」などの活動が設定され、思考力、判断力、表現力等を育む内容となっている。（例：第1学年P51）</p> <p>○単元の始めと終わりに生徒が自身の変容を自覚できるよう具体的な姿が提示されているとともに、科学の話題を紹介するコラム「ハロー・サイエンス」（例：第1学年P53）を掲載しているなど、理科学的な興味・関心を高める内容となっている。</p> <p>○教科書の巻頭には、「疑問」「課題」「仮説」「計画」「観察・実験」「考察」「結論」という探究の過程が示されており、小学校の問題解決の流れを受け継いでおり、小中一貫教育の充実につながる内容である。</p>	<p>○巻末の「問題の解答例」には、解説や説明の記載がなく、解答のみが記載されている。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○課題、仮説、計画の場面等に、教師や生徒のキャラクターを配置して、会話形式で生徒の疑問や生活経験、既習事項を示しており、生徒の探究を支援する工夫がなされている。</p> <p>○各章末には、「要点と重要用語の整理」「基本問題」「活用問題」のページが設定されており、教科書を使用した演習ができる。</p> <p>○「発展」とマークされた箇所において、発展的な内容を扱っており、生徒の興味・関心を広げるようになっている。（例：第1学年P31）</p>	<p>○「考えよう」「話し合おう」項目が単元によっては設定されていないなど、構成にばらつきがある。（例：第1学年 P90～P99 単元2 第2章「気体の性質」）</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○本時の課題が赤枠で囲まれており、学ぶべき内容が明確になっている。</p> <p>○二次元コードを読み取ることで、「まなびリンク」など、複数のデジタルコンテンツを利用できるようになっている。</p> <p>○文章、イラスト、写真等が記載されることで理解を促進するとともに、重要語句を赤文字で示すなど、表記・表現に工夫が見られる。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p>	<p>○単元末に「要点と重要用語の整理」のページが設定されているため、重要用語の意味を授業中にすぐに確認しづらい。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○生徒が自ら課題に取り組む想定のもと、レポートの記入例が示されている。巻末には「学年末総合問題」が記載されている。</p> <p>○AB判 第1学年：617g、280ページ 第2学年：664g、304ページ 第3学年：727g、336ページで構成されている。</p> <p>○第1学年の巻末にはジオパーク、第2学年の巻末には元素の周期表、第3学年の巻末には探究の歴史など、発達段階に応じて必要な資料が大きく掲載されている。</p>	<p>○巻末には「理科で使う算数・数学」の欄が示されているが、活用方法が示されておらず活用しづらい。</p>

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 理 科 】

発行者 【 新興出版社啓林館 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○実験技能に関わる記載は1ページ程度でまとめて記載されており（例：第1学年P153）目的、方法、結果、考察と流れが明記されるとともに実験方法がイラストで分かりやすく記載されており知識及び技能が習得しやすい。</p> <p>○巻頭に「探究の過程」が示されており、探究的に学ぶことを通して、思考力・判断力・表現力の育成を図るようになっている。</p> <p>○科学コラムとして「部活ラボ」「お料理ラボ」「お仕事ラボ」など、実生活と関連付けた内容が書かれており、生徒の興味・関心を高めることができるようになっている。（例：第1学年P53）</p> <p>○SDGsに関しては、各学年の巻末にそれぞれ2ページずつ掲載しており、板橋教育ビジョン2025の具現化に向けてつながる内容となっている。</p>	<p>○本時で身に付けるべき知識が記載されている箇所が教科書のどこにあたるのかが分かりづらい。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○生命、地球、物質、エネルギーの4領域（第3学年は「環境」を含む）がインデックスの形式で示されている。章導入や単元内には、「つながる学び」が配置されており、小学校からの学習内容を踏まえた上で、新たな学習に取り組めるとともに、同一学年の別の単元とのつながりも認識できる。</p> <p>○単元の始めには「つながる学び」として、既習事項を振り返ることができる構成になっている。（例：第1学年 P20）</p> <p>○章末には「学習のまとめ」として知識の定着を図るページが設定されるとともに「力だめし」として思考力を生かして発展的に取り組む問題も設定されている。</p>	<p>○見開き1ページの中に文章、写真、図など、多様な資料が掲載されており、正確に読み取る力が必要となる。（例：第1学年P112～113では、地図、本文、図、表等が掲載）</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○学習課題は、ハテナマークを示すとともに、フォントの大きさや色の変更、囲いを用いるなど、見やすく工夫されている。</p> <p>○各ページに二次元コードが設けられており、それをスキャンすることで「未来へ広がるサイエンス」という特設サイトにつながるようになっており、そこから学習内容に応じた多数の動画を閲覧できるようになっている。</p> <p>○文字の大きさや写真、図、イラスト等が見やすく、複数掲載されており、各種資料を生徒が比較したり関係付けたりしながら考える手立てとなっている。（例：第1学年 P66から67）</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p>	<p>○1ページの中の、文字の大きさや色、字体が不揃いである。（例：第1学年P105）</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○巻頭ページに探究の型や見方考え方に関する内容、ワークシートの書き方例が載っているため、年度初めに学習の方法を確認することができる。前学年までの既習事項を確認するページがあり、既習を使うという流れを確認することができる。</p> <p>○A B判 第1学年：591g、272ページ 第2学年：633g、296ページ 第3学年：694g、328ページで構成されている。</p> <p>○各学年の巻末には付録として「探Qシート」が掲載されており、探究的な学びに向けた手立てとなっている。</p>	<p>○安全に関するマークだけでも9種類あるなど、マークが多く、その意味を認知しづらい。</p>

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

中学校【音楽一般】

調査委員長

村田 浩文

総 評

○教育出版

- ・各教材のページには、育成をめざす資質・能力、活動のポイント及び楽器の名手からのメッセージには、音楽的な見方・考え方のヒントが示されており、音楽的な見方・考え方を働かせた学習につながるつくりになっている。（例：中学音楽1 P14～15）
- ・「sing!sing!」というコーナーを設け、歌唱の準備を生徒自ら意識できるように促しており、主体的に学習に取り組む態度を養うことができる内容となっている。（例：中学音楽1 P12～13 中学音楽2・3上 P15）
- ・「コンピューターで表現しよう」では、創作活動でICT機器を活用する時の音楽制作アプリの基礎が示されている。（中学音楽1 P64）
- ・中学音楽1には、歌唱26ページ、鑑賞25ページ、創作4ページ、歌のアルバムに11曲、中学音楽2・3上には、歌唱22ページ、鑑賞26ページ、創作4ページ、歌のアルバムに12曲、音楽2・3下には、歌唱18ページ、鑑賞19ページ、創作4ページ、歌のアルバムに11曲収録されており、単元・教材の配列・系統性・発展性が適切である。
- ・巻末資料の「楽典」には、教科書の内容を深く学ぶために必要な知識が分かりやすくまとめられており、生徒にとって理解しやすい説明がされている。（例：中学音楽1 P88）
- ・目次では、「歌唱」「鑑賞」「創作」それぞれが色別に示されており、参照しやすい作りとなっている。（例：中学音楽1 P6）

○教育芸術社

- ・生徒が見通しをもって学習に取り組めるよう、『「中学生の音楽1」の学習内容』として、1年間の学びを俯瞰できるページが掲載されており、学習指導要領の内容と各教材との関連が視覚的に確認できるようになっている。（例：中学生の音楽1 P8）
- ・「My Voice 1」というコーナーを設け、歌うときの姿勢や呼吸等の準備について掲載されており、呼吸の仕方について感覚的なことをイメージしやすい表現となっている。（中学生の音楽1 P14）
- ・中学生の音楽1には歌唱24ページ、鑑賞20ページ、創作4ページ、歌い継ごう日本の歌・心通い合う合唱に12曲、中学生の音楽2・3上に歌唱26ページ、鑑賞27ページ、創作4ページ、歌い継ごう日本の歌・心通い合う合唱に9曲、中学生の音楽2・3下に歌唱25ページ、鑑賞24ページ、創作4ページ、心通い合う合唱に10曲収録されている。教材と学習内容との関連が示されており、教材のねらいに応じて適宜学習内容を選ぶことができる。
- ・巻末資料の「音楽を形づくっている要素」にはイラストや楽譜などを参考にしながら、どの題材で何を学んできたかが一目で理解できる工夫がなされている。（例：中学生の音楽1 P92～93）
- ・3冊共通でP8、9のように「中学生の音楽」の学習内容の全体の構成や学習内容が示されており、生徒自身が教科書の内容を確認し、見通しをもって学習できる。
- ・教科用図書は縦261mm×横210mmであり、サイズや重さは適切である。折り込み資料がなくめくりやすい。

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 音楽 一般 】

発行者 【 教育出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○学習の見通しがもてるように「学習MAP」として、教科書冒頭に育成をめざす資質・能力や領域・分野の相互のつながりを示すとともに、「学習の進め方」を提示している。（P 8～9）</p> <p>○各教材のページには、育成をめざす資質・能力、活動のポイント及び楽器の名人からのメッセージには、音楽的な見方・考え方のヒントが示されており、音楽的な見方・考え方を働かせた学習につながるつくりになっている。（例：中学音楽1 P 14～15）</p> <p>○「sing!sing!」というコーナーを設け、歌唱の準備を生徒自ら意識できるように促しており、主体的に学習に取り組む態度を養うことができる内容となっている。（例：中学音楽1 P 12～13 中学音楽2・3上 P 15）</p> <p>○「郷土のさまざまな民謡」（中学音楽1 P 36）「郷土の民謡に用いられる楽器」が掲載されており、「郷土愛の育成」や「キャリア教育」につながる内容と関連付けて学ぶことができる。</p>	<p>○「日本とアジアの声によるさまざまな表現」にて、「微分音」を扱う「布農族の合唱」は第1学年には難易度が高い。（中学音楽1 P 58）</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○中学音楽1には、歌唱26ページ、鑑賞25ページ、創作4ページ、歌のアルバムに11曲、中学音楽2・3上には、歌唱22ページ、鑑賞26ページ、創作4ページ、歌のアルバムに12曲、音楽2・3下には、歌唱18ページ、鑑賞19ページ、創作4ページ、歌のアルバムに11曲収録されており、単元・教材の配列・系統性・発展性が適切である。</p> <p>○「Active!」の記号は、交流や説明する活動が示されており、生徒が進んで学び合えるよう工夫がされている。（中学音楽1 P 16、中学音楽2・3上 P 14、中学音楽2・3下 P 19）</p> <p>○教科書の巻頭部分に著名人の「音楽はメッセージ」という言葉で始まることで、生徒に音楽の大切さを伝えることができている。（例：中学音楽1 P 2）</p>	<p>○「尺八曲、鹿の遠音」にて、尺八についての学習は、別冊である器楽の教科書で学ぶことになっているが、関連付けて学習するには分量や内容が少ない。（中学音楽1 P 56）</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○巻末資料の「楽典」には、教科書の内容を深く学ぶために必要な知識が分かりやすくまとめられており、生徒にとって理解しやすい説明がされている。（例：中学音楽1 P 88）</p> <p>○紙面に掲載した二次元コードで、生徒の使用する端末からインターネットを使って容易に閲覧できる動画・音声・テキストの資料〈まなびリンク〉を掲載している。</p> <p>○カラー写真は鮮明で見やすく、文字は見やすさ、読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用している。読みにくい人名や地名等にはルビが振ってある。</p>	<p>○「コンピューターで表現しよう」では、パソコンの操作が苦手な生徒にとっては、抵抗感を感じる可能性がある。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○目次では、「歌唱」「鑑賞」「創作」それぞれが色別に示されており、参照しやすい作りとなっている。（例：中学音楽1 P 6）</p> <p>○各学年に、リコーダーの運指表やコードネーム表が示されており、どの学年でも確認できるようになっている。</p> <p>○教科用図書は縦261mm×横210mmであり、サイズや重さは適切である。</p>	<p>○巻末の見開きページは、生徒の机上からはみ出してしまうため扱いにくい。</p>

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 音楽 一般 】

発行者 【 教育芸術社 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○生徒が見通しをもって学習に取り組めるよう、『「中学生の音楽1」の学習内容』として、1年間の学びを俯瞰できるページが掲載されており、学習指導要領の内容と各教材との関連が視覚的に確認できるようになっている。(例：中学生の音楽1 P8)</p> <p>○「学びのコンパス」として、学習の手順を丁寧に示し、考えることや工夫すること等が分かるつくりとなっており、生徒の思考力、判断力、表現力を育めるようになっている。(例：中学生の音楽1 P26)</p> <p>○「My Voice 1」というコーナーを設け、歌うときの姿勢や呼吸等の準備について掲載されており、呼吸の仕方について感覚的なことをイメージしやすい表現となっている。(中学生の音楽1 P14)</p> <p>○「日本音楽入門」として、郷土の伝統音楽に親めるよう14ページにわたってまとめており、「郷土愛の育成」につながるつくりとなっている。(中学生の音楽1 P50～63)</p>	<p>○「指揮をしてみよう!」では、強弱の変化を学ぶことができる「前奏曲」が題材として選ばれているが、拍子も学べると一層効果が上がるので、もう少しゆったりとした速度の変拍子の曲が適している。(中学生の音楽1 P40)</p>
構 成 ・ 分量	<p>○中学生の音楽1には歌唱24ページ、鑑賞20ページ、創作4ページ、歌い継ごう日本の歌・心通い合う合唱に12曲、中学生の音楽2・3上に歌唱26ページ、鑑賞27ページ、創作4ページ、歌い継ごう日本の歌・心通い合う合唱に9曲、中学生の音楽2・3下に歌唱25ページ、鑑賞24ページ、創作4ページ、心通い合う合唱に10曲収録されている。教材と学習内容との関連が示されており、教材のねらいに応じて適宜学習内容を選ぶことができる。</p> <p>○「ルールを守って音楽を楽しもう」というページを設けており、中学生の早い段階から「著作権」について学ぶことにより、著作権を守る意識を身に付けて今後の取り組みに生かすことができる。(中学生の音楽1 P66)</p> <p>○教科書の巻頭部分で、生徒に馴染みのある著名人の言葉により、勉強を始める前から学ぶ意欲に繋がるように工夫されている。(中学生の音楽1 P2～5)</p>	<p>○P70以降にある歌集の前に、「音楽の学びを振り返ろう」を載せた方が振り返りがしやすくなる。(中学生の音楽1 P91)</p>
表 記 ・ 表現	<p>○巻末資料の「音楽を形づくっている要素」にはイラストや楽譜などを参考にしながら、どの題材で何を学んできたかが一目で理解できる工夫がなされている。(例：中学生の音楽1 P92～93)</p> <p>○紙面上の二次元コードを読み取ることによって、学習に役立つコンテンツへアクセスして閲覧、視聴できるようになっている。</p> <p>○「心の歌 歌い継ごう日本の歌」では、歌に関わる写真が見開きで大きく掲載されており、曲の世界に入り込みやすい導入を展開することができる。(中学生の音楽1 P22、中学生の音楽2・3上 P18、中学生の音楽2・3下 P10)</p>	<p>○二次元コードの内容を示したマークが小さく判別しにくい。(例：中学生の音楽1 P3)</p>
使用上の便宜	<p>○巻末資料として「音楽の約束」には、これまで学習してきた音符や記号等について説明されており、自分で確認できるようになっている。(例：中学生の音楽1 P94～97)</p> <p>○「日本音楽入門」にて、日本古来の芸能から近世邦楽に至るまでの過程が、一目で分かる工夫された表が掲載されている。(中学生の音楽1 P50)</p> <p>○教科用図書は縦261mm×横210mmであり、サイズや重さは適切である。折り込み資料がなくめくりやすい。</p>	<p>○「MYMELODY創作～音の繋がり方～」のワークシートが第1学年の内容としては、記入するところがとても小さく、書きにくい。(中学生の音楽1 P20)</p>

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

中学校【音楽 器楽合奏】

調査委員長

村田 浩文

総 評

○教育出版

- ・リコーダーにおいて、タンギングやサミングまでの技能を順序立てて学習できるよう構成や配列に工夫しており、学習指導要領に示された知識・技能を習得しやすい。
(例：P 1 0～1 7)
- ・单元ごとに目標にすべき事項が2つ以上表記されていることや、「みんなに紹介する文を書こう」等、自力解決から集団解決につながる学習につなげることができ、板橋区授業スタンダードに沿った学習に沿っている。(例：P 2 0～2 1)
- ・各楽器の後半には「学びを深める活動」の記載があり、さらに、「吹く楽器」(P 3 1)と「弾く楽器」(P 5 6)のそれぞれに「発展」という記載があり、中学校音楽で定められた学習内容の他に、さらに学習したい意欲を引き出す工夫がある。
- ・リコーダー14ページ、篠笛6ページ、尺八2ページ、ギター8ページ、箏8ページ、三味線7ページ、太鼓6ページ、合奏楽譜32ページ(22曲)、その他参考楽譜(9曲)の計107ページで構成されている。
- ・全体的に明るい、淡色で表現されており、色覚の個人差に問わずより多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮している。
- ・巻末にはリコーダー運指表、ギター・キーボードのコード表が添付されている。

○教育芸術社

- ・「中学生の器楽」の学習内容のページには、「思考力・判断力・表現力」、「知識」、「技能」を身に付けるための目標や創作表現の目標が明確に示されており、それぞれの教材でどのような学習をするか確認することができる。(P 8～9)
- ・各教材における目標はアウトプットで表記されており、板橋区授業スタンダードに即したものとなっている。(例：P 1 6)
- ・演奏のポイントについてQ&Aで示されており、自力解決への支援があるとともに、新しい用語について丁寧な説明があり、自分で教科書を読んで進めることができ、板橋のiカリキュラムと関連付けて学習するのに適している。
- ・リコーダー16ページ、ギター8ページ、箏10ページ、三味線6ページ、太鼓6ページ、篠笛3ページ、尺八3ページ、打楽器5ページ、合奏楽譜26ページ(17曲)、その他参考楽譜(9曲)の計26曲、総ページ数は107ページで構成されている。
- ・アンサンブル曲では伴奏の二次元コードが掲載されており、生徒は一人でも合奏を楽しめる配慮がされている。
- ・巻末にはリコーダー運指表、ギター・キーボードのコード表が添付されており、メイジャーコード、マイナーコードの他にセブンスやマイナーセブンスコードの掲載がある。また、「音楽の約束」には、授業で使用する可能性が高い音楽用語や記号が抜粋されて掲載されている。

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 音楽・器楽合奏 】

発行者 【 教育出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○リコーダーにおいて、タンギングやサミングまでの技能を順序立てて学習できるよう構成や配列に工夫しており、学習指導要領に示された知識・技能を習得しやすい。（例：P 10～17）</p> <p>○題材には育成をめざす資質・能力、活動のポイント及び楽器の名手からのメッセージには、音楽的な見方・考え方のヒントが示されており、音楽的な見方・考え方を働かせた学習につながるつくりになっている。</p> <p>○单元ごとに目標にすべき事項が2つ以上表記されていることや、「みんなに紹介する文を書こう」等、自力解決から集団解決につながる学習につなげることができ、板橋区授業スタンダードに沿った学習に沿っている。（例：P 20～21）</p> <p>○「いろいろな用語・記号」には、授業で使用する可能性が高い音楽用語や記号が抜粋されて掲載されている。</p>	<p>○楽器の種類が多く、授業でメインとなるメジャーな楽器のページが少ない。</p>
構成・分量	<p>○リコーダー14ページ、篠笛6ページ、尺八2ページ、ギター8ページ、箏8ページ、三味線7ページ、太鼓6ページ、合奏楽譜32ページ（22曲）、その他参考楽譜（9曲）の計107ページで構成されている。</p> <p>○各楽器の後半には「学びを深める活動」の記載があり、さらに、「吹く楽器」（P 31）と「弾く楽器」（P 56）のそれぞれに「発展」という記載があり、中学校音楽で定められた学習内容の他に、さらに学習したい意欲を引き出す工夫がある。</p> <p>○各楽器ごとに名称、姿勢、演奏の順で構成されており、バラエティに富んだ楽曲が掲載されている。（例：P 22～26）</p>	<p>○各ページに記載されている二次元コードの数は19個であり、6ページに1つの割合と少ない。</p>
表記・表現	<p>○全体的に明るい、淡色で表現されており、色覚の個人差に問わずより多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮している。</p> <p>○特に意識すべき事項に適宜、太字や下線を使用している。</p> <p>○各楽器の音の出し方や参考音源の二次元コードが掲載されており、二次元コードに「見る・聴く・知る」を表すマークが組み込まれて分かりやすく表示されている。</p>	<p>○目次の文字が小さく、楽器や楽曲の項目を見つけ出すのが難しい。</p>
使用上の便宜	<p>○巻末にはリコーダー運指表、ギター・キーボードのコード表が添付されている。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントを使用し、抗菌加工された表紙が使用されている。</p> <p>○楽器ごとに「深めてみよう」が記載されており、さらに学びが深められるような工夫がなされている。</p>	<p>○楽曲ごとのページに参考音源の二次元コードがないため、生徒が教科書を活用して自主的な探究がしにくい。</p>

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 音楽・器楽合奏 】

発行者 【 教育芸術社 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○「中学生の器楽」の学習内容のページには、「思考力・判断力・表現力」、「知識」、「技能」を身に付けるための目標や創作表現の目標が明確に示されており、それぞれの教材でどのような学習をするか確認することができる。（P 8～9）</p> <p>○各教材における目標はアウトプットで表記されており、板橋区授業スタンダードに即したものとなっている。（例：P 16）</p> <p>○演奏のポイントについてQ&Aで示されており、自力解決への支援があるとともに新しい用語について丁寧な説明があり、自分で教科書を読んで進めることができ、板橋のiカリキュラムと関連付けて学習するのに適している。</p> <p>○器楽の学習活動を通して、学びを確実にに行えるよう、一部の教材に学習目標や課題等の他「学びのコンパス」が示されている。（例：P 16～17）</p>	<p>○打楽器の取り扱いが、和太鼓が中心となっており学校でよく使用する小太鼓や大太鼓などの楽器についての指導に関する記述が1ページしかない。</p>
構 成 ・ 分量	<p>○リコーダー16ページ、ギター8ページ、箏10ページ、三味線6ページ、太鼓6ページ、篠笛3ページ、尺八3ページ、打楽器5ページ、合奏楽譜26ページ（17曲）、その他参考楽譜（9曲）の計26曲、総ページ数は107ページの構成されている。</p> <p>○楽器ごとに、楽器の特徴、楽器の奏法についてという順に紹介されており、バラエティに富んだ楽曲が掲載されている。（例：P 26～P 33）</p> <p>○「楽器の図鑑」には50種類以上の楽器が分類され掲載されている。（例：P 104、105）</p> <p>また、打楽器の単元では、クラベスやシェーカーなど、多くの身近な打楽器14種類の演奏法について掲載されている。（P 63～67）</p>	<p>○基本的な奏法の説明が多く、楽曲に関するページが少ない。</p>
表 記 ・ 表現	<p>○全体的に手の形や姿勢などの写真が多く使用されている。（例：P 52）</p> <p>○演奏のポイント等が細かく分けられており、説明も短く端的に書かれている。</p> <p>○アンサンブル曲では伴奏の二次元コードが掲載されており、生徒は一人でも合奏を楽しめる配慮がされている。</p>	<p>○1ページの中で明朝体、ゴシック体などのフォントが混在しているので統一感が無いように感じる。（例：P 62～63）</p>
使用上の便宜	<p>○「練習の手順」や「練習のポイント」が細かく明記されている。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントを使用し、抗菌加工された表紙が使用されている。</p> <p>○巻末にはリコーダー運指表、ギター・キーボードのコード表が添付されており、メイジャーコード、マイナーコードの他にセブンスやマイナーセブンスコードの掲載がある。また、「音楽の約束」には、授業で使用する可能性が高い音楽用語や記号が抜粋されて掲載されている。</p>	<p>○単元の目標の文字が小さく、目立たない。</p>

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

中学校【美術】

調査委員長

前田 康夫

総 評

○開隆堂

・各題材名の横に「学習の目標」が観点別に3項目に分けて書かれており、アイコンも評価の3観点とのつながりが分かりやすい。また、「思考・判断・表現」の学習を深めるための「発想・構想」の方法や「鑑賞」の進め方のヒントやポイントをキャラクターの吹き出しを用いて示している。

・「SDGsに関する造形的な取り組み」を紹介する欄が、美術1で5か所、美術2・3で9か所、P112から115では、8個の目標を例に挙げてSDGsの内容を扱っている。また、「作者の言葉」が記されており、作品への興味・関心を高め、主体的に学習に関わっていく態度を育むことができる。

・表紙に凹凸を付けるなどの工夫があり、全体を通して、扱っている図版や作品、作家が生徒の興味関心をひくような話題性のある資料を選ぶことで、生徒に美術を学ぶ面白さを促すような工夫されている。

・基礎的・発展的な学習語彙を説明する「美術の用語」の欄があり、「読み解く力」の育成につながり、解説文や参考作品の理解の助けになる。

・第1学年P43をはじめ、参考作品の例示だけではなく、制作の過程も提示していることで、生徒が教科書を読み取り、主体的に知識、技能を獲得できる内容である。

・題材名の上部に二次元コードがある。アイコンと文字で内容が示されておりアクセスしやすい。導入動画、技法紹介など複数の内容も1つの二次元コードからのアクセスにまとめられている。

○光村図書

・各題材名の横に「目標」が3項目に分けて書かれており、評価とのつながりが分かりやすい。

・ページ下部に「道徳科とのつながり」と「SDGsの17の目標との関連」が、ページ内部に「他教科とのつながり」が表記されており、生徒の主体的な学習を促したり、カリキュラムマネジメントの推進を図ることができる。SDGsに関して美術1に3か所、美術2・3に9か所、合計12カ所に記載がある。

・「学習を支える資料」は美術1で4ページ、美術2・3で12ページ、合計16ページ扱っている。別冊の資料1では、描く、つくる、写真、映像、発想・構想、形・色・光、色の7項目を35ページでまとめられ、資料集として扱えるようになっている。

・美術1のP16にあるように、題材の下に鑑賞の視点を示す文や、参考作品の横に見方のヒントとなる「POINT」が表記されており、学習指導要領の「自分の思いを語り合ったり、自分の価値意識をもって批評し合ったりするなど、鑑賞の指導を重視する」という内容に合っている。

・折り込みページが美術1は2か所、美術2・3は3か所ある。また、美術2・3のP27からP42の日本の絵画の特集ページでは、和紙のような紙質を使用しているため、本物の作品を想像させる仕様になっており、学習指導要領の「伝統や文化のよさや美しさを感じ取り愛情を深める」ことにつながる。

・各題材ごとに1か所以上の二次元コードがあり、全国の生徒作品等にアクセスでき、紙面以上の参考作品を見ることができる。二次元コードには内容の説明が短く書かれておりアクセスしやすい。美術2・3のP94から95には16の技法などをサムネイルと簡単な解説、二次元コードでまとめたページがある。

○日本文教出版

・各題材名の横に「まなびの目標」が3項目に分けて書かれており、評価とのつながりが分かりやすい。

・ページ下部には「道徳科との関連」が示されていたり、各学年で他教科との関連を示す教材を取り扱っていたりと、カリキュラムマネジメントの推進を図ることができる。また、美術2・3下のP46にあるように「内容と関連するSDGsのゴール」が示されており、関連付けて学べるように配慮されている。

・各題材に鑑賞の視点を示す「鑑賞の入り口」が書かれており、参考作品の横に見方のヒントとなる「造形的な視点」が吹き出しで標記されており、学習指導要領の「自分の思いを語り合ったり、自分の価値意識をもって批評し合ったりするなど、鑑賞の指導を重視する」という言語活動を充実させることにつながる。

・発想・構想の手だてや技法を示す「表現のヒント」が線で囲って表記されており、生徒が挑戦したいと思える内容になっている。

・美術1は75ページ、美術2・3上は65ページ、美術2・3下は61ページで、合計201ページであり、学年ごとに1冊ずつ使用できるようになっており、1冊の厚みは3mmと持ち運びしやすい。

・全題材の本文の横に導入動画「学びのはじめに」の二次元コードがある。その他に「資料を見よう」「動画を見よう」の二次元コードが表記されている単元もある。また、ICTの活用方法を提案する記述、アイコンの表記がある。

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目【 美 術 】

発行者【 開隆堂出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○第1学年P43をはじめ、参考作品の例示だけではなく、制作の過程も提示していることで、生徒が教科書を読み取り、主体的に知識、技能を獲得できる内容である。</p> <p>○各題材名の横に「学習の目標」が3項目に分けて書かれており、アイコンも評価の観点とのつながりが分かりやすい。また、「思考・判断・表現」の学習を深めるための「発想・構想」の方法や「鑑賞」の進め方のヒントやポイントをキャラクターの吹き出しを用いて示している。</p> <p>○「SDGsに関する造形的な取り組み」を紹介する欄があり、美術1で5か所、美術2・3で9か所、P112から115では、8個の目標を例に挙げている。また、「作者の言葉」が記されており、作品への興味・関心を高め、主体的に学習に関わっていく態度を育むことができる。</p> <p>○基礎的・発展的な学習語彙を説明する「美術の用語」の欄があり、「読み解く力」の育成につながり、解説文や参考作品の理解の助けになる。</p>	○他教科とのつながり等の項目が無い。
構 成・ 分 量	<p>○美術1、美術2・3でそれぞれ「絵や彫刻などに関する内容」が24ページ（題材数6）、50ページ（題材数13）、合計74ページ（題材数19）扱われている。「デザインや工芸に関する内容」は20ページ（題材数5）、34ページ（題材数9）、合計54ページ（題材数14）扱われている。その内鑑賞中心の題材が合計34ページ（題材数9）扱われている。</p> <p>○「学びの資料」が巻末にあり、美術1に18ページ美術2・3には30ページ、合計48ページ扱っている。技法や用具の取り扱いの内容は各題材のページに掲載されている。</p> <p>○1つの題材について、作例が豊富で多角的な視点を得る事ができるようになっている。</p>	○題材数が33で、3社の中で一番少ない。
表 記・ 表 現	<p>○全題材名の上に二次元コードがあり、アイコンと文字で内容が示されておりアクセスしやすい。導入動画、技法紹介など複数の内容も1つの二次元コードからのアクセスにまとめられている。文字はユニバーサルデザインフォントを使用している。</p> <p>○注目されている作家の特集を入れ、美術に関心をもたせる工夫や、連載中の漫画やアニメの作品を掲載し、アニメーションの動きや構図等の表現方法に関心が高まるようにしている。（美術1 P8～P9に新海誠の特集、美術2・3のP2～5には荒木飛呂彦の特集、P40～41「ブルーロック」、P60に「四畳半タイムマシンブルース」、P68に「映画ドラえもん」が取り上げられている。）</p> <p>○1つの作品を全体、原寸、拡大した細部など複数の図版で紹介している表現が充実しており、質感や筆触を感じ取れるように表現している。</p>	○「発想・構想」と「鑑賞」のアイコンが同じ色で区別しづらい。
使 用 上 の 便 宜	<p>○大きさは297×231mmの変形サイズ。重量は2冊で755グラムで、3社の中で総重量は最も軽いが、美術2・3の1冊の重量は他の教科書会社のものより重い。美術1は71ページ、美術2・3は127ページあり、合計198ページである。</p> <p>○表紙はマット印刷に部分的にツヤや凹凸が出る加工がしてあり、印刷技術に関心をもてる仕様になっている。内容の用紙についてはつやが出にくく、作品の写真が見やすい。</p> <p>○折り込みページが美術1は3か所、美術2・3は4か所ある。P100からP103まで年表を折り込みで製本しているため、一目で日本、中国・アジア、西洋の美術史の流れを把握する事ができる。</p>	○図版の彩度が低く、紙面が暗い。

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 美 術 】

発行者 【 光村図書出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○各題材名の横に「目標」が3項目に分けて書かれており、評価とのつながりが分かりやすい。</p> <p>○美術1のP16にあるように、題材の下に鑑賞の視点を示す文や、参考作品の横に見方のヒントとなる「POINT」が表記されており、学習指導要領の「自分の思いを語り合ったり、自分の価値意識をもって批評し合ったりするなど、鑑賞の指導を重視する」という内容に合っている。</p> <p>○美術2・3のP27からP42の日本の絵画の特集ページでは、四季、動物、不思議、余白、構図の5項目に分けて日本の絵画を楽しむ特集が組まれており、学習指導要領の「我が国の美術や文化に関する指導を一層充実」という改訂の趣旨に適している。</p> <p>○ページ下部に「道徳科とのつながり」と「SDGsの17の目標との関連」が、ページ内部に「他教科とのつながり」が表記されており、生徒の主体的な学習を促したり、カリキュラムマネジメントの推進を図ることができる。SDGsに関して美術1に3か所、美術2・3に9か所、合計12カ所に記載がある。</p>	<p>○美術1に墨で表現する題材があるが、水墨画の鑑賞や表現技法に触れるページは「風神雷神図屏風」の作品のみである。</p>
構成・分量	<p>○美術1、美術2・3でそれぞれ「絵や彫刻などに関する内容」が33ページ（題材数11）、53ページ（題材数14）、合計87ページ（題材数25）扱われている。「デザインや工芸に関する内容」は19ページ（題材数8）、25ページ（題材数10）、合計44ページ（題材数18）扱われている。その内、鑑賞中心の題材は16ページ（題材数6）、40ページ（題材数11）、合計56ページ（題材数17）である。</p> <p>○「学習を支える資料」は美術1で4ページ、美術2・3で12ページ、合計16ページ扱っている。別冊の資料1では、描く、つくる、写真、映像、発想・構想、形・色・光、色の7項目を35ページでまとめられ、資料集として扱えるようになっている。</p> <p>○美術1の関東、美術2・3の巻頭と巻末に谷川俊太郎の「うつくしい！」の詩が掲載され、各学年の発達段階に応じた指導の目標に則した内容になっている。</p>	<p>○「絵や彫刻などに関する内容」と「デザインや工芸に関する内容」のページ数に2倍の差があり内容の偏りがある。</p>
表記・表現	<p>○各題材ごとに1か所以上の二次元コードがあり、全国の生徒作品等にアクセスでき、紙面以上の参考作品を見ることができる。二次元コードには内容の説明が短く書かれておりアクセスしやすい。美術2・3のP94から95には16の技法などをサムネイルと簡単な解説、二次元コードでまとめたページがある。</p> <p>○キャラクターのイラストを使ったり、中学生が制作していく過程を紹介した「みんなの工夫」というページがあるなど、生徒にとって親しみやすい表記になっている。またP50～53にあるように「ハイキュー!!」や「僕のヒーローアカデミア」、「よつばと!」、「のだめカンタービレ」、「ひつじのショーン」、「サマーウォーズ」等の表現の違いに触れ、興味関心を引き出している。</p> <p>○鑑賞に関するエリアと表現に関するエリアが線で区切られており、鑑賞から表現、表現から鑑賞へ、授業の流れに沿ったレイアウトになっている。</p>	<p>○美術1のP32～33にあるように図版がランダムに配置され余白が少なく紙面が雑多な印象である。</p>
使用上の便宜	<p>○大きさは297×231mmの変形サイズ。重量は3冊（資料1含む）で837グラムで、3社の中で最も重い。美術1は69ページ、美術1資料は35ページ、美術2・3は107ページ、合計211ページである。</p> <p>○折り込みページが美術1は2か所、美術2・3は3か所ある。また、美術2・3のP27からP42の日本の絵画の特集ページでは、和紙のような紙質を使用しているため、本物の作品を想像させる仕様になっており、学習指導要領の「伝統や文化のよさや美しさを感じ取り愛情を深める」ことにつながる。</p> <p>○美術2・3のP98からP100では年表を折り込みで製本しているため、一目で日本、朝鮮、中国、世界の美術史の流れを把握することができる。</p>	<p>○別冊の資料が教科書とサイズが異なり管理しにくい。</p>

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目【 美 術 】

発行者【 日本文教出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○各題材名の横に「まなびの目標」が3項目示されており、評価とのつながりが分かりやすい。</p> <p>○鑑賞の視点を示す「鑑賞の入り口」が書かれており、参考作品の横に見かたのヒントとなる「造形的な視点」が吹き出しで表記されている。学習指導要領の「自分の思いを語り合ったり、自分の価値意識をもって批評し合ったりするなど、鑑賞の指導を重視する」という趣旨に適している。</p> <p>○発想・構想の手だてや技法を示す「表現のヒント」が線で囲って表記されていたり、アイディアスケッチや考え方、「作者の言葉」が短くまとめていたりすることで、生徒が挑戦したいと思える内容になっている。</p> <p>○ページ下部には「道徳科との関連」が示されていたり、各学年で他教科との関連を示す教材を取り扱っていたりと、カリキュラムマネジメントの推進を図ることができる。また、美術2・3下のP46にあるように「内容と関連するSDGsのゴール」が示されており、関連付けて学べるように配慮されている。</p>	<p>○SDGsとの関連を示しているが、3冊で7回と少ない。</p>
構 成 ・ 分量	<p>○美術1、美術2・3上、美術2・3下でそれぞれ「絵や彫刻などに関する内容」が26ページ（題材数10）、23ページ（題材数9）、27ページ（題材数9）、合計76ページ（題材数28）扱われている。「デザインや工芸に関する内容」は20ページ（題材数8）、18ページ（題材数8）、12ページ（題材数6）、合計50ページ（題材数22）扱われている。その内、鑑賞をする活動を主にした題材は14ページ（題材数5）、13ページ（題材数4）、14ページ（題材数5）であり、合計41ページ（題材数14）である。</p> <p>○「学びを支える資料」は19ページ、15ページ、14ページ、合計48ページ分扱っている。資料集に代わる情報が掲載されている。</p> <p>○巻頭は「美術との出会い」「学びの実感と深まり」「学びの探求と未来」と各学年の発達段階に応じた指導の目標に則した学びの方向性が掲載されている。</p>	<p>○題材数が50で、3社の中で一番多いが、1つの題材の参考作品や情報が少ない。</p>
表 記 ・ 表現	<p>○全題材の主文の横に導入動画「学びのはじめに」の二次元コードがある。その他に「資料を見よう」「動画を見よう」の二次元コードが表記されている単元もある。また、ICTの活用方法を提案する記述、アイコンの表記がある。</p> <p>○連載中の漫画やアニメの作品を掲載し、漫画の表現方法から臨場感等の伝え方を学ばせる工夫がある。（美術2・3下P14「弱虫ペダル」「ブルーピリオド」、P15「アンカル」、「復刻版AKIRA」、「のらくろ軍曹」、「鉄腕アトム」、P55「ハイキュー!!」「宇宙兄弟」「ONE PIECE」「BLUE GIANT」等が扱われている。）</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントを使用しており、表記の方法や色数、書体、余白に統一感があり図版、文字共に見やすい。</p>	<p>○「学びを支える資料」は情報量が多く、図版が小さく、字が多い。</p>
使用上の便宜	<p>○大きさは297×231mmの変形サイズ。重量は3冊で790グラムである。</p> <p>○美術1は75ページ、美術2・3上は65ページ、美術2・3下は61ページで、合計201ページであり、学年ごとに1冊ずつ使用できるようになっており、1冊の厚みは3mmと持ち運びしやすい。</p> <p>○折り込みページが美術1は3か所、美術2・3上は2か所、美術2・3下は2か所ある。美術1のP24からP29では風神雷神図屏風と唐獅子図屏風を他よりも厚い紙に印刷し、屏風のように折り目をつけて見る事ができるようにして屏風の鑑賞方法を試す事ができるようにしている。</p>	<p>○第1学年で色彩の基本・仕組みを学習した際に、美術2・3上に載っている日本の伝統色や色彩の特徴の内容に触れる事ができない。</p>

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書
中 学 校 【 保健体育 】

調査委員長 山口 敦

総 評

○東京書籍
・巻頭にSDGsやテクノロジーと健康に関する内容を示すなど、現代的な課題に対応しており、生徒の興味・関心を高めることができるようになっているまた全ての単元の終わりに、学習したことを、自分自身の生活に当てはめたり、さらに調べたりすることを促す「広げる」という項目がある。さらに、章末資料には学習したことを広げたり、深めたりする資料があり、詳しく調べたいことや日常生活に生かしていきたいことを考えさせる項目が設定されている。
・1単位時間が2ページから4ページで、「見つける」「課題の解決」「活用する」「広げる」という流れで構成されており、小見出し毎に必要な資料が記載されている。
・学習内容に対応した絵、図、表、グラフ、写真等が掲載され、書き込める箇所がある。また、クールとコールというキャラクターが親しみやすい言葉で解説をしている。二次元コードが第1学年で24個、第2学年で25個、第3学年で18個、巻頭に1個、巻末に16個掲載されている。
・第1学年から第3学年へ、保健分野、体育理論の順番で構成されている。各章が色分けされており、各章での導入ページが1ページで、記載がコンパクトにまとめられている。また、章末には資料が掲載されている。

○大日本図書
・教科書の巻頭には、著名人の健康についてのインタビューがあり、生徒の興味・関心を高めるとともに、キャリア教育につなげることができる。また、各章の始めに「小学校で学習したこと」「高校で学習すること」が示されており、繋がりを確認して学習を進めることができる。さらに「やってみよう」（例：P17）という項目では、資料の内容を読み解くとともに、「話し合ってみよう」（例P9）という項目では、話し合う構成になっており、「読み解く力」を意識した授業の展開が期待できる内容である。
・1単位時間が2ページから4ページで、「学習のねらい」「つかもう」「いろいろな活動を通して課題を解決しよう」「活用して深めよう」「まとめよう」「毎日の生活に活かそう」という流れで一単位時間が示されており、「ミニ知識」として補足的な内容が示されている。
・見開きの左ページに本文が記載され、資料等の図やグラフ、イメージしやすい写真やイラストが右ページに掲載されている。また、二次元コードが第1学年で4個、第2学年で18個、第3学年で6個、巻末に1個掲載されている。
・第1学年から第3学年へ、体育理論、保健分野の順番で構成されている。各章末には、資料と、学習したことを活用するための「学びを生かそう」という項目が示されている。また、重要語句がまとめられている。

○大修館書店
・章のとびらで、「小学校で学習したこと」「この章で学習すること」「高校で学習すること」が示されており、小・中・高の関連を図って、系統性のある指導ができる。また、全単元で「きょうの学習」と「キーワード」を確認し、本文と資料から知識を身に付け、関連する資料を見て理解を深めていくという展開になっている。さらに、「コラム」や「事例」の資料を読み、理解を深める項目がある。
・1単位時間が2ページで、「つかむ」「身に付ける・考える」「まとめる・振り返る」という流れで構成されている。
・「課題をつかむ」や「資料」「学習のまとめ」等で、生徒の身近な話題や会話形式が採用されており、発達段階に応じた表記、表現である。また、イラストで描かれた人物が親しみやすい言葉で解説や質問を投げかけている。二次元コードが第1学年で39個、第2学年で49個、第3学年で35個、巻頭に4個掲載されている。
・第1学年から第3学年へ、体育理論、保健分野の順番で構成されている。章末に「章のまとめ」が用意されており、各章の学習を振り返ることができるようになっている。「性的マイノリティ」などの発展的な内容は「特集資料」として示されている。（例：P43）

○Gakken
・全単元で本時の「学習の課題」を確認し、本文と資料から基礎・基本となる知識について学習する展開となっている。また、一単位時間の終末に「学びを生かす」が設定されており、生徒が、見方・考え方を働かせて健康に関する問題について考え、話し合うことで、思考力、判断力、表現力等を育むことができるようになっている。
・1単位時間が2ページから4ページで、「課題の発見」「課題の解決」「学びの活用」という流れで構成されている。各項目の始めのページに「ウォームアップ」が示されており、自己の課題を発見しやすくなっている。また、「アンガーマネジメント」など、学習内容に関連した発展的な知識がページ下部に「情報サブリ」というマークのある場所に示されている。（例：P67）
・ウィズというキャラクターが親しみやすい言葉で解説をしているとともに、キーワードで重要語句がチェックできるようになっている。さらに、単元毎に自己評価を行える「とりくメーカー」が準備されている。二次元コードが第1学年で28個、第2学年で31個、第3学年で25個、巻頭や巻末に5個掲載されている。
・第1学年から第3学年へ、体育理論、保健分野の順番で構成されている。巻頭には、課題学習の整理の仕方（ノートのとめ方）が示されている。

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 保健体育 】

発行者 【 東京書籍 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○毎時間の学習課題が明示されているとともに、本文の文章で示された内容と関連する資料が多数掲載されたりすることで、知識が定着しやすくなっている。（例：P16から17）</p> <p>○学習したことを、自分の生活に当てはめて考えたり、更に調べたりすることを促す「広げる」という項目があり、思考力、判断力、表現力等を育むことができるようになっている。（例：P17）</p> <p>○巻頭にSDGsやテクノロジーと健康に関する内容を示すなど、現代的な課題に対応しており、生徒の興味・関心を高め、主体的に学習に取り組む内容となっている。</p> <p>○学習課題をつかむ場面、自力で解決する場面、仲間と協力して解決する場面が想定された授業展開となっているなど、板橋区授業スタンダードを意識して学習に取り組むことができるようになっている。</p>	<p>○知識の定着を図るための章末問題が教科書内に設定されていない。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○一単位時間が2ページから4ページで構成されており、情報量が適切である。</p> <p>○「見つける」「課題の解決」「活用する」「広げる」という流れで一単位時間が構成されている。</p> <p>○実習を伴う学習については、巻末に「スキルブック」としてまとめて記載されている。</p>	<p>○「まとめる・振り返る」などの学習過程が教科書上に設定されていない。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○生徒の発達段階を考慮したグラフが採用され、資料に対する詳しい解説も必要に応じて表記されている。（例P29スキヤモンの発育曲線）</p> <p>○学習内容に対応した絵、図、表、グラフ、写真等が複数準備されているとともに、書き込める箇所がある（例P61、P69）。また、クールとコールというキャラクターが親しみやすい言葉で解説をしている。ページ内にあるキーワードで重要語句がチェックできるようになっている。</p> <p>○二次元コードが第1学年で24個、第2学年で25個、第3学年で18個掲載されている。巻頭に1個、巻末に16個掲載されている。</p>	<p>○P32「生殖機能の成熟」の「見つける」の欄に男女の裸のイラストが性器も含め記載されており、発達段階によっては抵抗感を感じる記載となっている。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○各学年ともに、「保健」「体育理論」の順番で色分けして示されており、各章末に資料が掲載されている。</p> <p>○教科書の巻頭で教科書の使い方や学習方法が6ページで示されており、予習や復習等、自己学習ができる仕様になっている。</p> <p>○章ごとに色が統一されており、一単位ごとに同系色の濃淡で表現されている。ユニバーサルフォントが使用されている。</p>	<p>○資料の出典が巻末に一覧で記載されているため、確認しづらい。</p>

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 保健体育 】

発行者 【 大日本図書 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○毎時間の学習のねらいが明示されているとともに、各章のまとめとして、重要語句の解説が記載しており、知識が定着しやすい。(例P53)</p> <p>○一単位時間の中で、「つかもう」という項目が設定されており、生徒が自らの生活を振り返ったり、考えたり、話し合うことで、思考力、判断力、表現力を育むことができるようになっている。(例:P38)</p> <p>○教科書の巻頭には、著名人の健康についてのインタビューがあり、生徒の興味・関心を高め、主体的に学習に取り組むことができる内容である。</p> <p>○「やってみよう」(例:P17)という項目では、資料の内容を読み解くとともに、「話し合ってみよう」(例P9)という項目では、話し合う構成になっており、「読み解く力」を意識した授業の展開が期待できる内容である。</p>	<p>○現代的な課題である性の多様性についての記載はあるが、トピック的な扱いであり、情報量が不足している。</p>
構 成 ・ 分量	<p>○一単位時間が2ページから4ページで構成されており、情報量が適切である。</p> <p>○巻頭に、「学習のねらい」「つかもう」「いろいろな活動を通して課題を解決しよう」「活用して深めよう」「まとめよう」「毎日の生活に活かそう」という流れで一単位時間が示されている。</p> <p>○各ページの下に「ミニ知識」として補足的な内容が示されている。熱中症の予防と応急手当など、発展的な内容は、「発展」として示されている。(例:P61)</p>	<p>○P92～95「交通事故の要因と傷害の防止」では、本文の他に資料が11種類掲載されるなど、情報量が過多である。</p>
表 記 ・ 表現	<p>○スポーツ障害など、生徒の発達段階や興味・関心に応じた情報が各單元ごとに「トピックス」としての掲載されている。</p> <p>○本文について、基本的に見開きの左側のページに表記され、右側に資料が掲載されている。</p> <p>○二次元コードが第1学年で4個、第2学年で18個、第3学年で6個、巻末に1個掲載されている。</p>	<p>○各ページの小見出しが数字ではなく◎で表記されているため、教師が指示を出したり、生徒同士で話し合ったりしづらい。</p>
使用上の便宜	<p>○各ページに「リンク」の表示があり、他単元の内容や関連教科などとの繋がりが分かりやすい。(P34)</p> <p>○教科書の巻頭で教科書の使い方や保健体育の学び方が4ページにわたり示されており、自己で学習を調整しながら進められる使用になっている。</p> <p>○各単元の項目(例「つかもう」、「活用して深めよう」、「資料」)の位置、字体、色等が統一されている。ユニバーサルフォントが使用されている。</p>	<p>○生徒が記入しながら知識等を身に付けるためのページが構成されていない。</p>

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 保健体育 】

発行者 【 大修館書店 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○全単元で、めあてとなる「きょうの学習」と本時で学ぶ重要語句「キーワード」が示されており、本文と資料から知識を身に付けるとともに、「コラム」等の資料を読んで知識を広げられるようになっている。</p> <p>○一単位時間の終末には「学習のまとめ」が示されており、健康や運動に関する学習課題について考えたり、調べたり、話し合ったりする活動ができるようになっており、思考力、判断力、表現力を育むことができるようになっている。</p> <p>○教科書の巻頭にある口絵は、SDGsや共生社会の実現等、現代的な課題についての記載があり、興味・関心を高めるとともに、主体的に学習に取り組むことができる内容となっている。</p> <p>○各章のとびらのページでは、小学校、中学校、高校の学習内容が示されており、途切れのない学習が展開できるようになっている。小中一貫教育に力を入れている本区の特徴と合致している。</p>	<p>○「きょうの学習」と「学習のまとめ」の内容が合致していない。</p>
構成・分量	<p>○一単位時間が2ページで構成されており、情報量が絞られている。</p> <p>○「つかむ」「身につける・考える」「まとめる・振り返る」という流れで一単位時間が構成されている。</p> <p>○章末に「章のまとめ」が用意されており、各章の学習を振り返ることができるようになっている。「性的マイノリティ」などの発展的な内容は「特集資料」として示されている。(例:P43)</p>	<p>○「身につける・考える」の学習過程にあたる部分がどこであるかの記載がない。</p>
表記・表現	<p>○「課題をつかむ」「資料」「学習のまとめ」等の各項目で生徒の身近な話題や会話の形式が採用されるなど(例:P32)、生徒の発達段階に応じた表記・表現がされている。</p> <p>○文章と同程度の絵、図、表、グラフ、写真等が準備されている。また、イラストで描かれた人物が親しみやすい言葉遣いで解説や質問を投げかけている。(例:P56、P69) また、ページ内にあるキーワードで重要語句がチェックできるようになっている。</p> <p>○二次元コードが第1学年で39個、第2学年で49個、第3学年で35個、巻頭に4個掲載されている。</p>	<p>○発展的な内容である「特集資料」(例:P96)では、多くの資料を掲載しているため、紙面の構成上小さな文字となっているものがある。</p>
使用上の便宜	<p>○巻末に「用語解説」が示されており、用語の意味を確認しながら学ぶことができるようになっている。</p> <p>○巻頭で教科書の使い方や保健体育の学び方が4ページにわたり示されており、デジタル教材を活用しながら進められる使用になっている。</p> <p>○字の大きさ・色分け・重要語句の太字等で学習内容が見やすく工夫されている。ユニバーサルフォントが使用されている。</p>	<p>○資料の出典が巻末に一覧で記載されているため、確認しづらい。</p>

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 保健体育 】

発行者 【 Gakken 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○全単元で本時の「学習の課題」を確認し、本文と資料から基礎・基本となる知識について学習する展開となっている。キーワードが冒頭に表記されており、知識が定着しやすくなっている。</p> <p>○一単位時間の終末に「学びを生かす」が設定されており、生徒が、見方・考え方を働かせて健康に関する問題について考え、話し合うことで、思考力、判断力、表現力等を育むことができるようになっている。</p> <p>○教科書巻頭には、「データで見る運動、食事、休養、睡眠」が示され、保健体育への興味関心を高める工夫がされており、主体的に学習に取り組む態度を育む内容となっている。</p> <p>○巻末に健康と社会の関わりを学ぶ「保健体育の学習の終わりに」が設定されており、キャリア教育につながるようになっている。</p>	<p>○P125に示されているAEDを用いた手当について、「汗や水分をふき取る」等の情報量が不足している。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○一単位時間が2ページから4ページで構成されており、情報量が適切である。</p> <p>○「課題の発見」「課題の解決」「学びの活用」という流れで一単位時間が構成されている。</p> <p>○各項目の始めのページに「ウォームアップ」が示されており、自己の課題を発見しやすくなっている。また、「アンガーマネジメント」など、学習内容に関連した発展的な知識がページ下部に「情報サブリ」というマークのある場所に示されている。（例：P67）</p>	<p>○P190～P191に示されている「キーワードで見る保健体育の学習内容」は、具体的な活用方法の記載が不足している。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○課題の発見のための「ウォームアップ」、課題の解決のための「エクササイズ」等で、発達段階に応じたイラストや写真が掲載されており、自己の生活場면을想起しやすくなっている。</p> <p>○文章と同量程度の絵、図、表、グラフ、写真等が掲載されている。また、ウィズ（With）というキャラクターが親しみやすい言葉で学習内容を解説をしている。单元ごとに自己評価を行える「とりくメーカー」が準備されている。</p> <p>○二次元コードが第1学年で28個、第2学年で31個、第3学年で25個、巻頭や巻末に5個掲載されている。ページ内にあるキーワードで重要語句がチェックできるようになっている。</p>	<p>○例えば、P32～33「食生活と健康」では、本文の他に資料が6種類掲載されるなど、全体的に情報量が過多である。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○課題学習の整理の仕方（ノートのとめ方）が示されている。</p> <p>○教科書の巻頭で「教科書の使い方」が1ページ、「さまざまな学習方法」が2ページ示されており、自己で学習の仕方を決めて進められる使用になっている。</p> <p>○白を基調にデザインされている。重要語句は太字で他の文字よりも大きく表記されている。ユニバーサルフォントが使用されている。</p>	<p>○生徒が自らの考えや経験を記載する欄の有無について、单元によってばらつきがある。</p>

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

中学校 【 技術・家庭 技術分野 】

調査委員長

武田 雅之

総 評

○東京書籍

- ・切り抜きの「技術のめがね」「最適化の窓」が掲載され、生徒が興味関心をもって「技術の見方・考え方」を捉えることができるようになっている。（P 18～19）
- ・各編の2章にある「問題解決例」のページでは、生徒が主体的に学びを進められるよう、サステナブル、well-beingなど、多彩なテーマを取り上げている。（例：P 76、P 184）
- ・「環境」「消費者」「伝統文化」「防災」「情報モラル」「SDGs」といった現代的な諸課題を意識しながら学習が進められるように、マークが示されている。（例：P 129、130）
- ・紙面の下部に「技術の工夫」という項目があり、技術に込められた問題解決の工夫が見付けられる豆知識が記載されている。（例：P 116）
- ・デジタルコンテンツは353個あり、「D」のマークでデジタルコンテンツを利用できる箇所が示されている。
- ・本文の位置を左揃えにすることで、生徒の目線が上から下へと自然に流れるように、配慮されている。

○教育図書

- ・本文ページ、問題解決ページ、実習ページの3つに分かれており、各編の2章の1の問題解決ページでは、「問題発見」、「設計」、「製作」、「ふり返し」という問題解決の流れが、漫画で分かりやすく説明されている。
- ・それぞれの章の最後にまとめのページがあり、領域のまとめには空欄補充の問題がある。（例：P 69）
- ・中学生に身近な製品にまつわる、職人や生産者の思いを「スゴ技・技ビト」として紹介しており、工夫・創造することの大切さや製品を作り出す責任や倫理観などを伝えている。（例：P 67）
- ・二次元コードは、教科書内と別冊内に合計で83こあり、ページ下部に二次元コードで示されている。
- ・学習を安全に進めるためにガイダンスで利用できる資料があり、注意点を細かくチェック項目で示すことで、生徒と一緒に確認しながら、指導できる。（P 12～13）
- ・別冊「スキルアシスト」には、技能を写真と比べて自己評価できる「技能チェック」が設定されている。（別冊P 4）

○開隆堂出版

- ・各内容の学習の流れが「基礎・基本」「問題解決」「技術と私たちの未来」という構成で共通しており、各段階で見方・考え方をはたらかせながら学べるようになっている。（例：P 27）
- ・紙面の下部に、「豆知識」という項目があり、学習内容に関連する興味深い話題が掲載されている。
- ・各小項目は、「学習の目標」「学習課題」「内容」「CHECK」の4段構成になっており、流れに沿って進めることで技術の資質・能力を育成することができるようになっている。
- ・400以上のデジタルコンテンツが用意され、ページの上部に二次元コードで示されている。
- ・「材料と加工の技術」の実習例には、製作の手順や設計や作業のポイントの記載があり、進め方が分かりやすい。（P 62）
- ・巻末索引の項目数が多く、検索性が高い。

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 技 術 】

発行者 【 東京書籍 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○切り抜きの「技術のめがね」「最適化の窓」が掲載され、生徒が興味関心をもって「技術の見方・考え方」を捉えることができるようになっている。（P 1 8～1 9）</p> <p>○各編の2章にある「問題解決例」のページでは、生徒が主体的に学びを進められるよう、サステナブル、well-beingなど、多彩なテーマを取り上げている。（例：P 7 6、P 1 8 4）</p> <p>○基本ページには、重要語句が「キーワード」としてまとめられている。</p> <p>○「環境」「消費者」「伝統文化」「防災」「情報モラル」「SDGs」といった現代的な諸課題を意識しながら学習が進められるように、マークが示されている。（例：P 1 2 9、1 3 0）</p>	<p>○教科書の「始めの活動」（レッツスタート）は、学校事情や授業者によって導入の仕方が異なるため、活用できない場合もある。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○学習の流れが、目標、始めの活動、学習課題、本文・図版、活動、まとめの活動となっており、技術による問題解決に主体的に取り組むことができるような構成になっている。</p> <p>○各領域の終わりには、「未来のTechnology」というコーナーがあり、これからの技術について考える内容になっている。（例：P 8 3）</p> <p>○紙面の下部に「技術の工夫」という項目があり、技術に込められた問題解決の工夫が見付けられる豆知識が記載されている。（例：P 1 1 6）</p>	<p>○P 2 0 0、2 0 1の情報の技術の例を示す機器の実物の写真が少ない。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○デジタルコンテンツは3 5 3こあり、「D」のマークでデジタルコンテンツを利用できる箇所が示されている。</p> <p>○「ハードウェアとソフトウェアの例」や「多要素認証の要素と例」など、抽象化されたイラストが多く、シンプルで分かりやすい。（P 2 0 3、P 2 1 0）</p> <p>○基礎的な用語のうち、重要語句はゴシック体太文字で表記されている。（例：P 1 1 8）</p>	<p>○どの記述がデジタルコンテンツにリンクしているか分かりにくい。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○巻頭の技術分野のガイダンスでは、これから取り組む問題解決の際に検討すべき内容をまとめている。（P 1 2～2 5）</p> <p>○本文の位置を左揃えにすることで、生徒の視線が上から下へと自然に流れるように、配慮されている。</p> <p>○再生紙・植物性インキを使用している。</p>	<p>○教科書サイズはA 4 変形判であり、他教科の教科書とそろわない。</p>

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 技 術 】

発行者 【 教育図書 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○本文ページ、問題解決ページ、実習ページの3つに分かれており、各編の2章の1の問題解決ページでは、「問題発見」、「設計」、「製作」、「ふり返り」という問題解決の流れが、漫画で分かりやすく説明されている。</p> <p>○本文ページには、「めあて」や「ふり返る」が示されるとともに、「キーワード」として学習に関連する語句が示されている。（例：P 1 8）</p> <p>○組み立て、はんだづけ、回路計の使い方など基礎技能の学習については別冊にまとめている。</p> <p>○それぞれの章の最後にまとめのページがあり、領域のまとめには空欄補充の問題がある。（例：P 6 9）</p>	<p>○各ページ内に学習内容に関連した豆知識などのトピックがなく、情報量が少ない。</p>
構 成 ・ 分量	<p>○「見つける」→「学ぶ」→「ふり返る」という学習の流れを3ステップで明確にすることで、生徒が本文を読み進めやすく、技術の見方・考え方を養うことができるようになっている。</p> <p>○VRやMR、注文・精算の自動化システムなどの生活や社会で活用されている最新技術に関する説明がある。（P 1 7 4、1 7 5）</p> <p>○中学生に身近な製品にまつわる、職人や生産者の思いを「スゴ技・技ビト」として紹介しており、工夫・創造することの大切さや製品を作り出す責任や倫理観などを伝えている。（例：P 6 7）</p>	<p>○題材例に関するページ数が少なく、情報量が限られている。（P 6 2）</p>
表 記 ・ 表現	<p>○二次元コードは、教科書内と別冊内に合計で83こあり、ページ下部に二次元コードで示されている。</p> <p>○作業手順については、手元の拡大写真とともに細かく分けて説明がある。（P 5 6）</p> <p>○学習を安全に進めるためにガイダンスで利用できる資料があり、注意点を細かくチェック項目で示すことで、生徒と一緒に確認しながら、指導できる。（P 1 2～1 3）</p>	<p>○フォントや文字のサイズ、色の統一感がなく、見づらい。</p>
使用上の便宜	<p>○巻頭の技術のガイダンスでは、身近な技術を多数取り上げ、中学校で初めて学ぶ技術への興味・関心を高められるようにまとめている。（P 4～1 3）</p> <p>○別冊「スキルアシスト」には、技能を写真と比べて自己評価できる「技能チェック」が設定されている。（別冊P 4）</p> <p>○再生紙・植物インキを使用している。</p>	<p>○教科書サイズはA4変形判であり、他教科の教科書とそろわない。</p>

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 技 術 】

発行者 【 開隆堂出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○各内容の学習の流れが「基礎・基本」「問題解決」「技術と私たちの未来」という構成で共通しており、各段階で見方・考え方ははたかせながら学べるようになっている。（例：P 2 7）</p> <p>○「問題解決の評価・改善」のページでは、成果の発表や自己評価、相互評価を行うなどの言語活動を充実させ、言語能力を養えるようになっている。（例：P 2 7 6、2 7 7）</p> <p>○製作実習例が6事例取りあげられ、技術による問題解決の具体例が掲載されている。（P 6 2～7 3）</p> <p>○紙面の下部に、「豆知識」という項目があり、学習内容に関連する興味深い話題が掲載されている。</p>	<p>○ページ内の重要語句を示す「キーワード」が示されていない。</p>
構 成・分 量	<p>○各小項目は、「学習の目標」「学習課題」「内容」「CHECK」の4段構成になっており、流れに沿って進めることで技術の資質・能力を育成することができるようになっている。</p> <p>○各小項目では、「学習の目標」「学習課題」の記載があり、学習活動に見通しをもつことができる。</p> <p>○巻頭に、情報機器を扱う際の注意点やデジタル・シティズンシップに関連する資料があり、生徒が情報に適切に関われるよう配慮している。（P 2 2～2 3）</p>	<p>○学習のまとめ問題に【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に取り組む態度】の観点の分類がない。</p>
表 記・表 現	<p>○400以上のデジタルコンテンツが用意され、ページの上部に二次元コードで示されている。</p> <p>○「材料と加工の技術」の実習例には、製作の手順や設計や作業のポイントの記載があり、進め方が分かりやすい。（P 6 2）</p> <p>○データセンタやアクセスポイント、ハブ、ルータ、USBの端子、各センサなどの実際の写真が掲載されていて、生活や社会とのつながりを感じやすい。（P 2 1 7、2 2 4、2 2 5、2 6 5）</p>	<p>○領域ごとの色分けはされているが、爪見出しがない。</p>
使用上の便宜	<p>○巻頭のガイダンスでは、技術分野の学習を意識付け、興味・関心が引き出せるようにまとめられている。（P 6～1 7）</p> <p>○巻末索引の項目数が多く、検索性が高い。</p> <p>○環境に配慮した用紙やインキを使用している。</p>	<p>○教科書サイズはA4変形判であり、他教科の教科書とそろわない。</p>

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

中学校 【技術・家庭 家庭分野】

調査委員長

武田 雅之

総 評

○東京書籍

- ・各編（1編を除く）の導入ページには問題発見・問題設定をキャラクターの台詞により提示し、「知りたい」「できるようになりたい」の項目にチェックを入れることにより課題が明確になる。（例：P28、29）
- ・1編の「未来につながる家庭分野」から最後の「生活の課題と実践」まで、「自立から共生」のストーリーとなるように配列されている。（P1）
- ・「1編 未来につながる家庭分野」の「家庭分野のガイダンス」で、中学校と小学校の学習内容を見開きで提示し、小学校の学習の上に中学校の学習が積み重なっていることが分かるように工夫されている。（P14～15）
- ・インターネットを活用して効果的に学習を進めるためデジタルコンテンツが8種類、373個あり、「D」のマークでデジタルコンテンツを利用できる箇所が示されている。
- ・生徒の巧緻性に配慮し、作業する手や姿勢の写真等を豊富に掲載しており、包丁の持ち方においては、左利きの例を取り上げている。（P68）
- ・奇数ページの右側に爪見出しが付いていて教科書が開きやすく、また、どこを学習しているかわかりやすくなっている。

○教育図書

- ・「話し合ってみよう」「調べてみよう」など、実践的・体験的な活動を通して学ぶことができるワークが多数掲載され、主体的・対話的で深い学びが実現できるよう工夫されている。（例：P20、21）
- ・学習のめあてがはっきり示されており、「ふり返る」でめあてとの内容が身に付いたかチェックできるようになっている。（例：P38、39）
- ・小学校と同様（学習指導要領の記載順）のA「家族・家庭生活」、B「衣食住の生活」、C「消費生活・環境」の順番で構成され、学びをつなぎ、関連させて学習できるようになっている。
- ・教科書の二次元コードを読み込むと学習に関わる参考動画や資料、全136のデジタルコンテンツを見ることができる。
- ・「いろいろな切り方」では切った野菜が実寸大で載っておりイメージしやすくなっている。（P106、107）
- ・奇数ページの右側に爪見出しが付いていて教科書が開きやすく、また、どこを学習しているかわかりやすくなっている。

○開隆堂出版

- ・内容の節ごとに「学習の目標」で始まり、「やってみよう」「考えてみよう」「調べてみよう」「話し合ってみよう」が適切に配置され、主体的・対話的・深い学びを実践できる。（例：P77）
- ・各領域の最後のページにある「学習のまとめ」では、問題数が多く、記入スペースも確保されていることで、学習したことを自分で確認し、表現することができる。（例：P86、87）
- ・小学校と同様（学習指導要領の記載順）のA「家族・家庭生活」、B「衣食住の生活」、C「消費生活・環境」の順番で構成され、ガイダンスと結びつけて学習しやすくなっている。
- ・200以上のデジタルコンテンツが用意され、ページ内に「二次元コード」マークを付してデジタルコンテンツの有無を明確にしている。
- ・食品の実寸大写真だけでなく、切ったあとの実寸大写真も載っているため、実習前のイメージ作りに活用しやすい。（P123）
- ・もくじに表示されている各単元の色が本編でも使用されているため、単元ごとのまとまりがわかりやすい。

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目【 家 庭 】

発行者【 東京書籍 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○各編（1編を除く）の導入ページには問題発見・問題設定をキャラクターの台詞により提示し、「知りたい」「できるようになりたい」の項目にチェックを入れることにより課題が明確になる。（例：P28、29）</p> <p>○各編（1編を除く）の導入ページで、「小学校家庭科で学んだこと」としてキーワードを挙げ、振り返りながら中学校の学習に入ることができるように工夫されている。（P28、29）</p> <p>○1編の「未来につながる家庭分野」から最後の「生活の課題と実践」まで、「自立から共生」のストーリーとなるように配列されている。（P1）</p> <p>○「考えてみよう」「やってみよう」「調べてみよう」などの活動を多く取り上げ、主体的に調べたり、仲間と協働して比較・検討したりするための発問を多く取り入れており、深い学びが実現できるように工夫している。（例：P50、P72）</p>	<p>○学習指導要領上では問題はないが、「食生活：実習の衛生と安全」に、魚の取り扱いについて明記されているが、「肉の調理」「魚の調理」のページには衛生的な取り扱いについて触れられていない。（例：P80、81）</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○学習の流れが、目標、始めの活動、学習課題、本文・図版、活動、まとめの活動となっており、主体的に課題を解決していけるような構成になっている。</p> <p>○「1編 未来につながる家庭分野」の「家庭分野のガイダンス」で、中学校と小学校の学習内容を見開きで提示し、小学校の学習の上に中学校の学習が積み重なっていることが分かるように工夫されている。（P14～15）</p> <p>○デジタルコンテンツの活用方法について詳しく紹介されている。（P4、5）</p>	<p>○学習指導要領のA家族・家庭生活、B衣食住の生活、C消費生活・環境の順序ではなく、B、C、Aの順序で構成されており、小学校の学習過程と異なる。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○インターネットを活用して効果的に学習を進めるためデジタルコンテンツが8種類、373個あり、「D」のマークでデジタルコンテンツを利用できる箇所が示されている。</p> <p>○キャラクターが随所に登場し、中学生の発達段階に応じた問いかけがなされている。（例：P204、205）</p> <p>○生徒の巧緻性に配慮し、作業する手や姿勢の写真等を豊富に掲載しており、包丁の持ち方においては、左利きの例を取り上げている。（P68）</p>	<p>○調理実習の主菜と組み合わせる料理の例では、主菜と比較し文字が細く、フォントも小さくなっている。（例：P90、91）</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○教科書サイズAB判（257mm×210mm）、全291ページで構成されている。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p> <p>○奇数ページの右側に爪見出しが付いていて教科書が開きやすく、また、どこを学習しているか分かりやすくなっている。</p>	<p>○「まとめよう」「生活に生かそう」の欄に直接書き込めるスペースがない。（例：P59）</p>

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目【 家 庭 】

発行者【 教育図書 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○学びを生かして課題を見付ける構成になっており、問題を発見し、課題を解決する活動例を多く取り上げている。(例：P 3 2～P 3 3)</p> <p>○「話し合ってみよう」「調べてみよう」など、実践的・体験的な活動を通して学ぶことができるワークが多数掲載され、主体的・対話的で深い学びが実現できるよう工夫されている。(例：P 2 0、2 1)</p> <p>○学習のめあてがはっきり示されており、「ふり返る」でめあてとの内容が身に付いたチェックできるようになっている。(例：P 3 8、3 9)</p> <p>○調理実習の各ページに、「どうしてこうなったのかな？」という失敗例が写真付きで載っており、失敗をイメージしやすくなっている。(例：P 1 2 5)</p>	<p>○各ページ内に学習内容に関連した豆知識などのトピックがなく、情報量が少ない。</p>
構 成・ 分 量	<p>○小学校と同様(学習指導要領の記載順)のA「家族・家庭生活」、B「衣食住の生活」、C「消費生活・環境」の順番で構成され、学びをつなぎ、関連させて学習できるようになっている。</p> <p>○「やってみよう」のページでは、「見つめる」や「見つめてみよう」のステップで問題や課題に気づき、「学ぶ」のステップで本文や資料から学びを深め、「ふり返る」のステップで自己評価をするなど、問題解決の過程を4つのステップで構成している。(例：P 5 8～6 1)</p> <p>○目次の中に「発展」マークが示され、どこに発展的内容について記載があるのか、明確になっている。</p>	<p>○「食生活：6つの基礎食品群と食品群別摂取量の目安」では、限られた紙面で写真と文字を用いて記載しているため、文字の量が多く、見づらい。(P 8 8～)</p>
表 記・ 表 現	<p>○教科書の二次元コードを読み込むと学習に関わる参考動画や資料、全136のデジタルコンテンツを見ることができる。</p> <p>○「包丁やまな板の使い方」では右利きの場合、左利きの場合のどちらも載せている。(P 1 0 5)</p> <p>○「いろいろな切り方」では切った野菜が実寸大で載っておりイメージしやすくなっている。(P 1 0 6、1 0 7)</p>	<p>○巻末にシールがあるが、活用が限られている。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○教科書サイズは265mm×204mm、全279ページ。</p> <p>○ユニバーサルデザインの考え方に基づいて編集されている。</p> <p>○奇数ページの右側に爪見出しが付いていて教科書が開きやすく、また、どこを学習しているか分かりやすくなっている。</p>	<p>○A、B、Cの領域ごとに色分けされているが、B衣食住のページは内容が多い割に全て同じ色なので分かりづらい。</p>

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目【 家 庭 】

発行者【 開隆堂出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○内容の節ごとに「学習の目標」で始まり、「やってみよう」「考えてみよう」「調べてみよう」「話し合ってみよう」が適切に配置され、主体的・対話的で深い学びを実践できる。（例：P 7 7）</p> <p>○各領域の最後のページにある「学習のまとめ」では、問題数が多く、記入スペースも確保されていることで、学習したことを自分で確認し、表現することができる。（例：P 8 6、8 7）</p> <p>○一緒に学んでいく中学生のキャラクターの発言が、テーマについて身近に考えやすくなるように工夫されている。（例：P 1 8 8）</p> <p>○観察・実験や消化吸収など、家庭科と理科をリンクさせて教科横断的な学習が取り組めるようになっている。（P 1 0 0～1 0 1、P 1 0 4～1 0 5）</p>	<p>○学習指導要領上では問題はないが、手洗い方法に関する記載や挿絵等が、紙面上にない。（P 1 1 8）</p>
構 成・ 分 量	<p>○小学校と同様（学習指導要領の記載順）のA「家族・家庭生活」、B「衣食住の生活」、C「消費生活・環境」の順番で構成され、ガイダンスと結び付けて学習しやすくなっている。</p> <p>○教科書内に記載されている「ガイドするマーク」が豊富で、学習のつながりや注意点などが分かりやすく表示されている。（P 3）</p> <p>○学習の目標と合わせて、身近なことから考えられる課題が卵のマークで示されている。（例：P 2 2）</p>	<p>○食品群別摂取量のめやすの食品例が少ない。（P 1 0 8～P 1 1 3）</p>
表 記・ 表 現	<p>○200以上のデジタルコンテンツが用意され、ページ内に「二次元コード」マークを付してデジタルコンテンツの有無を明確にしている。</p> <p>○調理実習例の掲載が豊富である。（P 1 2 8～1 6 9）</p> <p>○食品の実寸大写真だけでなく、切ったあとの実寸大写真も載っているため、実習前のイメージ作りに活用しやすい。（P 1 2 3）</p>	<p>○「食品の実物大の写真」は、食品が重なり合って見づらい。（P 1 1 1）</p>
使用上の 便 宜	<p>○教科書のサイズはA B判（2 5 7 mm×2 1 0 mm）、全3 1 2ページ。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p> <p>○目次に表示されている各単元の色が本編でも使用されているため、単元ごとのまとまりが分かりやすい。</p>	<p>○領域ごとに色分けはされているが、爪見出しがない。</p>

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書
中学校【英語】

調査委員長 溝口 千里

総 評

- 東京書籍
 - ・Unit (AtivityとUnit Activity)、Real Life English (リアルな場面で英語を使う活動)、Stage Activity (学習したことを使った発表や報告) で思考力、判断力、表現力を養うことができる。
 - ・Read & Thinkのコーナーでは、Round 1 で概要をつかみ、Round 2 で詳細をおさえ、Round 3 で題材をもとに考えたことを表現するというように、視点を変えて読解から言語活動へスモールステップでつなげる構成になっている。
 - ・New Words は「発信まで使えるようになりたい語」として太字表記、発音に注意する語に絵文字を追記、小学校で学んだ単語も別表記にするなどデザインや配置が統一されている。
 - ・A 4判サイズ、各学年400グラム。第1学年160ページ、第2、3学年151ページである。
- 開隆堂出版
 - ・各単元 (PROGRAM) 末のActionでは (第1学年P34等)、題材に関連した自己表現活動があり、思考力、判断力、表現力を無理なく育成することができる内容である。
 - ・「Scenes」では、新しい表現を2コマのマンガで示しており、単元で学ぶ事項について見通しをもつことができ、「英語早わかり」のページでそれに対応した解説が示されている。
 - ・巻末にWord Web (第1学年141等) と巻末資料 (第1学年P145等) があり、言語活動の際に参考になる単語や表現が掲載されていたり、第1学年と第2学年では、小学校で学んだ単語が、ページ下に記載されている (第2学年P9等)。
 - ・A 4判サイズで、第1学年、第2学年400グラム、第3学年のみ350グラム。第1学年170ページ、第2、3学年164ページ。全体の通常の単元構成が3年間を通して統一されている。
- 三省堂
 - ・各LessonではGoal Activityのページで読んだ内容を自分に結びつけて考えて発信したり、Projectでは事実や自分の考えを整理して話したり書いたりする活動があり、思考力、判断力、表現力を育むことにつながる。
 - ・Goal Activityでは目的・場面・状況が設定された題材が提示されており、WriteやSpeakの発信技能のコミュニケーション活動が設定されている。
 - ・文法について、イラストを多用して説明をしており、イメージしやすい工夫がされている (第2学年P96等)。
 - ・A 4判サイズで各学年400グラムで、第1学年132ページと資料51ページ、第2学年114ページと資料53ページ。第3学年112ページと資料55ページ。
- 教育出版
 - ・Projectという単元ではLessonで扱った題材を活かした場面設定がされており、思考力、判断力、表現力が育成できるよう対話的、問題解決活動が盛り込まれている。
 - ・第3学年の最後にはFurther Readingを4つ掲載し、発展的な学習をすることができる。
 - ・文字の大きさが小さく、日本語での説明が精選されており、紙面がすっきりしている。
 - ・縦B5判、横A4判サイズであり、各学年350グラム、他5社より軽量である。
- 光村図書出版
 - ・各学年帯教材となっている写真・絵を説明するStory Retelling、各Unitの終わりに配置されたGoalのページ、グループで協働できるYou Can Do Itでは、実社会に即した場面設定がされており、思考力、判断力、表現力を身に付けることができる。
 - ・Lessonの扉で目標、目的・場面・状況をつかむ発問があり、Partで学習を進め、Goalで目標を達成するため複数の活動を通して取り組むことができる。
 - ・第1学年のUnit 3までは英語の漫画となっている。Unit 4からゴシック体を使用した対話文形式、最後のLet's Readから活字体となる。
 - ・縦B5判、横A4判サイズで各学年400グラム。全学年175ページである。
- 新興出版社啓林館
 - ・Partに続くRead & Think (第3学年P58) →Think & Write (第3学年P61) やListen & Think (第3学年P70) →Think & Speak (第3学年P72) の流れで思考力・判断力、表現力を身に付ける内容になっている。
 - ・各PartではListen、Speak、Writeの活動がバランス良く配置されており、Think & Speakへとつながる。
 - ・落ち着いた色彩である。
 - ・第1、第2学年400グラム、第3学年350グラム。第1学年159ページ、第2学年163ページ、第3学年147ページである。

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 英 語 】

発行者 【 東京書籍 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○Unit（各ページのActivityとUnit Activity）、Real Life English（リアルな場面で英語を使う活動）、Stage Activity（学習したことを使った発表や報告）の3種類のコーナーで思考力、判断力、表現力を養うことができる。</p> <p>○単元の目標（GOAL）は、Unitのはじめに書かれており、Unit Activityの最後に振り返りができ、主体的に学習に取り組むことができる。</p> <p>○全学年でUnit 0としてコミュニケーションを図り、第1学年では小学校の学習を復習し、中学校の学習につなげている。</p> <p>○第1学年のUnit 8（P 9 1）、第2学年のLet's Read 3（P 1 0 3）、第3学年のUnit 2（P 1 9）で環境問題を扱っていたり、第2学年Social Studies（P 6 8）では、SDGsを取り扱っており、環境教育と関連付けて指導できる。</p>	<p>○Grammar for Communication（第2学年P18等）では、文の構造を色と形で分かりやすく示しているが、P 2 8では、「接続詞」について長文で説明がされている等、文の意味を理解できない生徒がいることが懸念される。</p>
構 成 ・ 分量	<p>○Read & Thinkのコーナーでは（第2学年P 1 2他）、Round 1で概要をつかみ、Round 2で詳細をおさえ、Round 3で題材をもとに考えたことを表現するというように、視点を変えて読解から言語活動へスモールステップでつなげる構成になっている。</p> <p>○新出の文法事項については、Grammar for Communicationに「使い方」「形」「使ってみよう」としてまとめられている。</p> <p>○第3学年では、リーディングの語数が段階的に増え、最高556 wordsの分量の文が掲載されている。</p>	<p>○第1学年では1学期の学習範囲で疑問詞を学習し、2学期の学習範囲で3人称単数現在形が配列されているため、動詞の形に関わる文法が一度に指導しにくい。</p>
表 記 ・ 表現	<p>○第1学年はUDフォントが使われ、第2学年から活字体が使われている。</p> <p>○New Wordsは「発信まで使えるようになりたい語」として太字表記、発音に注意する語に絵文字を追記、小学校で学んだ単語も別表記にするなどデザインや配置が統一されている。</p> <p>○二次元コードは、第1学年で80個、第2学年で82個、第3学年で77個が掲載されている。</p> <p>○巻末には、資料編として、読み物やWord List、表現のまとめ等が収録されている。</p>	<p>○第2学年、第3学年のUnitのタイトルは英語の問いかけ（Unit Question）になっており、教員による動機づけやめあての提示を工夫する必要がある。</p>
使用上の便宜	<p>○第1学年「学習の流れをイメージしよう」「学習の見通しを立てよう」（目次を兼ねたページ）、第2学年、第3学年では「教科書の構成と学習の流れ」「学習の見通しを立てよう」を見ると全体の構成を見渡すことができ、各Unitの活動目標や文法項目が確認できる。</p> <p>○サイズは教員が作成するプリントと同サイズA4判であり、各学年400グラム。第1学年160ページ、第2、3学年151ページである。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインの視点から配色され、色覚特性に適応するようデザインされており、再生紙、植物油インキを使用している。</p>	<p>○巻末にある帯活動のSmall Talk（第2学年P 1 4 5等）は、「話すこと」の学習に有効であるが、取り組み方法について、検討する必要がある。</p>

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目【 英 語 】

発行者【 開隆堂出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○各単元 (PROGRAM) 末のActionでは (第1学年P 3 4等)、題材に関連した自己表現活動があり、思考力、判断力、表現力を無理なく育成することができる内容である。</p> <p>○単元のめあてが「Scenes・Part 1, 2/Review・Action」に分かれて示され、PROGRAMごとに自己評価、振り返りができ、次の活動へ向かう主体性を養うことができる。</p> <p>○第1学年は、Get Readyとして小学校でできるようになったことを確認し、中学校の学習につなげている。</p> <p>○目次にSDGsマークを記載したり、第2学年のPROGRAM 5で職場体験 (P 6 5)、第3学年Reading 1では動物の命と環境問題 (P 4 8)について、PROGRAM 6では海洋ゴミを扱う (P 7 9)等、それぞれキャリア教育、環境教育につながる。</p>	<p>○文法の解説は、「英語早わかり」に、短い文で解説をしており分かりやすいが、各Partでは日本語での指示がほぼないため、難易度が高い。(第2学年P 5 5・P 6 0等)</p>
構 成・ 分 量	<p>○PROGRAM扉では、「GOALS」と「こんな表現ができる」の2つで各セクションの目標を示している。</p> <p>○「Scenes」では、新しい表現を2コマのマンガで示しており、単元で学ぶ事項について見通しをもつことができ、「英語早わかり」のページでそれに対応した解説が示されている。</p> <p>○Listen、Speak & Write等の課題を通して学習、「Turning in」(第3学年P20等)では、続くPartで扱う題材の予備知識の獲得ができ、「Part」～「Review and Retell」では、内容理解と振り返り、「Action」では、学んだ内容を使った自己表現活動ができる構成となっている。</p>	<p>○各Partでの学習に関するエクササイズ分量が少ない。</p>
表 記・ 表 現	<p>○英文はフォントを3種類使用。第1学年のPROGRAM 4からと、第2学年のPROGRAM 1の本文からフォントが変わり、段階的に活字体に近づく。</p> <p>○全学年でUDフォントが使用されており、フォントが小さくなくても、行間、色調などを工夫したり、コーナーによって字体を変えて見やすくしている。</p> <p>○二次元コードは、第1学年で73個、第2学年で71個、第3学年で68個が掲載されている。</p> <p>○巻末にWord Web (第1学年P 1 4 1等)と巻末資料 (第1学年P 1 4 5等)があり、言語活動の際に参考になる単語や表現が掲載されていたり、第1学年と第2学年では、小学校で学んだ単語が、ページ下に記載されている (第2学年P 9等)</p>	<p>○新出単語の発音記号はなく、巻末資料の「単語と熟語」を見る必要がある。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○全体の構成について、目次の次のページに記載があったり、各PROGRAMの内容ページ端に現在学習している位置がイラストで視覚的に示されたり、学習の見通しをもつ工夫がされている。</p> <p>○A4判で、第1学年400グラムで170ページ、第2学年400グラムで164ページ、第3学年のみ350グラムで164ページとなっている。</p> <p>○カラーユニバーサル視点から、色覚に配慮して見やすくなるよう配慮されている。</p>	<p>○巻末資料「small talk表現集」は折り込みとなっており、不便さがある。</p>

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 英 語 】

発行者 【 三省堂 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○各LessonではGoal Activityのページで読んだ内容を自分に結び付けて考えて発信したり、Projectでは事実や自分の考えを整理して話したり書いたりする活動があり、思考力、判断力、表現力を育むことにつながる。</p> <p>○将来の夢について会話するコーナー（第3学年Project 3、P 106）、環境問題についての題材（第2学年Lesson 4）、町のおすすめや地域の魅力を伝える動画をつくる活動（第2学年Lesson 5（P 65）など、環境教育、キャリア教育、郷土愛を育む内容となっている。</p> <p>○第1学年は「中学校で学ぶこと」からはじまり、Starterとして18ページにわたり、活動をしながらか基本的な事項の確認をしたり、Unit 1～4では、小学校での学びが継続できるよう4線やなぞり書きができたりするような表記になっている。</p> <p>○Goal Activityが示されており、単元を見通し、主体的に学習に取り組むことができる。</p>	<p>○単元のgoalが示されておらず、生徒自身で見通しをもって学習することが難しい。</p>
構成・分量	<p>○各LessonはPartとGoal Activityで構成され、Partで言語材料の習得とそれを使った言語活動を行う。</p> <p>○Goal Activityでは目的・場面・状況が設定された題材が提示されており、WriteやSpeakの発信技能のコミュニケーション活動が設定されている。</p> <p>○まとまった量の英文を読むコーナーとしてGlobal Activity、Reading Lessonで最高488語（第3学年P 108）の英文を読む教材が用意されている。</p>	<p>○ExerciseのListen とTalkの活動は、本時の話の内容とは異なっている。（第2学年のP 72ではListenで教科について取り扱っているのに対し、Talkでは浜辺に行くときに持っていくと良いものについて話す）</p>
表記・表現	<p>○文法について、イラストを多用して説明をしており、イメージしやすい工夫がされている（第2学年P 96等）</p> <p>○英文は、第2学年のLesson 1で活字体に切り替わり活字がさらに小さくなっており、題材によっては、UDフォントを使用していたりする（第3学年P 52等）。</p> <p>○二次元コードは、第1学年で94個、第2学年で77個、第3学年で75個が掲載されている。</p> <p>○資料は巻末にまとめられていて、第1学年でも不規則動詞変化表が記載されている。</p>	<p>○大切な表現を確認するcheckでは、日本語での解説の文字（第2学年P 16等）や巻末資料の文字（第2学年資料10等）が小さく、重要度が分かりづらかったり、読みづらさがあつたりする。</p>
使用上の便宜	<p>○巻頭の「もくじ」及び「しくみと学び方」のページで全体の構成が見通せる。</p> <p>○A4判。重さは3冊計1200グラム。各学年400グラム。第1学年は132ページと資料51ページ、第2学年は114ページと資料53ページ。第3学年は112ページと資料55ページ。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインに配慮されていたり、製本は堅牢で印刷は鮮明で見やすく、環境にやさしい用紙とインキが使用されている。</p>	<p>○目次では、Lessonと基本文がはなれて書かれており、学ぶ内容を見通すことが難しい。</p>

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 英 語 】

発行者 【 教育出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○Projectという単元ではLessonで扱った題材を活かした場面設定がされており、思考力、判断力、表現力が育成できるよう対話的、問題解決活動が盛り込まれている。</p> <p>○単元のゴールは「内容理解」と「活動」として記載され（第3学年P11等）、振り返りを行うことができ、見通しをもって主体的に学習に取り組むことができる。（第3学年P18等）</p> <p>○第1学年では、P4～P20に渡り、小学校の学習を振り返りつつアルファベットへ親しみ、中学校への学習につなげている。</p> <p>○目次には単元と関連するSDGsマークを示したり、第1年Lesson9ではSDGsやリサイクル、第2学年Lesson2でエネルギー、Lesson4では職場体験、第3学年Lesson2で自然保護を取扱い、環境教育、郷土愛、キャリア教育と関連している。</p>	<p>○Grammar（第2学年P10等）では、文の構造を色と形で分かりやすく示しているが、解説の文が長く、また、はなれているため、解説文を理解できない生徒がいることが懸念される。</p>
構 成 ・ 分量	<p>○Key Sentenceで提示された基本文をTool Kitのコーナーで練習し定着させるようになっている。</p> <p>○各Lesson扉で目標を提示し、Part1, 2では会話文、3はまとまった英文を学習、Taskで話す、書く活動を通じて自分の考えなどを発表し、Grammarでは基本文と文法の説明、Projectでペアやグループでの活動を行う流れになっている。</p> <p>○第3学年では、Lesson6及び7でディベートやディスカッションを扱い、実生活の場面に応じた課題が設定されており、社会的な問題に触れ自身の考えをまとめたり、表現したりでき、連続して扱うことで発展的な指導にもつなげることができる。</p>	<p>○第2学年で間接疑問文を扱っており、学習の積み上げを考慮すると、生徒が理解するのが難しい。</p>
表 記 ・ 表現	<p>○第1学年の巻頭は漫画形式、Lesson3から第2学年のLesson1でフォントが切り替わり、題材に応じてUDフォントと活字体を併用、徐々に活字体に近づいていくようになっている。</p> <p>○文字の大きさが小さく、日本語での説明が精選されており、紙面がすっきりしている。</p> <p>○二次元コードは、第1学年で69個、第2学年で70個、第3学年で59個が掲載されている。</p> <p>○有名人の話題を取り入れており（第1学年P72等）、生徒の興味をひくことができる。</p>	<p>○Key Sentences（第2学年P27等）やGrammarでは（第2学年P31等）、日本語での説明がない、または右端に小さい字で書かれているため、自学が難しい生徒への支援が必要である。</p>
使用上の便宜	<p>○巻頭に「この教科で英語を学ぶみなさんへ」「目次」があり、全体の構成を見渡すことができる。</p> <p>○縦B5判、横A4判サイズ。縦はB5判のノートと同じ高さで、横長で見渡せる。各学年350グラム、3冊合計1,050グラムで他5社より軽量。全学年176ページ。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインに配慮している。</p>	<p>○Think&Tryは、巻末資料に活動例が示されているが、本時の文法事項とは関連がないため、難易度が高い。</p>

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 英 語 】

発行者 【 光村図書出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○各学年帯教材となっている写真・絵を説明するStory Retelling、各Unitの終わりに配置されたGoalのページ、グループで協働できるYou Can Do Itでは、実社会に即した場面設定がされており、思考力、判断力、表現力を身に付けることができる。</p> <p>○単元のはじめに「Read」「Write」「Listen」「Speak」に分けてめあてを示しており、単元の終わりに振り返ることができるようになっており、主体的に学習に取り組むことができる。</p> <p>○第1学年のLet's Be Friendsとして19ページに渡りconversationを通じて復習をし、中学校の学習につなげている。</p> <p>○第1学年「町のおすすめの観光プランを考えよう」(P80)があり、第2学年You Can Do It (P46)では「わが町観光プラン」を勧める活動、地域の魅力を伝えるPRかるたづくり(P116)等、郷土愛の育成に適した内容がある。</p>	<p>○Active Grammar では、色や囲みの形を分けるなどして分かりやすく示しているが、、日本語での説明が少なく、仕組みを自分の言葉で説明させるなどの工夫が必要である。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○各Lessonの扉で目標、目的・場面・状況、ストーリーのおおまかな内容をつかむ発問があり、見通しをもって学習に取り組むことができる。</p> <p>○Partで学習を進め、Goalで目標を達成するための活動をReadとWrite、ReadとSpeakなどの複数の活動を通して取り組むことができる。</p> <p>○全学年で発展的な読み物Let's Read、Let's Read moreとしてまとまった量の英文を読む活動が設定されている。</p>	<p>○日常生活を話題にした題材が多いため、会話文を基本としており、Let's Readを以外には比較的説明文タイプの題材が少ない。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○第1学年ではUnit4からゴシック体を使用した対話文形式をとり、最後のLet's Readが活字体となっている。</p> <p>○文法構成では囲み、色だけではなく形で識別されていたり、4技能5領域の活動の色を変えて表記している。</p> <p>○二次元コードは、第1学年で78個、第2学年で80個、第3学年で69個が掲載されている。</p> <p>○巻末に「Let's Talk」や「英語の学び方ガイド」等、学び方に関する資料が豊富に掲載されている(第2学年P137等)</p>	<p>○不規則動詞の活用法での表記が○○○型や○△△型など、他とは違った表記である。他の学習参考書ではAAA型、ABB型が一般的で汎用性の面で使いにくい。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○表紙の裏には、「なぜ英語を学ぶのか」「どのように英語を学ぶのか」について、学年ごとに内容を変えて示してあったり、ICTを活用した学習方法を紹介するなどして、意欲を高める工夫がされている。</p> <p>○Story Retelling(第2学年P122等)では、学んだことを自分の言葉で再構築して話す「リテリング」や「思考の地図」として情報の整理の仕方が紹介されている。</p> <p>○縦B5判、横A4判サイズであり、各学年400グラムで全学年175ページである。。</p>	<p>○Let's Chat(第2学年P11下等)に問いがあるが、答えがないため、自学に使いづらい。</p>

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 英 語 】

発行者 【 新興出版社啓林館 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○Partに続くRead & Think (第3学年P 5 8) →Think & Write (第3学年P 6 1) やListen & Think (第3学年P 7 0) →Think & Speak (第3学年P 7 2) の流れで思考力・判断力、表現力を身に付ける内容になっている。</p> <p>○Unitの目標が「INPUT」と「OUTPUT」に分けて示しており、活動のページ(Think & Speakなど)にCheckとして4段階で自己評価を記入する欄があり、主体的に学習に取り組むことができる。</p> <p>○第1学年では、7ページに渡り、小学校での学習を振り返り、中学校での学習につなげている。</p> <p>○環境問題(第1学年Unit 1 0、第3学年Unit 5、Let's Listen 3)、職場体験・将来の夢(第2学年Unit 5-Think & Write)、地域のお祭り(第2学年Unit 2-Think & Speak)等の題材は環境教育、キャリア教育、郷土愛の育成に関連した教材である。</p>	<p>○文法の解説について説明文が長く、理解が難しい生徒がいることが懸念される(第2学年P 5 0等)。</p>
構 成・ 分 量	<p>○各PartではListen、Speak、Writeの活動がバランス良く配置されており、それに続くThnik & Speakへとつながる。</p> <p>○Read & Thinkのコーナーの構成が、Step 1～3の順に、内容の要点、詳細を読み取り、自分の考えを表現する活動となっており、基礎的なものから発展的なものへのステップが踏まれている</p> <p>○「英語の学び方」(第3学年P 4等)で紹介されている内容を取り入れることで発展的な学習につなげることができる。</p>	<p>○小学校との接続期の学習ページが少なく、生徒が書き込むところが一か所のみである。(第1学年P 1 0)</p>
表 記・ 表 現	<p>○第1学年ではUDフォントが使用されていて、4線も掲載、余白行間スペースも配慮されており、第1学年最後のLet's Read 2以降はすべての単元で活字体が使われている。</p> <p>○落ち着いた色彩である。</p> <p>○二次元コードは、第1学年で7 2個、第2学年で7 2個、第3学年で5 3個掲載されている。</p> <p>○巻末に、巻末付録に基本文のまとめWord Box等がついており、自学に役立つ資料となっている。</p>	<p>○重要な単語など太字とされているものの線が細かったり、黄色の背景に黄色の文字で描かれており、読みづらい部分がある(第2学年P 1 0 7等)。</p>
使用上の 便 宜	<p>○巻頭の「この教科書の使い方」で構成を示している。</p> <p>○第1学年4 0 0グラムで1 5 9ページ、第2学年4 0 0グラムで1 6 3ページ、第3学年3 5 0グラムで1 4 7ページとなっている。</p> <p>○PUR製本のため、本を見開きの状態にしておきやすく、植物油インキ、再生紙が使用されている。</p>	<p>○Writeの部分が、生徒が記載するには枠が小さい。</p>

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

中学校【道徳】

調査委員長

宮田 正博

総 評

- 東京書籍（別冊ノートなし）
 - ・各学年とも3つの教材からなる「いじめ」「いのち」の2つのユニットを設けている。各教材に3つの設問がある。
 - ・巻末に教材の配列を一覧できるページがあり、内容項目や各教科等との関連などが掲載されている。
 - ・A B判で第1学年197ページ、第2学年205ページ、第3学年205ページ。各学年35教材で、コラムと小学校の教材が掲載されている。
 - ・全ての教材に朗読や映像などへの二次元コードが付いている。巻末には学期ごとの振り返りシートと「心情円」が付いている。
- 教育出版（別冊ノートなし）
 - ・各学年とも2つの教材からなる「いじめ」「つながり」「いのち」の3つのユニットを設けている。各教材に3つの設問がある。
 - ・巻末に教材の配列を一覧できるページがあり、内容項目、SDG sや各教科等との関連などが掲載されている。
 - ・B 5判で第1学年200ページ、第2学年192ページ、第3学年192ページ。各学年30教材＋補充5教材で、学びを深めるページと演技のページがある。
 - ・全ての教材に教材解説などへの二次元コードが付いている。巻末には学期ごとと1年間の振り返りシートが付いている。
- 光村図書出版（別冊ノートなし）
 - ・各学年とも2～3の教材からなる「いじめ」「情報モラル」の2つのユニットを設けている。各教材に4つの設問がある。
 - ・巻末に教材の配列を一覧できるページがあり、内容項目や各教科等との関連などが掲載されている。
 - ・B 5判、第1学年200ページ、第2学年192ページ、第3学年192ページ。各学年35教材で、コラムや活動などのページがある。
 - ・約7割の教材に朗読や資料、動画などへの二次元コードが付いている。巻末には教材ごとに記録を付けるシートと1年間の振り返りシートが付いている。
- 日本文教出版（別冊ノートあり）
 - ・各学年とも2～3の教材からなる「いじめ」「よりよい社会」の2つのユニットを2～3設けている。各教材に2つの設問がある。
 - ・巻末に教材の配列を一覧できる「内容項目別一覧」があり、内容項目や各教科等との関連などが掲載されている。
 - ・B 5判で、第1学年176ページ、第2学年184ページ、第3学年192ページ。各学年とも35教材で、コラムや学びを深めるページがある。
 - ・すべての教材に朗読や資料などへの二次元コードが付いている。教材ごとの記録と振り返り、学期ごとの振り返りができる別冊ノートが付いている。
- G a k k e n（別冊ノートなし）
 - ・各学年とも2～3の教材からなる「キャリア」「多様性」「SDG s」の3つのユニットを設けている。各教材に2つの設問がある。
 - ・巻末に教材の配列や内容項目を一覧できるページが付いている。
 - ・A B判で、第1学年187ページ、第2学年191ページ、第3学年193ページ。各学年とも35教材で、コラムや学びの提案のページがある。
 - ・約3分の1の教材に資料などへの二次元コードが付いている。巻末に各教材のメモ、学期ごとと1年間の振り返りシートが付いている。
- あかつき教育図書（別冊ノートなし）
 - ・各学年とも2～4つの教材からなる「いじめ」「情報モラル」「キャリア」、第2・3学年には「共に生きる」のユニットを設けている。各教材に設問が2つある。
 - ・巻末に教材の配列を一覧できる「内容一覧」と「SDG s」「郷土」を考える資料が付いている。
 - ・B 5判で、第1学年184ページ、第2学年184ページ、第3学年184ページ。各学年とも35教材で、コラムや考えを深めるページがある。
 - ・約4割の教材に動画などへの二次元コードが付いている。巻末に学期ごとと1年間の振り返りシートが付いている。
- 日本教科書（別冊ノートなし）
 - ・各学年ともユニットは設けていない。各教材に2つの設問がある。
 - ・教材は内容項目順に配列されているが、教材一覧はない。巻末に郷土について考える「私たちの郷土」という資料が付いている。
 - ・A B判、第1学年156ページ、第2学年160ページ、第3学年164ページ。各学年とも34教材で、コラムなどはない。
 - ・約半数の教材に動画や資料への二次元コードが付いている。各教材に記録のメモ欄があり、巻末に「ウエルビーイングカード」が付いている。

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 道 徳 】

発行者 【 東京書籍 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○巻頭に「1年間で学ぶこと」「道徳科とは」「道徳科の授業はこんな時間に」「教科書の使い方」などのページを設けている。設問は「考えよう」「見つめよう」「ぐっと深めよう」の3つの問いがある。</p> <p>○各学年とも3つの教材からなる「いじめのない世界へ」「いのちを考える」というユニットを設け、現代的な課題について深められるようになっている。</p> <p>○SDG s と関連して扱える教材が各学年3本ずつ掲載しており、17のゴールのうち関連するゴールを教材ごとに示している。</p> <p>○小中一貫教育の充実につながる教材として巻末に小学校教材を掲載。3年生ではその教材を活用し、近くの小学校の児童と一っしょに取り組む授業の提案を行っている。(P. 180)</p>	<p>○ワークのように書き込みができるページが掲載されている教材とされていない教材が混在している。</p>
構 成 ・ 分量	<p>○35教材が掲載されており、1単位時間1教材の構成になっている。</p> <p>○目次及び巻末の「1年間で学ぶこと」のページに内容項目との関連が示されている。また、各教科等との関連も付録の「心情円」の活用教材などが示されている。</p> <p>○「P l u s」というコラムが多数掲載されており、補充資料としてだけではなく、話し合いの仕方についてや観点の異なる資料なども多い。</p>	<p>○一つの教材文は2ページの文章から6ページの文章と分量の差が大きい。</p>
表 記 ・ 表現	<p>○各教材の冒頭に、教材の主題が示されており、教材を通してどのようなことを考えていくか見通しをもたせるようにしている。</p> <p>○巻頭に「道徳科とは」「教科書の使い方」「デジタルコンテンツの使い方」などが丁寧に紹介されている。</p> <p>○すべての教材に朗読、動画、資料などへの二次元コードが付いており、教材ごとにアクセスできるので使いやすい。</p>	<p>○コラムなど情報量が多いページは字体が小さくなっている。</p>
使用上の便宜	<p>○ページ数は第1学年197ページ、第2学年205ページ、第3学年205ページである。</p> <p>○巻末に各学期の振り返りシートがある。付録として、自分の気持ちを示す「心情円」が付いている。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントを採用している。</p>	<p>○A B判で横幅が広く、教科書を広げると机上にスペースが少なくなる。</p>

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目【 道 徳 】

発行者【 教育出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○巻頭に見開きの写真と巻頭言、「さあ、道徳を始めよう!」「道徳科の学びをもっと広げよう」のページを設けている。設問は「学びの道しるべ」として3つがある。</p> <p>○各学年とも2つの教材からなる「いじめをなくそう」「つながり合って生きる」「いのちをかがやかせる」というユニットを設け、現代的な課題について深められるようになっている。</p> <p>○「やってみよう」では、本編教材に関連する体験的な学習をとおして学びを深められる工夫がされている。</p> <p>○小中一貫教育の充実につながる教材として、第2学年に小学校で取り扱われることの多い「金のおの」が題材の「金のおのその後」という教材を掲載している。</p>	<p>○設問の観点が「教材に関すること」「自分に関すること」など教材によって異なる。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○30教材と補充として5教材が掲載されており、掲載順に授業を行っても学期ごとに4つの視点の偏りがないように掲載されている。</p> <p>○巻末に教材一覧表があり、「教材のテーマ」「教科との関連」「関連するSDGs目標」が掲載されており、分かりやすくまとめられている。</p> <p>○「Plus」というコラムが多数掲載されており、補充資料としてだけではなく、話し合いの仕方についてや観点の異なる資料なども多い。</p> <p>○振り返りシートの他に各学年巻末に『「よりよく生きる」ってどういうことだろう』という一年間を振り返る書き込みのページがある。</p>	<p>○第1学年の教材の中で30教材中2段編成が6教材ある。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○各教材の冒頭にタイトルの他に、学習の見通しをもったり、学習を共有するための問い、4つの視点のマークを掲載し、タイトルバックの色で分けられている。また、ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p> <p>○すべての教材に教材解説などへの二次元コードが付いている。</p> <p>○教材の発問は、言葉のまとまりを捉えやすくするため、文章の改行位置に配慮がなされている。</p>	<p>○表やグラフなどの資料が他と比べると少ない。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○B5判、第1学年200ページ、第2学年192ページ、第3学年192ページであり、カラーユニバーサルデザイン、ユニバーサルデザインフォントが採用されている。</p> <p>○全体の構成が見通せるような配慮として、目次の他に、「この教科書で学べるテーマ」という一覧があり、巻末に「一年間の道徳科で学んだこと」「内容項目別教材一覧表」がある。</p> <p>○巻末に各学期と一年間の振り返りシートがある。</p>	<p>○教科書に書き込む教材が少なく、ワークシート等を印刷して使用する必要がある。</p>

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 道 徳 】

発行者 【 光村図書出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○巻頭の「道徳の学習を始めよう」では、見開き3ページでどう学ぶか、どう話し合うのかが紹介されている。教材の設問は「考えよう」の2つに加えて「見方を変えて」「つなげよう」の4つがある。</p> <p>○教材一つ一つを独立させるのではなく、いくつかの教材が関わりながらテーマに向かって考えられるよう9つのユニットに内容が分けられている。</p> <p>○「まなびをプラス」では、一つ前の教材と同じ内容項目で、さらに話しやすい学習が設定されており、「やってみよう」では、対話的な学びを実現するような工夫がされている。</p> <p>○小中一貫教育の充実につながる教材として、付録に小学校の教材「泣いた赤鬼」「橋の上のおおかみ」「手品師」が掲載されている。</p>	<p>○文章量が少ない題材が多い。</p>
構 成 ・ 分量	<p>○35教材と付録の2教材が掲載されており、柔軟に対応できる内容、構成となっている。</p> <p>○巻末に「この教科書が目ざした姿」という教材一覧が掲載されており、他教科との関連などが分かりやすい。</p> <p>○各学年に「やってみよう」という対話を深める取組が2つずつ設定されている、</p> <p>○各学年に「チャレンジ」という演技を取り入れた学習活動や「問い」を自分で立てて取り組む学習活動が設定されている。（第1学年P34～、P70～、第2学年P20～、P51～、第3学年P21～、P40～）</p>	<p>○課題や発問等がすでに提示されている教材が多いので生徒と教師でつくる授業が行いにくい。</p>
表 記 ・ 表現	<p>○教科書の巻末に教材別テーマ一覧があり、大切な7つのテーマ（いじめ、健康、キャリア、法律、福祉、伝統文化、社会参画）との関連を示している。</p> <p>○約7割の教材に朗読、資料、動画などへの二次元コードが付いている。</p> <p>○手引きの問いは意味のあるまとまりで改行していて、生徒が問われていることの意味をつかみやすいようになっている。</p>	<p>○挿絵、漫画などの表記が充実している反面、図やグラフなどの表記が少ない。</p>
使用上の便宜	<p>○B5判で、第1学年184ページ、第2学年192ページ、第3学年192ページである。</p> <p>○巻末に毎時の簡単な学習の記録、年間を通した振り返りとまとめができるシートが付いている。</p> <p>○カラーユニバーサル、ユニバーサルデザインフォントを採用している。</p>	<p>○巻末の「まなびの記録」はスペースが狭くなっている。</p>

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目【 道 徳 】

発行者【 日本文教出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○巻頭の「道徳科での学びを始めよう」では、どう学ぶか、どう話し合うのかが紹介されている。設問は「考えてみよう」「自分に＋1」の2つがある。</p> <p>○各学年とも2～3の教材からなる「いじめと向き合う」「よりよい社会を考える」の2つのユニットを2～3設けている。</p> <p>○「ミニ教材で考えてみよう」では、本編教材に関連する問題解決的な学習や体験的な学習を促すテーマが各学年で設定されており、対話的な学びを実現するような工夫がされている。</p> <p>○「学びを深めよう」では、思考ツール、ノート、タブレットを活用しながら考えを深める手だてを紹介している。</p>	<p>○SDGsとの関わりについて示されているが、どの項目との関連が分かりにくい。</p>
構 成・ 分 量	<p>○35教材が掲載されており、1教材を1時間で扱い、生徒の発達段階や学校行事を踏まえた構成となっている。</p> <p>○ページ順の目次のほかに、巻末に「内容項目別教材一覧」があり、他教科等との関連やテーマがまとめられている。</p> <p>○各学年に「いじめ」「よりよい社会」のユニットが複数設定してあり、繰り返し学べる構成になっている。</p>	<p>○別冊ノートにおいて、「視野を広げて」等について記入する欄が設定されていない。</p>
表 記・ 表 現	<p>○各学年全て偶数ページから始まっており、前時の教材に気を取られない。</p> <p>○教材の題名の右上に4項目のマークと内容項目のキーワード、下に登場人物の絵もしくは作者の写真が掲載されており、学習のイメージがしやすく興味・関心がわく工夫がなされている。</p> <p>○別冊ノートにも二次元コードがあり、朗読などのコンテンツにリンクしている。</p> <p>○すべての教材に朗読、動画、スライド、外部リンク、資料などへの二次元コードが付いており、教材ごとにアクセスできるので使いやすい。</p>	<p>○別冊ノートでは、全ページに氏名を記入する欄があり、煩雑である。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○B5判で、第1学年176ページ、第2学年184ページ、第3学年192ページである。</p> <p>○別冊ノートが用意されており、1教材1ページのワークシートで発問欄が空欄の部分があり、授業における活用の自由度が高い。</p> <p>○別冊ノートに学期ごとの振り返りのページがある。</p> <p>○カラーユニバーサルデザイン、ユニバーサルデザインフォントを採用している。</p>	<p>○別冊ノートにある「自由欄」は、スペースが狭くなっている。</p>

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目【 道 徳 】

発行者【 Gakken 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○巻頭の「道徳科で学ぶこと・考えること」では、考えを深める4つのステップを取り上げ、対話的な学びを実現するような学び方を視覚化している。各教材の設問は「考えよう」として2つがある。</p> <p>○各学年とも2～3の教材からなる「キャリア」「多様性」「SDGs」の3つのユニットを設け、生徒が広い視野で社会を捉え、よりよく生きることについて考えを深めることができる。</p> <p>○特設ページ「クローズアップ」では、教材の内容項目に則した関連情報を扱い、教材を多面的・多角的に考えることができる。</p> <p>○松井秀喜、伊藤美誠、高梨沙羅、長谷部誠等、生徒の関心が深いテーマに関する人物を取り上げ興味をもたせる教材を扱っている。</p>	○教材名の下にあるリード文は、主題名と関係がない。
構 成 ・ 分 量	<p>○35教材が掲載されており、1教材1時間で扱う構成となっている。教材によっては「クローズアップ」「深めよう」の関連資料などが掲載されている。</p> <p>○巻末に教材一覧があり、内容項目一覧との関連が示されている。</p> <p>○各学年、道徳的価値項目がバランスよく配置されている。巻頭に「よりよく生きるための22鍵」で分かりやすく明示している。</p>	<p>○補助教材がない。</p> <p>○巻末にある「学びのメモ」は、メモ欄も小さく活用しづらい。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○写真や挿絵等、多彩な表現方法で教材を味わうことができる。</p> <p>○約4割の教材に動画などへの二次元コードが付いている。</p> <p>○教材のタイトルの下に、現代的な課題とのつながりがマークで示されている。</p>	<p>○二次元コードが付いている教材が少ない。</p> <p>○教科書は大きいですが、文字や絵が小さく、バランスが悪い。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○ページ数は第1学年P187、第2学年P191、第3学年P193であり、ユニバーサルデザインフォントを採用している。</p> <p>○各教材の最初が見開きスタートになるよう配慮されている。</p> <p>○巻末に毎時間の記録として「学びのメモ」、学期ごとの振り返りシート「学びの記録」が付いている。「未来への扉」として1年間の振り返りを記入できるページもある。</p>	○A B判で横幅が広く、教科書を広げると机上にスペースが少なくなる。

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 道 徳 】

発行者 【 あかつき教育図書 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○巻頭に道徳の授業の受け方、キーワード等を説明するページがあり、道徳を学ぶ意義を押さえてから授業に入ることができる。設問は「自分を見つめて考える」「考えを深める」の2つがある。</p> <p>○各学年とも2～4つの教材からなる「いじめを考える」「情報モラル」「キャリア」、第2・3学年には「共に生きる社会」のユニットを設け、重点とすべき現代的な課題を継続的に深めるようになっている。</p> <p>○「Thinking」という教材の後に配置した補助教材があり、授業の終末や事後に読むことで感動や思考を促す工夫がされており、道徳的価値について自己の学びを広げたり、深めたりすることができる。</p> <p>○各学年、巻末付録に「SDGs」「郷土」についての資料が掲載されている。</p>	<p>○文章量が多い分、1単位時間の構成を工夫して、個々に考える時間や協働的に学ぶ時間を確保する必要がある。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○35教材が掲載されており、コラムや考えを深める資料が付いている。また、巻末に「内容一覧」があり、他教科等との関連が示されている。</p> <p>○各学年に「マイプラス」という活動を通して考えを深めるページがあり、問題解決的な学習や体験的な学習を進めることができるようになっている。</p> <p>○各教材がテーマごとに振り分けられていて、「いじめ」「生命」「国際理解」「キャリア」「伝統文化」「情報モラル」「共に生きる社会」「安全・防災」「自然・環境」「スポーツ」の10個のテーマから構成されている。</p>	<p>○読み物教材が多く、漫画、写真などから考えさせる教材は少ない。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○各教材は、教材名のみで主題やテーマが記載されていない。</p> <p>○各教材の冒頭に登場人物が図示されており、文章内容をイメージしやすい。特に、文章中心の教材の中にイラストや写真が適宜使用されている。</p> <p>○約4割の教材に動画などへの二次元コードが付いている。</p>	<p>○目次には内容項目との関連が示されていない。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○B5判で、第1学年184ページ、第2学年184ページ、第3学年184ページである。</p> <p>○巻末に「学習の記録」として学期ごとの振り返りシートと1年間の学習の記録のシートが付いている。</p> <p>○カラーユニバーサルデザイン、ユニバサルデザインフォントを採用している。</p>	<p>毎時間の振り返りや記録を記載する場所がない。</p>

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目【 道 徳 】

発行者【 日本教科書 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○巻頭に「クラスのみならず」「道徳授業」を創り出そう」の単元を設けている。設問は「考えよう」「深めよう」の2つがある。 ○古今東西の哲学者の格言に触れながら、「哲学」的視点を通して考えを深めることができる。（「自由」1年、「幸福」2年、「愛」3年） ○小中一貫教育の充実につながる教材として付録に「郷土愛の育成」につながる「わたしたちの郷土」という折り込み3ページの郷土の人物・文化・自然を紹介するページがある。 ○「ウェルビーイングカード」を活用するなど、「ウェルビーイング」という考え方を取り入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○補助資料やコラムなどがない。
構 成 ・ 分 量	<ul style="list-style-type: none"> ○34教材が掲載されており、「いじめ・人権」「キャリア形成」「情報」「国際」「生命・健康・福祉」「環境」「先人の業績・伝統文化」「社会を生きる」の8つのテーマで構成されている。 ○教材一覧はないが、各教材が4つの視点、内容項目順に掲載されているので、学習指導要領との関連はつかみやすい。 ○4つの視点ごとの扉に4コマ漫画を掲載してあり、考えを深めることに活用できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○4つの視点、内容項目順に掲載されているので、掲載順では年間指導計画が立てられない。 ○目次に内容項目の詳細がない。
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○各教材の冒頭にタイトルの他に4つの視点のマークと22の内容項目の数字が書かれており、タイトル部分の色で分けられている。 ○ページの下部に注釈のためのスペースが広く確保されていて、注釈が多い際には見やすくなっている。 ○約半数の教材に動画や資料への二次元コードが付いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○二次元コードのリンク先がすべて「補助教材一覧」の最初の部分にアクセスするので、学習者が使用する場合、必要な教材をさがす必要がある。 ○教材ごとのレイアウトの変化がない。
使 用 上 の 便 宜	<ul style="list-style-type: none"> ○第1学年156ページ、第2学年160ページ、第3学年164ページである。 ○全体の構成が見通せるような配慮として、巻頭に見開き2ページの目次の他に、見開き2ページで「さまざまなテーマから考えを深めよう」という一覧がある。 ○ユニバーサルデザインのフォントを採用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教材ごとに「memo」という囲みはあるが、振り返りシートや別冊ノートはない。 ○巻末に内容一覧がない。 ○A B判で横幅が広く、教科書を広げると机上にスペースが少なくなる。

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書
(学校教育法附則第9条の規定による教科用図書(一般図書))

No. 1

調査委員長 伊藤 聡

種目	1 国語	2 国語	3 書写
発行	永岡書店	旺文社	日本習字普及協会
書名	考える力・知的好奇心を 育てる子どもに教えた いふしぎのお話365	小学生のための きれいな字になるワーク 漢字・言葉・文章 〔改訂版〕	わかりやすい 毛筆の基本一二三
著者	篠原 菊紀	青山 浩之	関岡 松籟
内容	○自然現象や科学、文化等 で感じる不思議について、Q & A形式で書かれている。	○小学校で習う漢字を中心 に、きれいな字の書き方を 教えている。 ○1文字単位の練習だけで なく、単語や文章単位でも バランスよく書くための手 法を教えている。	○基本から応用までの幅広 い内容で、基本的な筆づか いを筆の動かす方向、書き 順などで解説している。 ○漢字、ひらがなともにバ ランスよく記載されてい る。
構成・分量	○1ページにつき、1つの 不思議を取り上げている。 ○1つの不思議に、小見出 しは2つあり、文字数は約 600字程度である。	○準備編、トレーニング 編、実践編で構成されてい る。	○1ページに1文字が大き く書かれている。 ○見開きの半面に見本、半 面に書き方のポイントが書 かれている。
表記・表現	○全ての漢字にふりがなが 振られている。 ○回答と豆知識の2つの見 出しで書かれている。 ○1ページに、挿絵や写真 が1つ以上ある。	○書き方のアドバイスを 「ピョンッ」「シュー」 「ピタッ」などのオノマト ペで表現している。 ○イラストが1ページにつ き1つ以上用いられてい る。	○漢字にふりがなは振られ ていない。 ○漢字は1文字ずつ記載さ れおり、熟語の取り扱い はない。
使用上の便宜	○日付が書いてあり、どの ページをいつ使用するかに 利用できる。 ○内容に関わる教科や文章 読解のために使用できる。 ○B5判 416ページ	○字をきれいに書くために 必要とされている正しい姿 勢や鉛筆の持ち方、指のト レーニング方法が掲載され ている。 ○B5判 96ページ	○優しい漢字から難しい漢 字まで取り上げている。 ○複写して授業で使用でき る。 ○B5判 88ページ

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書
(学校教育法附則第9条の規定による教科用図書(一般図書))

No. 2

調査委員長 伊藤 聡

種目	4 書写	5 社会	6 社会
発行	日本ペン習字研究会	ポプラ社	小学館クリエイティブ
書名	ゼロから始める 日ペンの こども美文字練習帳	行ってみよう! 京都・奈良図鑑	書いて覚える 都道府県 令和版
著者	監修・お手本：田中 鳴舟	監修：公益財団法人 全国修学旅行研究協会	宗形 康
内容	○ひらがな、カタカナ、数字、小学校で習う漢字すべてのお手本が示されている。 ○なぞり書きや線の書き方に基づいて、練習する形式となっている。	○京都・奈良を中心に、平泉、日光、姫路、広島、沖縄の建造物や文化財を歴史的な背景も含めて紹介している。 ○修学旅行で訪れるときの、手引きとなるように編集されている。	○白地図と解説ページを使って日本の都道府県の位置と県庁所在地、市名や特色などを書き込みながら学習できる。 ○巻末に地形で県名と県庁所在地を答える問題が掲載されている。
構成・分量	○ひらがな、カタカナ、数字の順にお手本と練習ページがある。 ○「あ」のページには、「あ」がつく言葉と漢字の練習スペースがある。	○見開きで一つの建造物や文化財の情報が分かるような構成である。 ○所々におもしろ情報や、豆知識の紹介がある。	○各都道府県について、白地図→解説ページの順に掲載されている。 ○解説ページには、特色や特産品、地形についての解説などが掲載されており、情報量が多い。
表記・表現	○全ページカラー印刷である。 ○お手本に「ながく」「みぎあがりに」などの書き方解説がある。 ○練習の枠は約2cm四方の四角に十字の点線が入っている。	○表現は適切であるが、難しい言葉が使用されている。 ○写真が豊富で視覚的に分かりやすい。	○白地図には地名や名称を書き込む枠がある。その枠の上に、ヒントとなるような豆知識が書いてある。 ○白い紙に青い文字で印刷されている。
使用上の便宜	○硬筆の基礎練習として、ひらがなと一緒に漢字の練習ができる。 ○A4判 128ページ	○ふりがなは振られているが、再度出てきた漢字には振られない。 ○1ページの文字数が多く、情報量が多い。 ○265mm×218mm 159ページ	○すべての漢字に振り仮名がついている。 ○B5判 128ページ

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書
(学校教育法附則第9条の規定による教科用図書(一般図書))

No. 3

調査委員長 伊藤 聡

種目	7 数学	8 数学	9 理科
発行	日本教育研究出版	東洋館出版社	新学社
書名	ひとりだちするための 算数・数学ワーク 1 お金編	くらしに役立つワーク数学	グラフィック理科資料集
著者	編集：子どもたちの自立 を支援する会	監修：明官 茂	発行者 山本 伸夫
内容	○日常生活で使う数学の計算や算数・数学的な考え方が取り扱われている。	○小学校の内容の復習と日常生活に役立つ数学的な問題を学習することができる。	○中学校1、2、3年の理科の学習内容に関する資料集である。
構成・分量	○各テーマが2ページから6ページで完結している。 ○各テーマに合わせた問題が1～7問用意されている。	○「基礎編ー計算ドリル」と「生活編」の2つの章から構成されている。 ○図やイラストがあり、学習者が楽しみながら、自分の生活に生かしながら学習を進められる。	○生物、地学、物理、科学、総合に分かれ、さらに各分野が学年に分けられている。 ○見開き1ページごとに学習に利用する。
表記・表現	○すべての漢字にふりがなが振られている。 ○各テーマごとに、イラストが入っている。	○難しい漢字には、ふりがなが振られている。 ○図を利用して問題を解くことができる。	○文字や文章にふりがなは振られていない。 ○写真やイラストが中心になっている。
使用上の便宜	○ワークに直接書き込むことが可能である。 ○末尾に解答例が収録されているため、自分で丸を付けることができる。 ○B5判 79ページ	○広開本になっているため、本に直接書き込みやすい。 ○B5判 98ページ	○付属のデジタル資料集により、実験などの具体的な図などを電子黒板に写し説明ができる。 ○B5判 242ページ

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書
(学校教育法附則第9条の規定による教科用図書(一般図書))

No. 4

調査委員長 伊藤 聡

種目	10 理科	11 理科	12 美術
発行	日東書院 本社	小学館	秀学社
書名	でんじろう先生の わくわく科学実験	小学館の子ども図鑑 プレNEO楽しく遊ぶ学ぶ せいかつの図鑑	美術資料 東京の美術
著者	米村 でんじろう	監修：流田 直	編集：京都市立芸術大学 美術教育研究会 日本文教出版編集部
内容	○22の科学テーマに対して、実験の手順・テーマになっている現象の例などがイラストや写真付きで説明されている。	○子どもたちが苦手としている、衣食住の基本を取り上げている。	○「色を作るヒント」「材料と用具大図鑑」「構図と遠近法」などに加え、「東京の美術」「伝統の色」など、「伝統文化を受け継ぐ心」を育てるテーマが設定されている。
構成・分量	○全てのテーマで実験の方法や現象の具体例が掲載されている。	○「着る」→「食べる」→「生活する」という順番で説明する構成になっている。	○前半が「表現」、後半が「鑑賞」の内容で構成されている。 ○原寸大の鑑賞資料が表現編、鑑賞編のトビラにそれぞれ掲載されている。 ○巻末には美術史の略年表が掲載されている。
表記・表現	○すべての漢字にふりがなが振られている。 ○全てのイラスト・写真がカラーで印刷されている。	○原則、大きな見出しは平仮名、説明文では小学2年生までの漢字を使用し、すべてにふりがなが振られている。 ○カラーの挿絵が全てのページに入っている。	○難しい漢字にはふりがなが振られている。 ○参考作品がすべてカラー印刷で、大きく数も豊富である。
使用上の便宜	○科学で使われる用語の説明や、索引がある。 ○A4判 245ページ	○ページの下段は大人向けの詳細な解説になっている。 ○AB判 192ページ	○手順などがそのまま授業に活用できるように写真で示してある。 ○説明文は字がやや小さく漢字も多いため、補足が必要である。 ○A4判 189ページ

令和 6 年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書
(学校教育法附則第 9 条の規定による教科用図書 (一般図書))

No. 5

調査委員長 伊藤 聡

種目	1 3 美術	1 4 美術	1 5 保健体育
発行	西村書店	かんき出版	東洋館出版社
書名	直感こども美術館 すごいぞ！ニッポン美術	マンダラデザイン ぬり絵ブック	くらしに役立つ 保健体育
著者	結城 昌子	ジャニーヌ・モリソン	監修：明官 茂
内 容	○日本の美術作品とともに、日本の心を子どもたちに伝えるための画集となっている。	○デザイナーが作成したマンダラ模様の塗り絵集である。 ○成人向けのアートセラピーを目的につくられている。	○体育理論、体育実技、保健の内容とともに、身体・健康、運動、ライフスタイルのトピックを加えて解説している。
構成・分量	○見開きに1つの作品をとりあげ、作品の解説が掲載されている。 ○見開きP 5 2、5 3には24点の美術作品が年代順に掲載されている。	○1ページにつき1つの模様で構成され、50の模様が掲載されている。 ○掲載順と難易度の関係はない。	○体育理論、体育実技、保健の三章の構成である。 ○学習のまとめりに「学習しよう」「ふり返ろう」の見出しがある。
表記・表現	○漢字はすべてふりがなが振られている。 ○カラー刷りで、強調したい部分は、フォントや文字の大きさ等を変えて表記している。	○模様は直線や曲線を組み合わせで描かれている。 ○模様によって細かさが異なり、最小で1mmほどの円がある。	○ふりがなが振られた漢字が少ない。 ○内容を補足するためのイラストが組み込まれている。
使用上の便宜	○見開きページで内容が完結しているので、どのページからでも取り組める。 ○B 4 変判 (26cm×26cm) 58ページ	○にじみや下書き防止のため片面に模様が印刷されている。 ○巻末に塗り方のコツが記載されている。 ○A 4 判 112ページ	○カラーユニバーサルデザインに配慮して作成されている。 ○体育実技に関しては、競技等の詳しい内容の記載が少ない。 ○B 5 判 162ページ

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書
(学校教育法附則第9条の規定による教科用図書(一般図書))

No. 6

調査委員長 伊藤 聡

種目	16 保健体育	17 保健体育	18 技術(職業)
発行	成美堂出版	大修館書店	株式会社技術評論社
書名	体幹力を上げる コアトレーニング	ステップアップ 中学体育2024	まなびのずかん 親子でかんたんスクラッチ プログラミングの図鑑
著者	木場 克己	高橋 健夫	松下 孝太郎、山本 光
内容	○体幹の説明やストレッチ、難易度別の体幹トレーニングが写真とイラスト付きで説明されている。	○学習の見とおしをもち、ねらいに向かって意欲的に練習に取り組むために、文章とともにめざす姿を写真やイラストで示している。	○スクラッチやプログラミングを基礎から学べる。 ○初歩から本格的なプログラミングまでを想定している。
構成・分量	○ストレッチ、体幹トレーニングの初級編から上級編、そして動作別の体幹トレーニングという5つのステップで構成されている。	○「体づくり運動」「器械運動」「陸上競技」「水泳」「球技」「武道」「ダンス」で構成されている。	○全8章からなり、章ごとにレベルが設定され、スクラッチの使い方とプログラミングが段階的に身に付くよう構成されている。
表記・表現	○漢字には、ふりがなが振られていない。 ○全てのステップが、カラー写真で具体的に示されている。	○各競技の説明に写真やイラストがあり、具体的な指示がある。	○すべての漢字にふりがなが振られている。 ○オールカラーで手順が解説されている。 ○実際の操作画面が掲載されている。
使用上の便宜	○レベル毎にトレーニングが分かれている。 ○A5判 128ページ	○全てのページに具体的な動き方のポイントが示されているため、よい動きをイメージしやすい。 ○B5判 352ページ	○章ごとのレベルや学年の対応表が巻頭に掲載されている。 ○B5判 192ページ

令和 6 年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書
(学校教育法附則第 9 条の規定による教科用図書（一般図書）)

No. 7

調査委員長 伊藤 聡

種目	1 9 英語	2 0 英語	2 1 英語
発行	学研	学研	誠文堂新光社
書名	新レインボーはじめて 英語図鑑オールカラー C Dつき	大人も子どもも一生役立つ パンダでおぼえる 英会話	英語好きな子に育つ たのしいお話 3 6 5
著者	監修：佐藤 久美子	監修 今泉 忠明	小学生のための 英語教育研究グループ
内 容	○基本的な英単語やフレーズがバランスよく含まれている。 ○日常に関係のある英単語や英会話など、興味を引くテーマが取り上げられている。	○1 3 0の基本的な英会話表現が場面毎に分かれて収録されている。	○アルファベットの基本、身近にある物の名前、海外の学校生活、英語を使ったゲームなど幅広い内容がまとめられている。
構成・分量	○「家」「学校」「町」などのシーン別に構成されている。 ○各トピックは分かりやすく、見開きで学習できる。	○あいさつ、自己紹介、道案内などの1 1の場面で構成され、単語・熟語が載っている。	○毎日1話ずつ読めるよう、1月1日～12月31日まで、1話ごとに日付をつけて日めくり形式で紹介されている。
表記・表現	○単語の上に、アメリカ英語に近いかな発音の記載がある。 ○カラーイラストが豊富で、内容を補完している。	○全ての漢字にふりがなが振られている。 ○英会話表現と意味、使い方がカラーのパンダのイラスト付きで載っている。	○全ての漢字にふりがなが振られている。 ○英文や英単語には全てカタカナの読み方が入っている。 ○全てのページにカラーの挿絵が入っている。
使用上の便宜	○C Dと教科書のつながりが明確である。 ○索引や目次が必要な情報を見つけやすい。 ○A 5判 2 5 6 ページ	○場面ごとの状況を確認しながら学習が行える。 ○A 5 変判 (1 8 0 mm×1 5 0 mm) 1 6 0 ページ	○読んだ日を書き込める3回分のスペースが各ページに作られている。 ○B 5 変判 (2 4 0 mm×1 9 0 mm) 4 1 6 ページ

令和6年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書
(学校教育法附則第9条の規定による教科用図書(一般図書))

No. 8

調査委員長 伊藤 聡

種目	22 英語	23 道徳	24 道徳
発行	くもん出版	開隆堂	旺文社
書名	えいごで1・2・3!	道徳 私たちの未来 未来の私たち	学校では教えてくれない 大切なこと14 自信の育て方
著者	志村 直人	編著：全国特別支援教育・ 知的障害教育研究会	藤 美沖
内容	○「聞く・言う」「書く」「読む」の3ステップで基本文と語彙を学習し、表現できる内容になっている。	○内容項目全22項目に即した題材が掲載されている。 ○特別支援教育を意識し、「パラリンピック」や「現場実習」などの話題を取り上げている。	○自分のことや相手のことを知る大切さと世の中の様々な仕組みが漫画で描かれている。
構成・分量	○1回の学習で、「聞く」「言う」「書く」「読む」をバランスよく学習できるよう構成されている。	○内容項目ごとに4ページで構成されており、最初の見開き2ページは読み物教材、後の2ページに発問、考えを深めるポイントなどが掲載されている。	○1章から5章まで、5つのテーマを設定し、章が進む毎に自分を信じる力のレベルが上がっていく構成になっている。
表記・表現	○ポイントになる部分は、色を変えて記載されている。 ○单元名や全ての会話文に、日本語訳が記載されている。	○教材の言葉は平易なものが多く、すべての漢字にふりがなが振られている。 ○文字の大きさは14ポイント程度で、行間にもゆとりがある。	○漢字はふりがなが振られている。 ○フルカラーで、イラストや漫画が豊富である。 ○オリジナルの登場人物を設定している。
使用上の便宜	○イラストを見て、会話の内容をイメージし、タブレットで音声聞き会話表現を学習することができる。 ○B5判 128ページ	○内容項目ごとにページが色分けされている。 ○A B判 (255mm×210mm) 112ページ	○1章から5章まで、本の小口が章毎に色分けされている。 ○A5判 160ページ